

令和 4年度 (仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 兵庫県明石市魚住町清水1番ほか地内

工 種 土木一式

契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費						
基盤整備						
公園土工						
作業土工						
床掘り						
床掘り		土砂 上記以外(小規模)	m3		150	
埋戻し						
埋戻し		上記以外(小規模) 土砂	m3		100	
残土処理工						
土砂等運搬						
土砂等運搬		土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30	
処分費		土 砂	式		1	
擁壁工						
場所打擁壁工(構造物単位)						
重力式擁壁						
重力式擁壁 (H1000~H800)		目地含む	式		1	
重力式擁壁 (H800~H700)		目地含む	式		1	
植栽						

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
植栽工					
高木植栽工					
高木植栽					
植栽工 (シダレザクラH3.5 C0.18)	植栽割増を含む	本		1	
単穴改良		本		1	
支柱工	二脚鳥居支柱(添木なし)	本		1	
中低木植栽工					
中低木植栽					
公園植栽(植樹) [低木]	ヒラドツツジH0.3 W0.3	本		65	
単穴改良 (中低木)		式		1	
樹名板工					
幹巻型樹名板					
樹名板 (スプリング式)		枚		1	
移植工					
中低木移植工					
中低木移植					
移植工	コバノミツバツツジ	式		1	
施設整備					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
給水設備工					
水栓類取付工					
ボックス類高さ調整					
量水器、逆止弁高さ調整		式		1	
雨水排水設備工					
側溝工					
現場打側溝					
L型街渠-A		m		42	
L型街渠-B		m		8	
L型街渠-C		m		21	
L型街渠-D		m		12	
L型街渠-E		m		1	
U型側溝-A		m		22	
U型側溝-C		m		14	
U型側溝-F		m		13	
U型側溝-G		m		9	
U型側溝-I		m		32	
管渠工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
公園管渠					
雨水取付管(管接続)		箇所		6	
雨水取付管(桝接続)		m		23	
集水桝・マンホール工					
現場打ち集水桝					
集水桝-MB		箇所		10	
集水桝-MC		箇所		8	
街渠桝		箇所		6	
浸透桝					
浸透桝		式		1	
マンホール高さ調整					
雨水マンホール高さ調整		式		1	
汚水排水設備工					
汚水桝・マンホール工					
マンホール高さ調整					
汚水マンホール高さ調整		式		1	
電気整備工					
照明設備工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
ハンドホール高さ調整					
ハンドホール高さ調整		式		1	
園路広場整備工					
アスファルト系舗装工					
公園アスファルト舗装					
アスファルト舗装A(流用材)		m2		1,010	
アスファルト舗装C(流用材)		m2		46	
アスファルト舗装D(流用材)		m2		31	
アスファルト舗装E(流用材)		m2		22	
コンクリート系舗装工					
インターロッキング舗装					
ブロック舗装A(流用材)		m2		45	
ブロック舗装B(流用材)		m2		411	
公園コンクリート舗装					
土間コンクリート		式		1	
園路縁石工					
駒止めブロック					
縁石-A		m		92	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
区画線工					
溶融式区画線					
区画線実線 W150		m		160	
区画線ゼブラ W450		m		220	
区画線横断歩道横線 W150		m		52	
停止線 W=150		m		17	
ストップ W=100		m		18	
横断歩道 W=100		m		64	
階段工					
擬木階段					
階段工	材工共	式		1	
視覚障害者誘導用ブロック工					
視覚障害者誘導用ブロック					
誘導ブロックA(線状)		m2		47	
誘導ブロックA(点状)		m2		3	
サービス施設整備工					
サイン施設工					
サイン					

契約数量表

頁0-0007/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
国道標識復旧		基		1	
左折誘導看板	文字代込み	式		1	
右折遠慮看板	文字代込み	式		1	
案内板設置		基		1	
管理施設整備工					
柵工					
門扉					
門扉E	H3000-50×W6000	箇所		2	
門扉F	H2000-50×W10000	箇所		2	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し					
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		0.7	
舗装版破碎					
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		84	
運搬処理工					
殻運搬					
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	m3		0.7	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
殻運搬	舗装版破碎	m3		5.6	
殻処分					
処分費	コンクリート2次製品	式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
公園施設等撤去・移設工					
公園施設撤去工					
公園施設撤去					
フェンスB 撤去		m		12	
フェンスC 撤去		m		20	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A					
交通誘導警備員 B					
鉄屑					

特記仕様書

工事名 (仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
工事場所 明石市魚住町清水1番 ほか地内
工期 2023年(令和5年)3月31日限り

第1条 総則

1-1. 適用

設計図書(明石市工事請負契約約款第1条に規定する設計図書)に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携(令和3年10月一部改訂版)、兵庫県土木工事共通仕様書(令和3年10月一部改訂版)、兵庫県土木工事施工管理基準(令和3年10月一部改訂版)、「小型構造物標準図集」(H25.12 第3回改訂版)ならびに、独立行政法人都市再生機構「造園施設標準設計図集」(平成30年度版)によるものとする。(その他追加通知を含む)

1-2. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等(現況地盤の状況等)により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合、監督員の指示した内容及び設計変更の対象となることを認めた協議内容については、設計変更の対象とする。

1-3. 交通安全管理

安全費について、重機や資材等の搬出入時の安全確保を目的として交通誘導員B(交代要員なし)33人、国道2号の歩道施工時において交通誘導員A及び交通誘導員B(ともに交代要員なし)4人を計上しているが、道路管理者及び所管警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。なお、交通誘導員の配置は通常時は場内入口に1名、国道2号の歩道施工時には前後各1名及び施工箇所1名配置を想定している。必要に応じ、増減する可能性があるため、監督員と協議し、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次の通り。

交通誘導員A：警備の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員A又は2級検定合格警備員。

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

1-4. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成 14 年 5 月 30 日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物情報交換システム上の建設リサイクルデータ統合システムに登録することとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1 部は自社で工事完成後 1 年間保管し、計画書、実施書を各 1 部と実施書のデータ CD を監督員に提出するものとする。

(残土処分および廃プラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理(再資源化)とする。
3. ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。
4. 土砂・ガラの運搬に際し、シート等にて土砂が飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。
5. 交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること。
6. 施工計画書に記載した処分地を変更する場合は、監督員と協議のこと。
その他、残土、廃プラ処分について、以下のとおりとする。

1. 建設廃棄物の搬出先

建設廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

品目	建設残土
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	5.6 km
所在地	明石市大久保町大窪戊亥谷 2751 ほか
品目	コンクリート二次製品
施設の名称	松本砕石(株)
運搬距離	19.9 Km
所在地	加古川市志方町細工所字門ド垣内 1129-7 他
品目	アスファルト掘削
施設の名称	正栄建設(株)新島リサイクルセンター
運搬距離	8.1 km
所在地	加古郡播磨町新島 24

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

1-5. 工事中の安全確保

施工にあたっては、通行者等に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図るとともに、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。

1-6. 雨水浸透貯留施設の指定について

工事現場は総合治水条例第22条第1項の規定により雨水浸透貯留施設の指定を受けている。よって、大雨時は、雨水の排水を抑制し工事現場全体に雨水を貯留するものとする。貯留した後、雨水排除のため水替えが必要な場合、監督員と協議し実施するものとする。また、排水の際に pH 調整が必要である場合は適正に実施すること。水替えに係る費用は、監督員との協議の上、設計変更の対象とする。

1-7. 他工事との競合について

工事対象地において、「(仮称) 17 号池公園 (その 12) 整備工事」が令和 5 年 2 月 10 日まで、「(仮称) 17 号池公園管理棟ほか建築工事」が令和 5 年 2 月 10 日まで、「(仮称) 17 号池公園授乳室ほか建築工事」が令和 5 年 2 月 28 日までを予定し工事が行われている。

工事ヤードの利用や現場内通行に関して、競合する他工事の現場代理人と十分協議、調整を行い、監督員の指示に従うこと。また、適宜、工程会議を行うので、現場代理人は出席すること。

1-8 植栽工に関する一般事項

1. 樹木等が工事完了引渡し後 1 年以内に植栽した時の状態で枯死または形姿不良（枯枝が樹冠部の概ね 2 / 3 以上となった場合、または、通直な主幹をもつ樹木については、樹高の概ね 1 / 3 以上の主幹が枯れた場合をいい、確実に同様の状態となると想定されるものを含む）となった場合には、受注者は当初植栽した樹木と同様または、それ以上の規格のものに植替えるものとし、樹木等の枯死または形姿不良判定は、発注者受注者立会の上行うものとする。

ただし、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動等の天災により流失、折損、倒木した場合はこの限りでない。

植替時期については、発注者受注者協議するものとする。

なお、本条は、樹木等を支給するもの、または、樹木等の発生品を使用する場合は、適

用しないものとする。

2. 干害、塩害、風水害等に起因するものであっても、立ち枯れの状態のものについては、前条を適用する。

3. 植替を行った樹木等が再枯損した場合は、かし担保期間である1年間の範囲で再度植替るものとする。

4. 本工事における樹木等とは、次のものをいう。

高木、中低木、地被類（張芝含む）

5. 植栽工事に関するかし担保期間は、1年間とする。

6. 樹木等について、引渡しを受けるまでの間、灌水に係る水道費用は請負者の負担とする。引き渡しを受けた後は、善管義務の範囲で発注者が管理を行うこととなるが、請負者はかし担保期間中の枯損防止に努めること。

7. 本工事では植栽割増措置を行っているため、植樹保険への加入を行うこと。

1-9. 植栽工の材料

1. 樹木

① 品質、規格はすべて最低限度を示したものであるから同等以上のものでなければならない。

② 必要に応じ現地（栽培地）において監督員が確認を行うことがある。この場合、監督員が確認してもその後の掘取り、荷造り、運搬等により現地搬入時不良となったものは使用してはならない。

③ 植栽前には必ず監督員の検査（確認を含む）を受けなければならない。

④ 樹木は所定の寸法を有し、外観がよく、かつ根枝の発育が良好で病虫害の被害がなくあらかじめ植え出しに耐えるように移植または根廻しをした細根の多い栽培品でなければならない。

なお、特殊な場合に限り栽培品でない場合でもこれと同等の品質であれば監督員の承諾を得て使用することができる。

⑤ 樹高は根元（旧接地点）から樹冠頂までの寸法であって徒長枝は含まない。

⑥ 樹木の幹廻りとは、地上1.2mにおける幹の周長であって、双幹以上のものは幹廻り総和の7割の寸法とする。

なお、この箇所が枝条の分岐点である場合にはその上部の寸法とする。

⑦ 枝幅は樹木の四方角の枝張り寸法であって徒長枝は含まない。特に記載のないものは前後左右の平均幅とする。

⑧ 指定寸法以下であっても、樹姿、枝張り、その他が特に優良であって監督員の承諾を得たものは使用することができる。

2. 客土及び間詰土

① 客土及び間詰土は、雑草、がれき、ささ根等の混入及び病虫害等に侵されていないもので、あらかじめ資料を提出し監督員の承諾を得たものでなければならない。

② 玉物、株物を密植する場合は、上層30cmの客土分、1本植の場合は埋戻し土について土壌改良材を混入するものとする。

なお、土壌改良材の使用材料、使用量等について監督員の承諾を得て使用するものとする。

- ③ 設計では客土を購入することとしているが、地山を改良するか、客土を用いるか検討した後、監督員の承諾を得て植栽を実施すること。地山を改良し植栽出来る場合、設計変更の対象とする。

3. 支柱及びその他材料

- ① 支柱、添木及び控杭は規定の寸法を有し、割れ、腐れがなく平滑な幹材であって、皮はぎ丸太とし、クレオソート加圧注入またはクレオソート2回塗の防腐処理をしたものとする。

なお、樹木支柱用 丸太のクレオソート加圧注入処理は、下記によるものとする。

- 1) 木材防腐剤は、JIS K 2439 に規定するクレオソート油 1号による。
- 2) 注入方法は、JIS A 9002 木材の加圧式防腐処理方法に準ずる。
- 3) クレオソートの注入量は、 120 kg/m^3 とする。
- 4) 現場に搬入したクレオソート加圧注入処理材については、JIS A 9002 に定められた項目について記録した証明書を提出し、監督員の承諾を得るものとする。

ただし、クレオソート油と同等の加圧用防腐薬剤を使用する場合は、監督員と協議するものとする。

- ② 竹は2年生以上で曲りがなく、ねばり強く、腐食、虫食、変色等がないものとする。
- ③ 杉皮は大節、穴、割れ及び腐れの無いものでなければならない。
- ④ 肥料、土壌改良剤は設計図または特記仕様書で指定されたもの、または同等品以上のものとし、使用前に見本等を提出し監督員の承諾を得ること。
- ⑤ シュロ縄、わら縄、こもは強じんて十分使用に耐える新鮮なものでなければならない。
- ⑥ 支柱等を処分する場合

CCA 処理材の処分方法については、監督員と協議するものとする。

1-10. 植栽の運搬

- ① 樹木の運搬は枝幹等の損傷、はちくずれ等がないよう十分に保護養生を行わなければならない。
- ② 樹木の掘取り、荷造り及び運搬は1日の植付け量を考慮し、じん速かつ入念に行わなければならない。

2. 仮植と養生

樹木、株物、その他植物材料であって、やむを得ない理由で当日中に植栽出来ない分は、仮植するかまたは、完全な養生をし、速やかに植えなければならない。

3. 植付け

- ① 樹木植付けは、植栽しようとする樹木に応じて相当余裕のある植穴を掘り、がれき、不良土、その他樹木の生育に害のあるものは除去しなければならない。
- ② 植付けは、現場に応じて見栄えよく、また樹木の表裏をよく見極めたうえ植穴の中心に植付けなければならない。

- ③ 良質土を細かく砕き根回りにすきまなく入れて十分に水極めまたは土極めのうえ埋戻しの必要に応じ水鉢をつくり地均しをしなければならない。
- ④ 植栽箇所、掘削土その他の諸材料は一般交通の障害とならないよう速やかに処理しなければならない。
- ⑤ 支柱は、指定形成のものを所定の位置に正しく堅固に立てなければならない。樹幹との取付部は、杉皮を巻きシュロ縄を用いて動かぬよう割かけ結束するものとする。支柱の結束は、くぎを打ち鉄線割かけとする。
- ⑥ 寄植及び株物植付けは既植樹木の配置を考慮して全般に過不足のないよう配植しなければならない。
- ⑦ 植栽の後、懐枝過剰枝等の切透し、整枝その他必要な手入れをしなければならない。
- ⑧ 幹巻きする場合は、こもまたはわら等を用い、わら縄または、シュロ縄で巻き下ろすものとする。
- ⑨ 蒸散抑制剤を使用する場合には、使用剤及び使用方法について監督員の承諾を得るものとする。

1-11. 注意事項

- ① 本工事については、他工事との現場代理人の兼務を認めない。
- ② 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。
- ③ 関係機関における連絡は確実に実施すること。
特に地元自治会において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。
施工時期、施工方法については各関係機関より承諾を得てから施工すること。
- ④ 本工事の施工上知り得た情報を他人に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- ⑤ 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。
- ⑥ 最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。
- ⑦ 工事完了時、竣工図面一式を電子データ及び簡易製本（A4サイズ縮小版）にて監督員へ提出するものとする。詳細においては監督員に確認すること。
- ⑧ 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をすること。
- ⑨ 近隣住民への工事内容を周知するため、工事用看板に広報掲示を依頼する場合がある。当該掲示用看板の提供、維持管理等、監督員の指示に従うこと。
- ⑩ 労働安全衛生法第30条第2項に基づき、同条第1項に規程する措置を講ずべきものに指名する場合がある。
- ⑪ 工期については、干渉しない工種は同時に施工するなどにより、現場内作業を3月31日までに完了させること。
- ⑫ 低入札調査基準価格又は最低制限価格は、スクラップ控除を直接工事費に含めて算出している。

1-12. その他

1. 国及び県が定めた基準書にある積算単価表は、それを最優先し、それ以外の単価決定方法は物価資料（「建設物価」、「積算資料」等）に掲載がある場合はそれを優先し、掲載がない場合、メーカーから見積もりを徴収し、物価資料に掲載されている類似品目を合わせて徴収する等により、物価スライドを行っている。類似品目による物価スライドが困難な場合、見積と実勢価格との差をヒアリングし、単価設定を行っている。

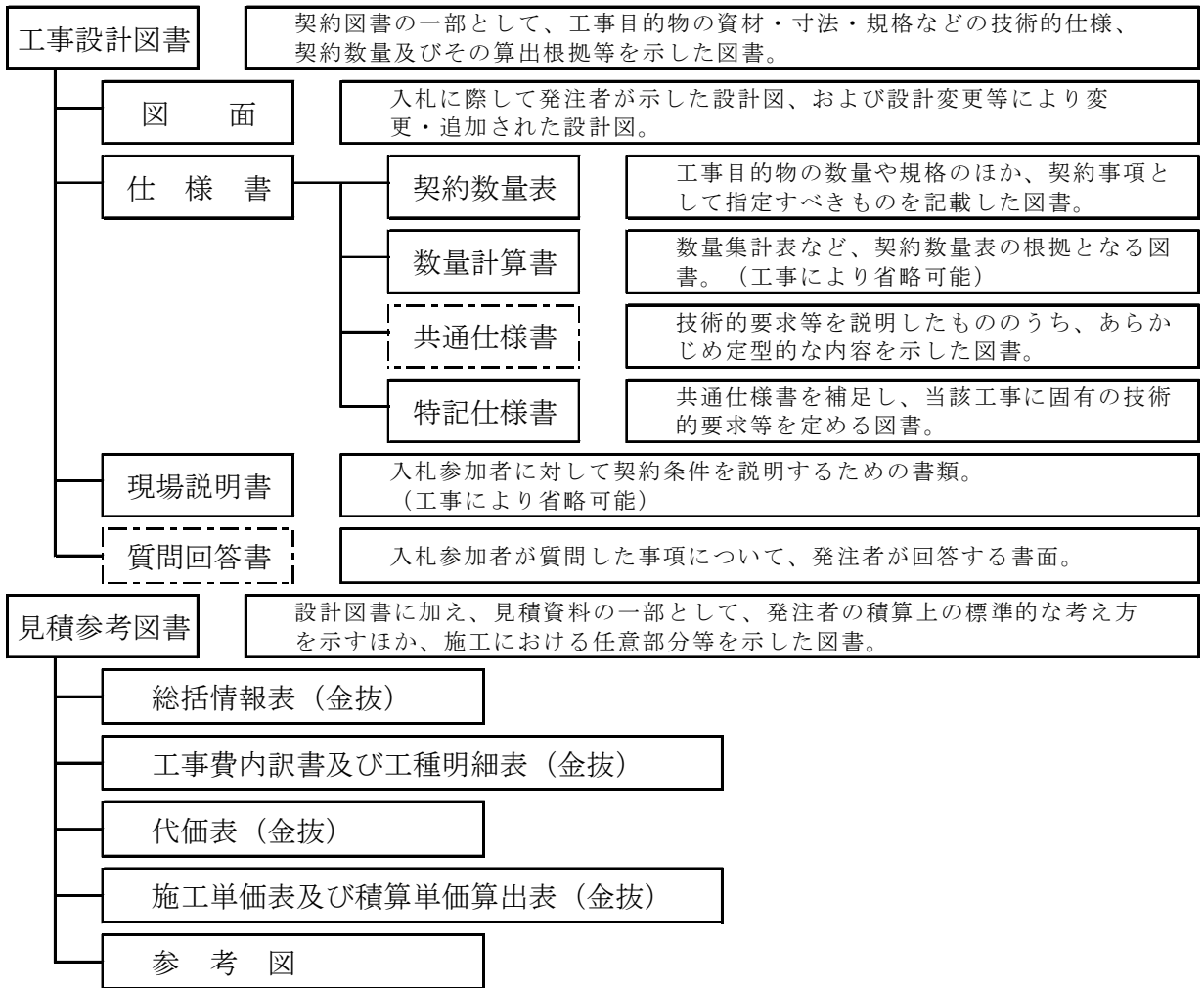
2. 遊戯施設、休養施設や便益施設の組立据付に係る費用は材料単価の決定方法と同様に見積もりを徴収し、「造園修景積算の手引き」に記載のある歩掛と比較し物価スライドを行っている。

3. 撤去歩掛は、設置歩掛の50%を計上している。

1-13. 見積参考図書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。（下記参照）

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



以上

数量総括表

工事区分 工種 種別	細別	規格形状	単位	数量			備考
基盤整備							
敷地造成工							
床掘工	床掘		m3		150	152.4	
埋戻工	埋戻		m3		100	108.1	
残土工	残土		m3		30	32.5	
施設整備							
雨水排水設備工							
側溝工	L型街渠-A	W500	m		42	42.7	
	L型街渠-B	W500乗り入れ部	m		8	8.4	
	L型街渠-C	W100	m		21	21.8	
	L型街渠-D	W100乗り入れ部	m		12	12	
	L型街渠-E	W100すり付け部	m		1	1.2	
	U型側溝-A	U300	m		22	22.6	
	U型側溝-C	U240	m		14	14.2	
	U型側溝-F	U300歩道用	m		13	13.0	
	U型側溝-G	U300車道用	m		9	9.2	
	U型側溝-I	U240グレーチング細目	m		32	32.3	
管渠工	支管	塩ビ管φ200用	箇所		6	6.0	
	取付管	VU200	m		56	56.0	
集水樹・マンホール工							
	集水樹 (MB)	□500×H700	箇所		8	8.0	
	集水樹 (MB´)	□500×H700	箇所		1	1.0	
	集水樹 (MB´´)	□500×H700	箇所		1	1.0	
	集水樹 (MC)	□500×H800	箇所		8	8.0	
	L型街渠樹	300×700×H600	箇所		6	6.0	
	浸透樹	□450	箇所		1	1.0	
	マンホール調整	2号マンホール	箇所		1	1.0	
		0号マンホール	箇所		1	1.0	
汚水排水設備工							
集水樹・マンホール工							
	マンホール調整	Φ200塩ビ中間樹	箇所		1	1.0	
		1号マンホール	箇所		1	1.0	

数量総括表

工事区分 工種 種別	細別	規格形状	単位	数量			備考
給水設備工							
	量水器他高さ調整		箇所			1	1.0
	逆止弁高さ調整		箇所			1	1.0
電気設備工							
照明設備工	ハンドホール高さ調整	ハンドホールA	箇所			2	2.0
		ハンドホールB	箇所			3	3.0
園路広場整備工							
アスファルト系舗装工							
	アスファルト舗装-A	40-100-200	m2			1,010	1015.8
		下層路盤材流用品					
	アスファルト舗装-C	50-150-50	m2			46	46.3
	アスファルト舗装-D	30-100-50	m2			31	31.6
	アスファルト舗装-E	30-70-150	m2			22	22.2
コンクリート系舗装工							
	ブロック舗装-A	80-30-150-50	m2			45	45.7
	ブロック舗装-B	80-30-100-50	m2			411	411.0
園路縁石工	縁石-A	120×120×600	m			92	92.4
区画線工	区画線実線	白線 実線 W=150	m			160	161.4
	区画線ゼブラ	白線 実線 W=450	m			225	225.3
	区画線横断歩道横線	白線 実線 W=150	m			52	52.6
	停止線	白線 実線 W=150	m			17	17.5
	STOP (文字)	白線 実線 W=100L=15cm換算	m			18	18.0
	横断歩道 (文字)	白線 実線 W=100L=15cm換算	m			64	64.0
視覚障害者誘導用ブロック工							
	誘導ブロック-A	点状ブロック	m2			3	3.5
	誘導ブロック-A	線状ブロック	m2			47	47.0
擁壁工							
	重力式擁壁①	H=1.0~0.8	m			1.3	1.3
	重力式擁壁②	H=0.8~0.7	m			0.7	0.7

数量総括表

工事区分 工種 種別	細別	規格形状	単位	数量			備考
コンクリート土間工	コンクリート土間	t=100	m2			30	30.7
	伸縮目地	t=10	m2			7	7.8
学校側階段工							
	階段工		式			1	1.0
サービス施設整備工							
既設案内板工	既設案内板設置	W=1.8m	基			1	1.0
既設標識工	既設標識設置	国道2号	基			1	1.0
新設案内板工	新設案内板設置	左折退場看板	基			1	1.0
		右折ご遠慮看板	基			1	1.0
管理施設整備工							
柵工	門扉E	H=2.0 W=10.0	m			2	2
	門扉F	H=3.0 W=6.0	m			2	2
植栽							
植栽工							
高木植栽工	シダレザクラ	H3.5 C0.18 W -	本			1	1.0
低木植栽工	ヒラドツツジ	H0.3 - W0.3	株			65	65.0
低木植栽工 (移植) L=84.2m	コバノミツバツツジ	H0.5 - W0.25	株			71	71.0
支柱工							
二脚鳥居			組			1	1.0
名板工							
樹名板	スプリング式		本			1	1.0
撤去工							
排水工	U型側溝-A	U300	m			26	26.0
	U型側溝-C	U240	m			17	17.1
柵工	フェンス-B	H=3.0m	m			12	12.0
	フェンス-C	H=2.0m	m			20	20.0
舗装工	仮舗装撤去①	50-50-100-200	m2			29	29.1
	仮舗装撤去②	50-200	m2			55	55.0

敷地造成工数量調書

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
床掘工 床掘		土間 = 2.84	m3	2.8
		擁壁 = 1.68	m3	1.7
		雨水 = 63.92	m3	63.9
		施設 = 68.19	m3	68.2
		撤去 = 15.82	m3	15.8
		<u>合計 = 152.44</u>	m3	152.4
埋戻工 埋戻		擁壁 = 0.85	m3	0.9
		雨水 = 37.50	m3	37.5
		施設 = 58.17	m3	58.2
		撤去 = 11.47	m3	11.5
		<u>合計 = 107.99</u>	m3	108.1
残土工 残土		152 - 108 / 0.9 = 32.5	m3	32.5

園路広場整備工集計表

名 称	規 格	計 算 式		単 位	数 量
アスファルト系舗装工					
アスファルト舗装-A	40-100-200	1015.8	= 1015.8	m2	1015.8
アスファルト舗装-C	50-150-50	46.3	= 46.3	m2	46.3
アスファルト舗装-D	30-100-50	31.6	= 31.6	m2	31.6
アスファルト舗装-E	30-70-150	22.2	= 22.2	m2	22.2
コンクリート系舗装工					
ブロック舗装-A	80-30-150-50	45.7	= 45.7	m2	45.7
ブロック舗装-B	80-30-100-50	411	= 411.0	m2	411.0
コンクリート土間	t=100		30.7	m2	30.0
園路縁石工					
縁石-A	120×120×600	92.4	= 92.4	m	92.4
擁壁工					
重力式擁壁①	H=1.0~0.8		= 1.3	m	1.3
重力式擁壁②	H=0.8~0.7		= 0.7	m	0.7
区画線工					
区画線実線	白線 実線 W=150	161.4	= 161.4	m	161.4
区画線ゼブラ	白線 実線 W=450	225.3	= 225.3	m	225.3
区画線横断歩道横線	白線 実線 W=150	52.6	= 52.6	m	52.6
停止線	白線 実線 W=150	17.5	= 17.5	m	17.5
STOP(文字)	白線 実線 W=100L=15cm換算	18	= 18.0	m	18.0
横断歩道(文字)	白線 実線 W=100L=15cm換算	64	= 64.0	m	64.0
視覚障害者誘導用ブロック工					
誘導ブロック-A	点状ブロック	3.5	= 3.5	m2	3.5
誘導ブロック-A	線状ブロック	47	= 47.0	m2	47.0

擁壁工作業土工集計表

細 別	単位	設計数量	単位当り土量 (m3)		算出単位 当り	設計分土量 (m3)	
			床掘	埋戻		床掘	埋戻
重力式擁壁①	式	1.0	1.1	0.6	1	1.144	0.566
重力式擁壁②	式	1.0	0.536	0.284	1	0.536	0.284
					合計	1.680	0.850

施 設 工 数 量 調 書						
名 称	規 格	計 算 式			単 位	数 量
サービス施設整備工						
既設案内板工						
既設案内板設置	W=1.8m	1	= 1.0	基	1	
既設標識工						
既設標識設置	国道2号	1	= 1.0	基	1	
新設案内板工						
新設案内板設置	左折退場看板	1	= 1.0	基	1	
	右折ご遠慮看板	1	= 1.0	基	1	
管理施設整備工						
門扉工						
門扉E	H=2.0 W=10.0		= 2.0	m	2.0	
門扉F	H=3.0 W=6.0		= 2.0	m	2.0	

撤 去 工 数 量 調 書

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
撤去工				
柵工				
フェンス-B	H=3.0m	6+6 = 12.0	m	12.0
フェンス-C	H=2.0m	10+10 = 20.0	m	20.0
舗装工				
仮舗装撤去①	50-50-100-200	29.1 = 29.1	m ²	29
仮舗装撤去②	50-200	55 = 55.0	m ²	55
排水工				
U型側溝-A	U300	13+13 = 26.0	m	26.0
U型側溝-C	U240	8.55+8.55 = 17.1	m	17.1

雨水排水設備工数量調書

名称	規格	計 算 式		単位	数量
側溝工					
L型街渠-A	W500		= 42.7	m	42.7
L型街渠-B	W500乗り入れ部		= 8.4	m	8.4
L型街渠-C	W100		= 21.8	m	21.8
L型街渠-D	W100乗り入れ部		= 12.0	m	12.0
L型街渠-E	W100すり付け部		= 1.2	m	1.2
U型側溝-A	U300	22.6	= 22.6	m	22.6
U型側溝-C	U240	14.2	= 14.2	m	14.2
U型側溝-F	U300歩道用	13	= 13.0	m	13.0
U型側溝-G	U300車道用	9.2	= 9.2	m	9.2
U型側溝-I	U240グレーチング細目	32.3	= 32.3	m	32.3
管渠工					
支管	塩ビ管 φ 200用	6	(5.5m×6=33m)	= 6.0	箇所
取付管	VU200	56		= 56.0	m
集水枡・マンホール工					
集水枡(MB)	□500×H700	1+1+1+1+1+1+1		= 8.0	箇所
集水枡(MB ^ˆ)	□500×H700	1		= 1.0	箇所
集水枡(MB ^{ˆˆ})	□500×H700	1		= 1.0	箇所
集水枡(MC)	□500×H800	1+1+1+1+1+1+1		= 8.0	箇所
L型街渠枡	300×700×H600	6		= 6.0	箇所
浸透枡	□450	1		= 1.0	箇所
マンホール調整	2号マンホール	1		= 1.0	箇所
	0号マンホール	1		= 1.0	箇所

雨水排水設備作業土工集計表

細 別	単位	設計数量	単位当り土量 (m3)		算出単位 当り	設計分土量 (m3)	
			床掘	埋戻		床掘	埋戻
L型街渠-C	m	21.8	13.4	5.2	100	2.921	1.134
L型街渠-D	m	12	4.6	1.8	100	0.552	0.216
L型街渠-E	m	1.2	12.5	5.2	100	0.150	0.062
U型側溝-A	m	22.6	51.0	26.9	100	11.526	6.079
U型側溝-C	m	14.2	22.7	13.5	100	3.223	1.917
U型側溝-F	m	13.0	59.0	41.0	100	7.670	5.330
U型側溝-G	m	9.2	67.0	38.9	100	6.164	3.579
集水柵 (MB)	箇所	8.0	166.0	100.0	100	13.280	8.000
集水柵 (MB [^])	箇所	1.0	117.6	67.0	100	1.176	0.670
集水柵 (MB ^{^^})	箇所	1.0	131.3	76.2	100	1.313	0.762
集水柵 (MC)	箇所	8.0	186.0	113.0	100	14.880	9.040
浸透柵	箇所	1.0	106.0	71.4	100	1.060	0.714
					合計	63.916	37.503

汚水排水設備工数量調書

名 称	規 格	計 算 式		単 位	数 量
集水桝・マンホール工 マンホール調整	Φ200塩ビ中間桝	1	= 1.0	箇所	1
	1号マンホール	1	= 1.0	箇所	1

電 気 設 備 工 数 量 調 書

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
照明設備工				
ハンドホール高さ調整	ハンドホールA	2	箇所	2
	ハンドホールB	3	箇所	3

植 栽 工 数 量 調 書

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
(高木植栽工)				
シダレザクラ	H3.5 C0.18 W -	1 = 1.0 1.0	本	1
(低木植栽工)				
コバノミツバツツジ	H0.5 - W0.25	71 = 71.0	株	71
ヒラドツツジ (移植工)	H0.3 - W0.3	65 = 65.0	株	65
(植栽工)				
低木	樹高60未満	71 + 65 = 136.0	株	136
高木	幹回り15以上20未満	1 = 1.0	本	1
(支柱工)				
二脚鳥居		1 = 1.0	組	1
(名板工)				
樹名板	スプリング式	1 = 1.0	枚	1

植栽数量集計表

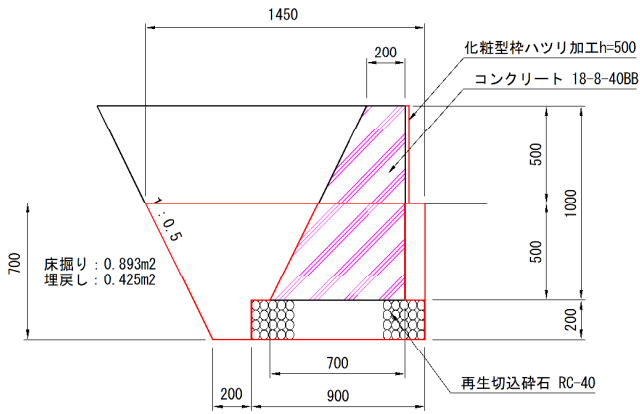
細別/樹種	規格		数量	単位	植栽 密度 (株/m ²)	植付面 積換算 (m ²)	(単位数量)				数量×単位数量							
							客土 真砂土 (m ³)	土壌改良材・肥料			埋戻し 土量 (m ³)	客土 真砂土 (m ³)	土壌改良材・肥料			埋戻し 土量 (m ³)		
								ハ-ライト 20% (L)	牛糞堆肥 10% (kg)	固形肥料 (kg)			ハ-ライト 20% (L)	牛糞堆肥 10% (kg)	固形肥料 (kg)			
高木植栽	H	C	W															
シダレザクラ	3.5	0.18	-	1	本			0.14	41.8	10.45	0.270	0.209	0.14	41.8	10.45	0.270	0.209	0.209
合計													0.14	41.8	10.45	0.270	0.209	0.209
単穴改良(高木)													0.1	41.8	10.5	0.3		
中低木植栽	H	C	W															
ヒラドツツジ	0.3	-	0.3	65	株	5		0.01	4.0	1.00	0.105	0.020	0.65	260.0	65.00	6.825	1.300	1.300
合計													0.65	260.0	65.00	6.825	1.300	1.300
単穴改良(中低木)													0.7	260.0	65.0	6.8		
地被類植栽	H	C	pot															
ノシバ(張芝)				0.0	m ²		0.00	0.07	20.0	5.0	0.070	-	0.00	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000
合計													0.00	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000
土壌改良(地被類)													0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

重力式擁壁①

計 算 書

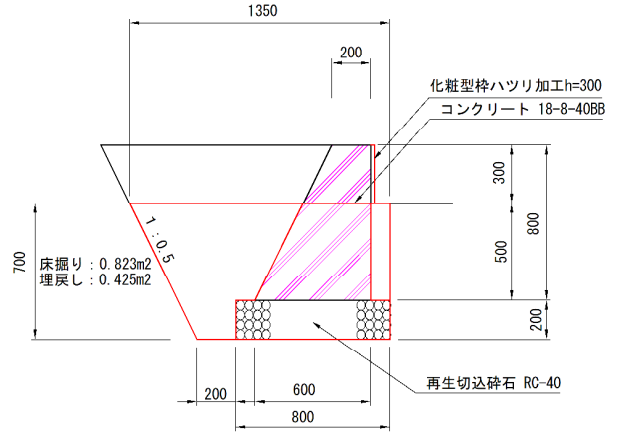
1式当り

(全高H=1000)



※伸縮目地（目地材t=10mm）を10m以内に1箇所設ける。

(全高H=800)



※伸縮目地（目地材t=10mm）を10m以内に1箇所設ける。

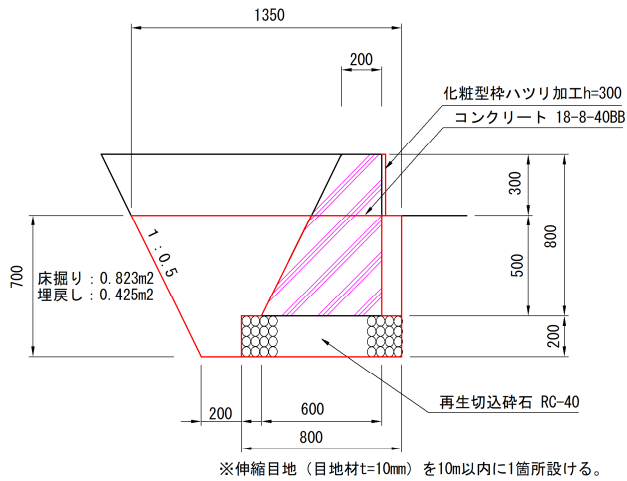
名 称	計 算 式	単 位	数 量
	(全高平均h=900)		
再生切込碎石 RC-40 t=200	$0.85 \times 0.667 \times 2$	= 1.134 m ²	1.1
コンクリート 18-8-40BB	$(0.20+0.65)/2 \times 0.90 \times 0.667 \times 2$	= 0.510 m ³	0.5
同上型枠	$(0.90+1.118 \times 0.90) \times 0.667 \times 2$	= 2.540 m ²	2.5
化粧型枠	$0.4 \times 0.667 \times 2$	= 0.534 m ²	0.5
伸縮目地 目地材 t=10	$(0.20+0.70)/2 \times 1.0 \times 2$	= 0.900 m ²	0.9
床掘	$(0.893+0.823)/2 \times 0.667 \times 2$	= 1.144 m ³	1.1
埋戻	$(0.425+0.425)/2 \times 0.667 \times 2$	= 0.566 m ³	0.6
床均し	$0.85 \times 0.667 \times 2$	= 1.134 m ²	1.1

重力式擁壁②

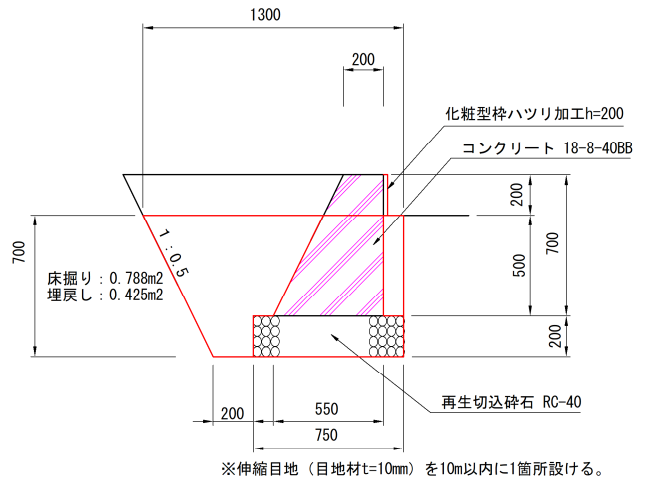
計 算 書

1式当り

(全高H=800)



(全高H=700)

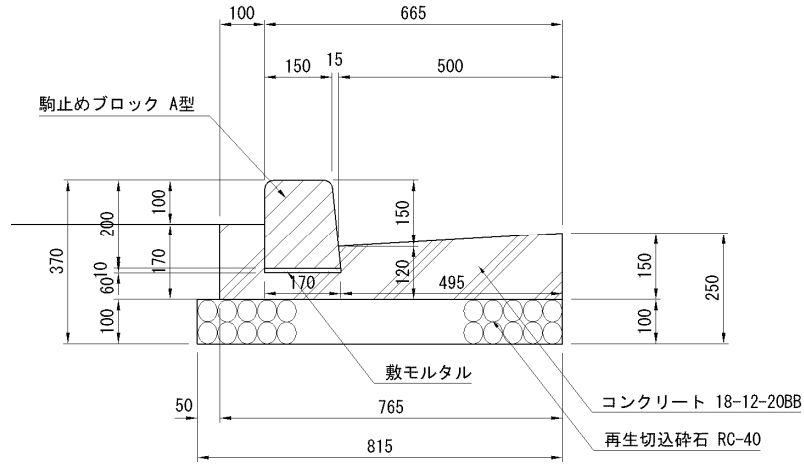


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=200	(全高平均h=750) $0.775 \times 0.333 \times 2 = 0.520$	m ²	0.5
コンクリート 18-8-40BB	$(0.20+0.575)/2 \times 0.75 \times 0.333 \times 2 = 0.194$	m ³	0.2
同上型枠	$(0.75+1.118 \times 0.75) \times 0.333 \times 2 = 1.058$	m ²	1.1
化粧型枠	$0.25 \times 0.333 \times 2 = 0.166$	m ²	0.2
床掘	$(0.823+0.788)/2 \times 0.333 \times 2 = 0.536$	m ³	0.5
埋戻	$(0.425+0.425)/2 \times 0.333 \times 2 = 0.284$	m ³	0.3
床均し	$0.775 \times 0.333 \times 2 = 0.516$	m ²	0.5

L型街渠-A

計 算 書

100m当り



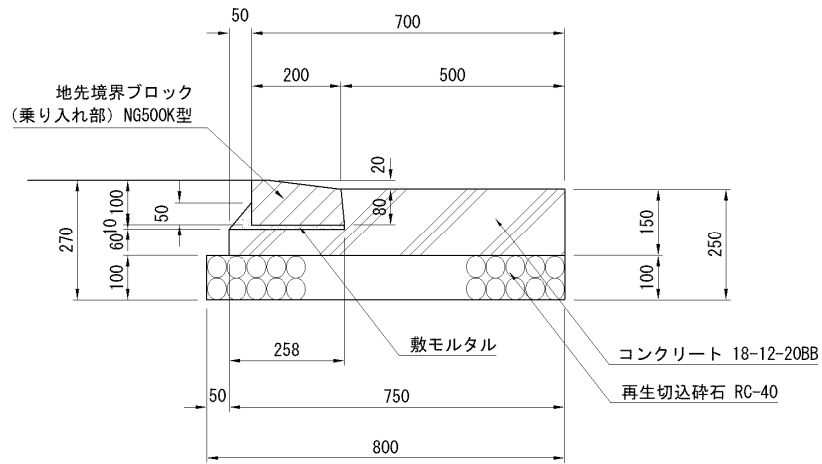
※伸縮目地を10m毎にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.815 \times 100.0 = 81.500$	m ²	81.5
コンクリート 18-12-20BB	$\{0.10 \times 0.17 + 0.17 \times 0.06 + (0.12 + 0.15) / 2 \times 0.495\} \times 100.0 = 9.400$	m ³	9.4
同上型枠	$(0.17 + 0.15) \times 100.0 = 32.000$	m ²	32.0
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$\{0.10 \times 0.17 + 0.17 \times 0.06 + (0.12 + 0.15) / 2 \times 0.495\} \times 100.0 / 10.0 = 0.940$	m ²	0.9
モルタル 1:3 t=10	$0.17 \times 0.01 \times 100.0 = 0.170$	m ³	0.17
駒止めブロック A型 150/170 × 200 × 600	$100.0 / 0.605 = 165.280$	個	165.3
床均し	$0.815 \times 100.0 = 81.500$	m ²	81.5

L型街渠-B

計 算 書

100m当り



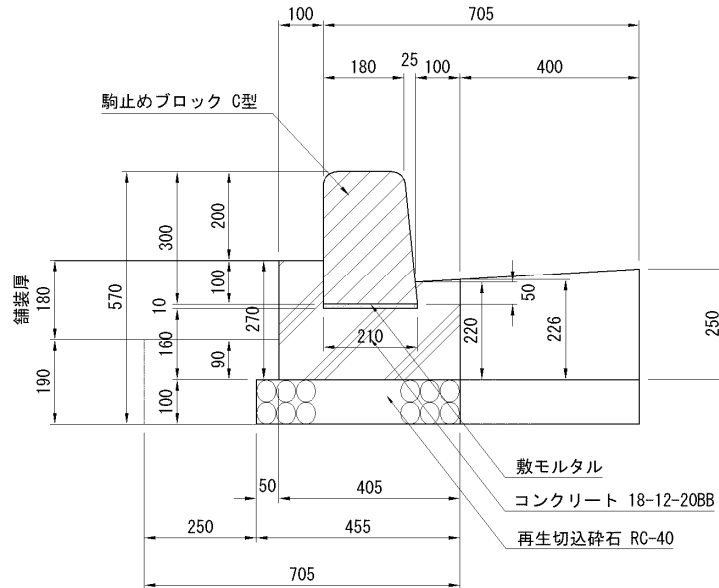
※伸縮目地を10m毎にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.80 \times 100.0 = 80.000$	m2	80.0
コンクリート 18-12-20BB	$\{0.258 \times 0.06 + 0.50 \times 0.15\} \times 100.0 = 9.048$	m3	9.0
同上型枠	$(0.06 + 0.15) \times 100.0 = 21.000$	m2	21.0
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$\{0.258 \times 0.06 + 0.50 \times 0.15\} \times 100.0 / 10.0 = 0.905$	m2	0.9
モルタル 1:3 t=10	$(0.208 \times 0.01 + 0.05 \times 0.06 / 2) \times 100.0 = 0.358$	m3	0.36
地先境界ブロック NG500K型	$100.0 / 0.605 = 165.289$	個	165.3
床均し	$0.80 \times 100.0 = 80.000$	m2	80.0

L型街渠-C

計 算 書

100m当り



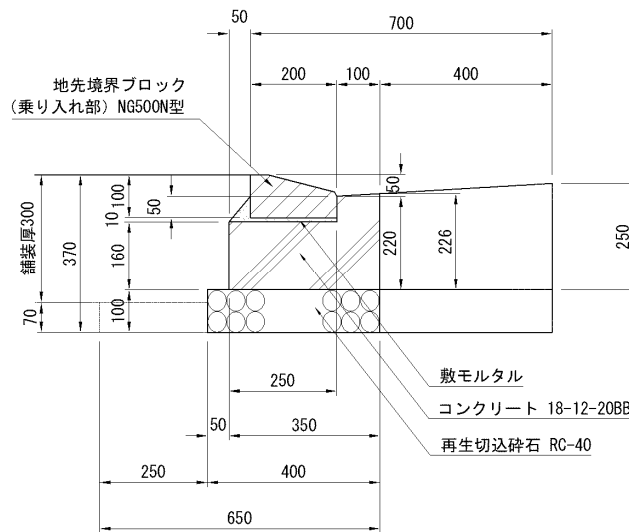
※伸縮目地を10m毎にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.455 \times 100.0 = 45.500$	m2	45.5
コンクリート 18-12-20BB	$\{0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2 + 0.21 \times 0.16 + 0.10 \times 0.27\} \times 100.0 = 8.290$	m3	8.3
同上型枠	$(0.27 + 0.226) \times 100.0 = 49.600$	m2	49.6
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$\{0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2 + 0.21 \times 0.16 + 0.10 \times 0.27\} \times 100.0 / 10.0 = 0.830$	m2	0.8
モルタル 1:3 t=10	$0.21 \times 0.01 \times 100.0 = 0.210$	m3	0.21
駒止めブロック C型	$100.0 / 0.605 = 165.289$	個	165.3
床掘	$0.705 \times 0.19 \times 100.0 = 13.395$	m3	13.4
埋戻	$13.395 - (0.455 \times 0.10 + 0.405 \times 0.09) \times 100.0 = 5.200$	m3	5.2
床均し	$0.455 \times 100.0 = 45.500$	m2	45.5

L型街渠-D

計 算 書

100m当り



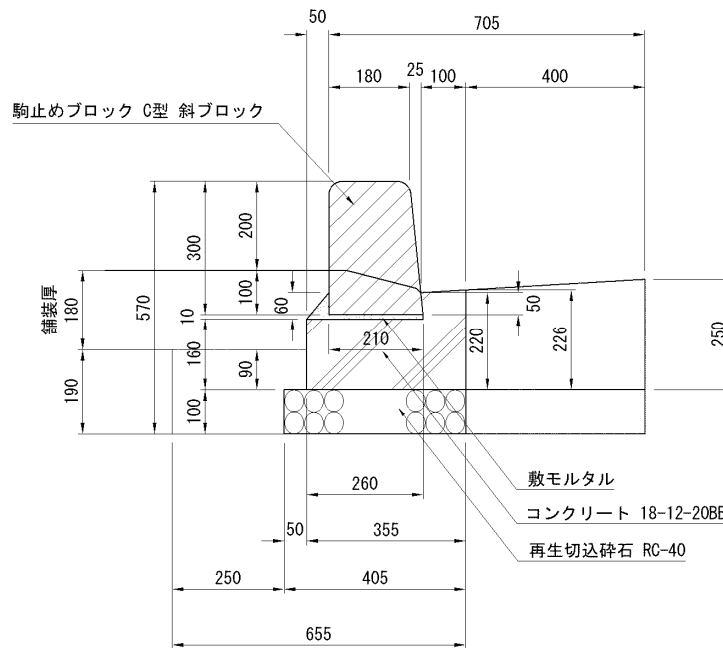
※伸縮目地を10m毎にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込砕石 RC-40 t=100	$0.400 \times 100.0 = 40.000$	m2	40.0
コンクリート 18-12-20BB	$\{0.25 \times 0.16 + 0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2\} \times 100.0 = 6.230$	m3	6.2
同上型枠	$(0.16 + 0.226) \times 100.0 = 38.600$	m2	38.6
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$\{0.25 \times 0.16 + 0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2\} \times 100.0 / 10.0 = 0.620$	m2	0.6
敷モルタル 1:3 t=10	$(0.20 \times 0.01 + 0.05 \times 0.06 / 2) \times 100.0 = 0.350$	m3	0.35
地先境界ブロック NG500N型	$100.0 / 0.605 = 165.290$	個	165.3
床掘	$0.65 \times 0.07 \times 100.0 = 4.550$	m3	4.6
埋戻	$4.550 - 0.40 \times 0.07 \times 100.0 = 1.750$	m3	1.8
床均し	$0.400 \times 100.0 = 40.000$	m2	40.0

L型街渠-E

計 算 書

100m当り



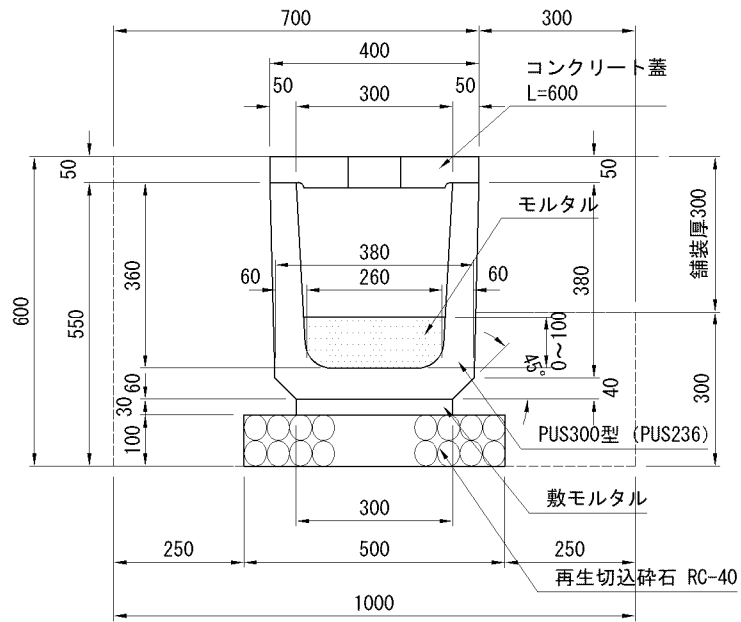
※伸縮目地を10m毎にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.405 \times 100.0 = 40.500$	m2	40.5
コンクリート 18-12-20BB	$\{0.26 \times 0.16 + 0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2\} \times 100.0 = 6.390$	m3	6.4
同上型枠	$(0.16 + 0.226) \times 100.0 = 38.600$	m2	38.6
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$\{0.26 \times 0.16 + 0.10 \times (0.22 + 0.226) / 2\} \times 100.0 / 10.0 = 0.640$	m2	0.6
敷モルタル 1:3 t=10	$(0.21 \times 0.01 + 0.05 \times 0.06 / 2) \times 100.0 = 0.360$	m3	0.36
駒止めブロック C型 斜ブロック	$100.0 / 0.605 = 165.290$	個	165.3
床掘	$0.655 \times 0.19 \times 100.0 = 12.450$	m3	12.5
埋戻	$12.445 - (0.405 \times 0.10 + 0.355 \times 0.09) \times 100.0 = 5.200$	m3	5.2
床均し	$0.405 \times 100.0 = 41.000$	m2	41.0

U型側溝-A

計 算 書

100m当り



名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	0.50×100.0	m ²	50.0
敷モルタル 1:3 t=30	$0.30 \times 0.03 \times 100.0$	m ³	0.9
PUS300型 PUS236 300×360	100.0 $100.0 / 0.605$	m 個	100.0 165.3
コンクリート蓋 L=600	$100.0 / 0.60$	枚	166.7
モルタル	$0.26 \times (0 + 0.10) / 2 \times 100.0$	m ³	1.3

U型側溝-A

計 算 書

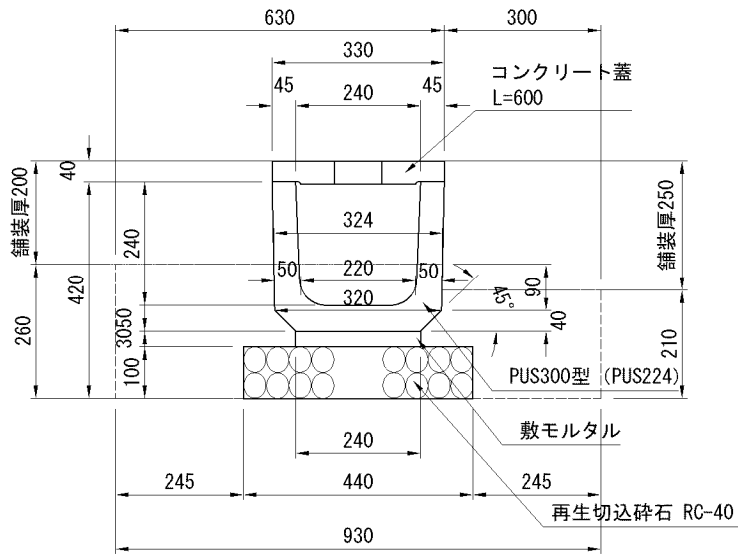
100m当り

名 称	計 算 式	单 位	数 量
床掘	$(0.70 \times 0.60 + 0.30 \times 0.30) \times 100.0 = 51.000$	m3	51.0
埋戻	$51.000 - \{0.50 \times 0.10 + 0.30 \times 0.03 + (0.30 + 0.38) / 2 \times 0.04 + (0.38 + 0.40) / 2 \times 0.38 + 0.40 \times 0.05\} \times 100.0 = 26.920$	m3	26.9
床均し	$0.50 \times 100.0 = 50.000$	m2	50.0

U型側溝-C

計 算 書

100m当り

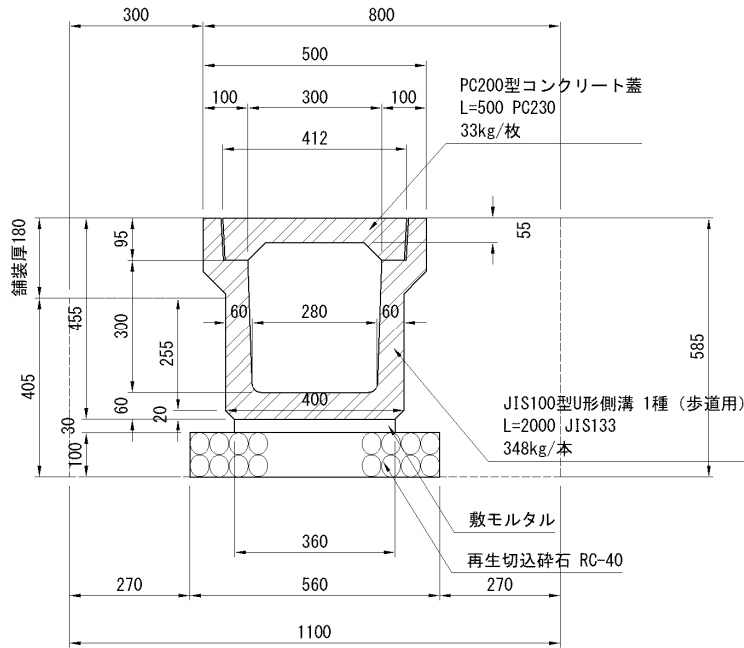


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.44 \times 100.0 = 44.000$	m ²	44.0
敷モルタル 1:3 t=30	$0.44 \times 0.03 \times 100.0 = 1.320$	m ³	1.3
PUS300型 PUS224 240×240	$100.0 = 100.000$ $100.0 / 0.605 = 165.289$	m 個	100.0 165.3
コンクリート蓋 L=600	$100.0 / 0.60 = 166.667$	枚	166.7
床掘	$(0.63 \times 0.26 + 0.30 \times 0.21) \times 100.0 = 22.680$	m ³	22.7
埋戻	$22.680 - \{0.44 \times 0.10 + 0.24 \times 0.03 + (0.24 + 0.32) / 2 \times 0.04 + (0.32 + 0.324) / 2 \times 0.09\} \times 100.0 = 13.542$	m ³	13.5
床均し	$0.44 \times 100.0 = 44.000$	m ²	44.0

U型側溝-F

計 算 書

100m当り

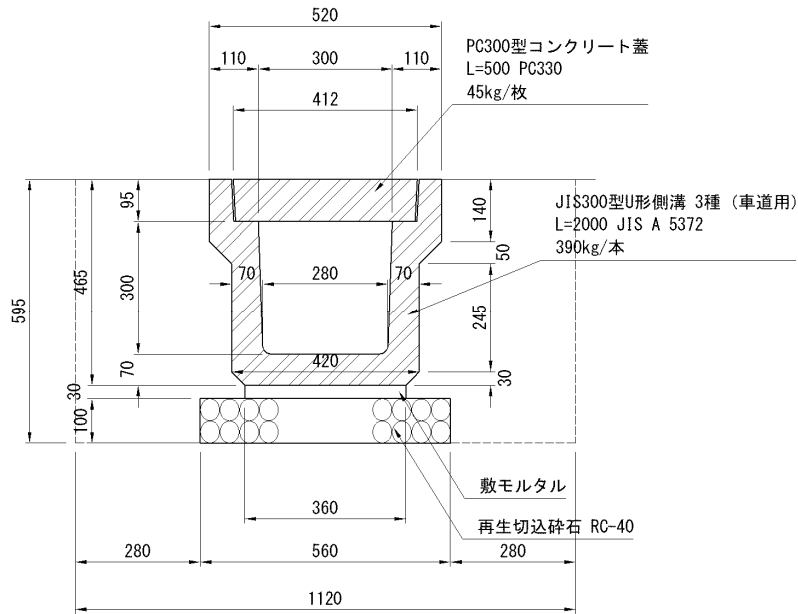


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.56 \times 100.0 = 56.000$	m ²	56.0
敷モルタル 1:3 t=30	$0.36 \times 0.03 \times 100.0 = 1.080$	m ³	1.1
JIS100型U形側溝 300×300(歩道用)	$100.0 = 100.000$ $100.0 / 2.005 = 49.875$	m 個	100.0 49.9
コンクリート蓋 L=500	$100.0 / 0.50 = 200.000$	枚	200.0
床掘	$(0.30 \times 0.405 + 0.80 \times 0.585) \times 100.0 = 59.000$	m ³	59.0
埋戻	$58.950 - \{0.56 \times 0.10 + 0.36 \times 0.03 + (0.36 + 0.40) / 2 \times 0.02 + 0.40 \times 0.255\} \times 100.0 = 41.000$	m ³	41.0
床均し	$0.56 \times 100.0 = 56.000$	m ²	56.0

U型側溝-G

計 算 書

100m当り

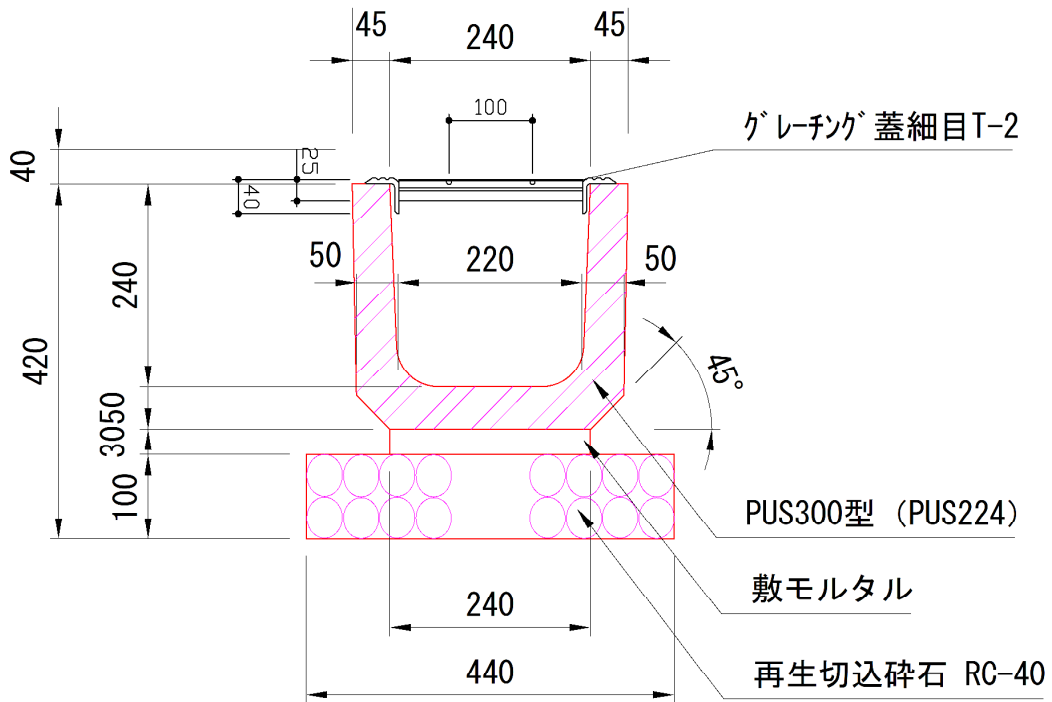


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.56 \times 100.0 = 56.000$	m ²	56.0
敷モルタル 1:3 t=30	$0.36 \times 0.03 \times 100.0 = 1.080$	m ³	1.1
JIS300型U形側溝 300×300(車道用)	$100.0 = 100.000$	m	100.0
	$100.0 / 2.005 = 49.875$	個	49.9
コンクリート蓋 L=500	$100.0 / 0.50 = 200.000$	枚	200.0
床掘	$1.12 \times 0.595 \times 100.0 = 67.000$	m ³	67.0
埋戻	$66.640 - (0.56 \times 0.10 + 0.36 \times 0.03 + (0.36 + 0.42) / 2 \times 0.03 + 0.42 \times 0.245 + (0.42 + 0.52) / 2 \times 0.05 + 0.52 \times 0.14) \times 100.0 = 38.870$	m ³	38.9
床均し	$0.56 \times 100.0 = 56.000$	m ²	56.0

U型側溝-I

計 算 書

100m当り

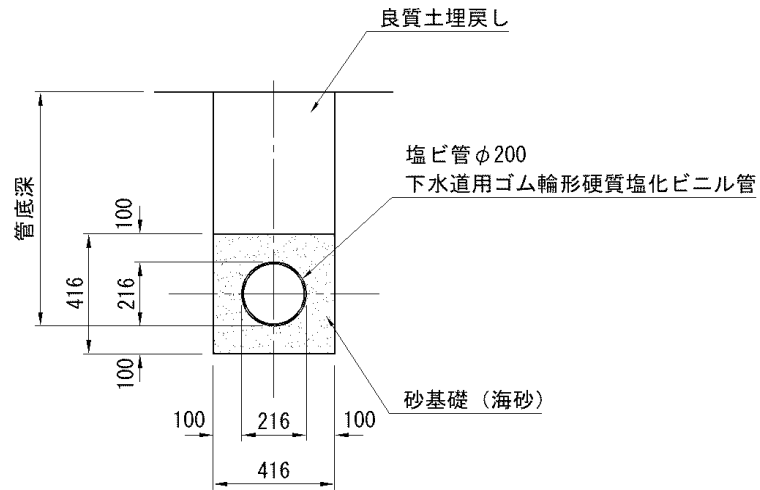


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.44 \times 100.0 = 44.000$	m ²	44.0
敷モルタル 1:3 t=30	$0.44 \times 0.03 \times 100.0 = 1.320$	m ³	1.3
PUS300型 PUS224 240×240	$100.0 = 100.000$ $100.0 / 0.605 = 165.289$	m 個	100.0 165.3
グレーチング蓋細目 L=995(1000)	$100.0 / 1.0 = 100.000$	枚	100.0
床均し	$0.44 \times 100.0 = 44.000$	m ²	44.0

雨水取付管

計 算 書

100m当り



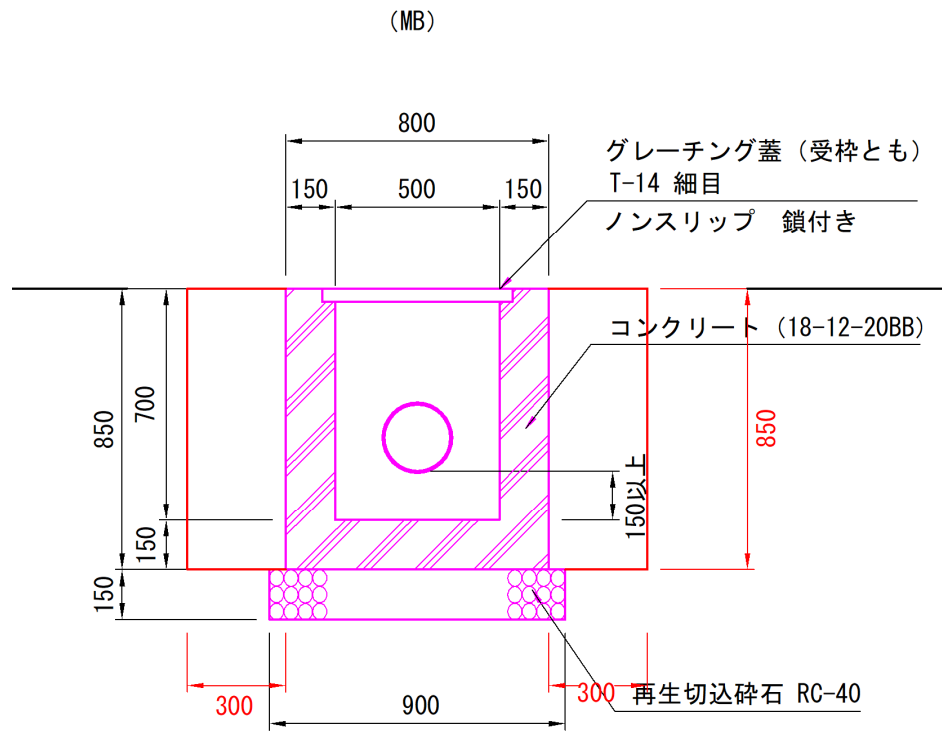
平均管底深	$(0.60+0.70)/2$	=	0.650 m3
平均舗装厚	$(0+0.34+0.25+0.25+0.31)/5$	=	0.230 m3
平均掘削深さ	$0.65+0.10-0.23$	=	0.520 m3

名 称	計 算 式	単 位	数 量
砂	$(0.416 \times 0.416 - 0.216 \times 0.216 \times \pi / 4) \times 100.0$	m3	13.6
塩ビ管 φ200	100.0	m	100.0
床均し	0.416×100.0	m2	41.6

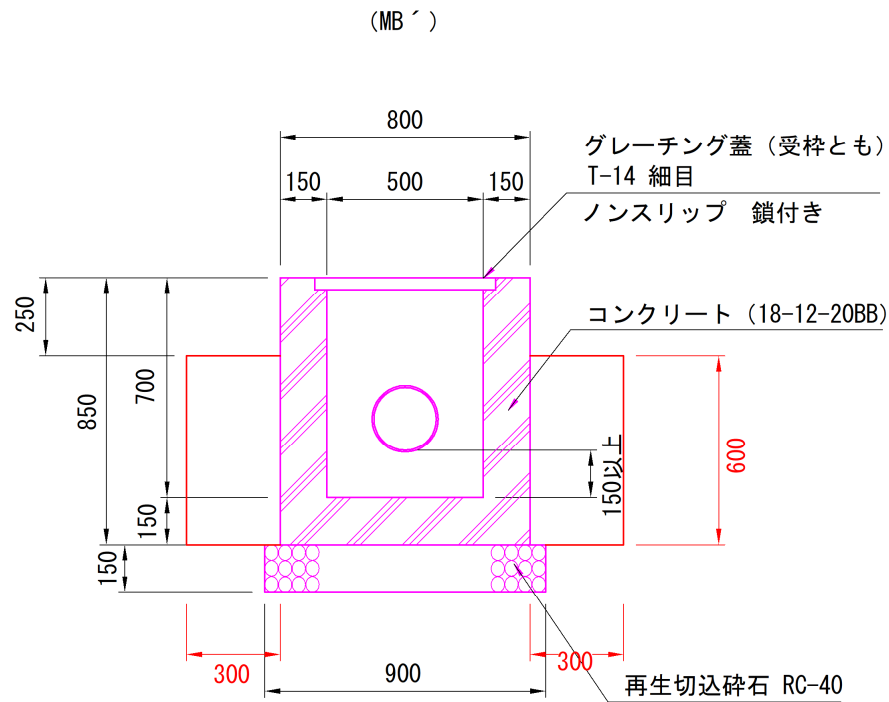
集水枡-MB

計 算 書

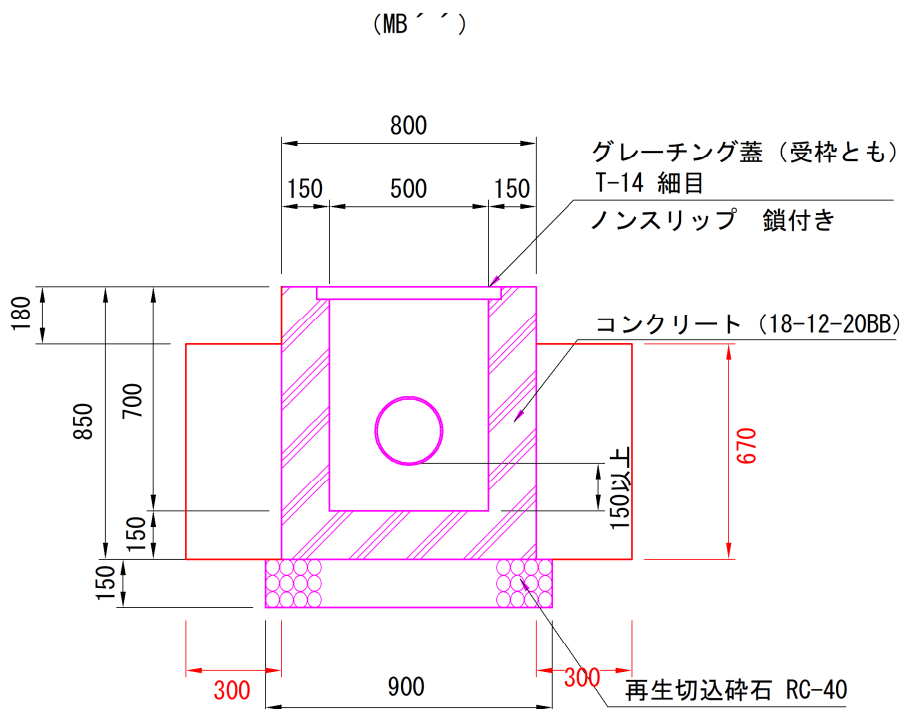
100箇所当り



名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
コンクリート 18-12-20BB	$(0.80 \times 0.80 \times 0.85 - 0.50 \times 0.50 \times 0.70) \times 100 = 36.900$	m3	36.9
同上型枠	$(0.80 + 0.50) \times 0.85 \times 4 \times 100 = 442.000$	m2	442.0
グレーチング蓋 T-14 細目 ノンスリップ	$100 = 100.000$	組	100
床均し	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
床掘	$1.40 \times 1.40 \times 0.85 \times 100 = 166.600$	m3	166.0
埋戻	$166.600 - (0.90 \times 0.90 \times 0.15 + 0.80 \times 0.80 \times 0.85) \times 100 = 100.050$	m3	100.0



名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
コンクリート 18-12-20BB	$(0.80 \times 0.80 \times 0.85 - 0.50 \times 0.50 \times 0.70) \times 100 = 36.900$	m3	36.9
同上型枠	$(0.80 + 0.50) \times 0.85 \times 4 \times 100 = 442.000$	m2	442.0
グレーチング蓋 T-14 細目 ノンスリップ	$100 = 100.000$	組	100
床均し	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
床掘	$1.40 \times 1.40 \times 0.60 \times 100 = 117.600$	m3	117.6
埋戻	$117.600 - (0.90 \times 0.90 \times 0.15 + 0.80 \times 0.80 \times 0.60) \times 100 = 67.000$	m3	67.0

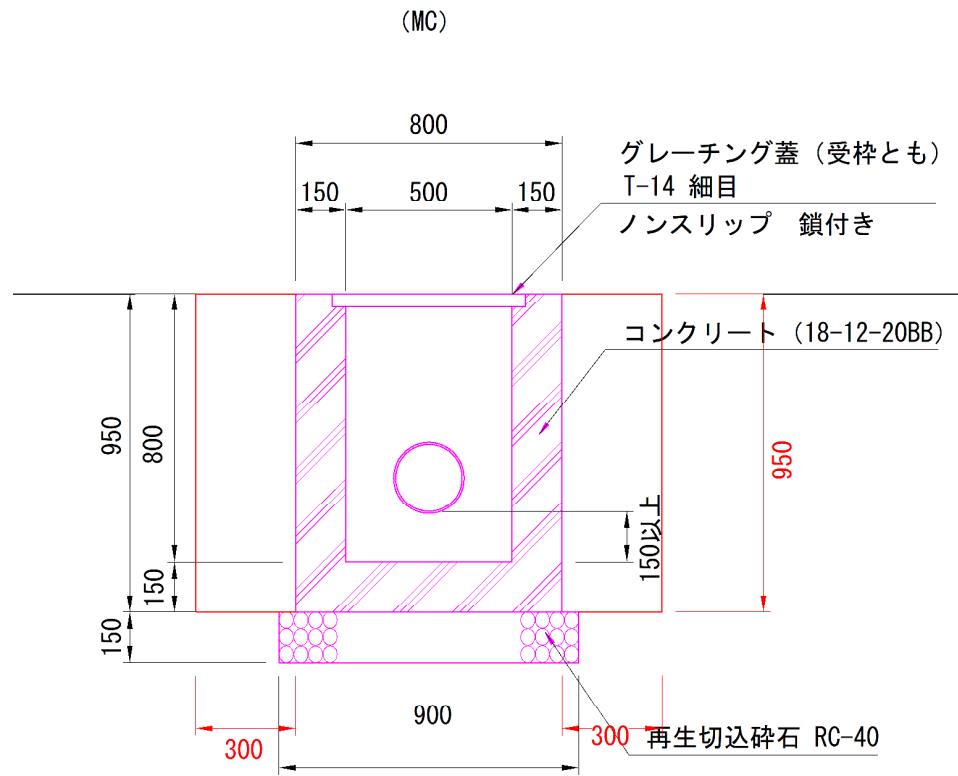


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
コンクリート 18-12-20BB	$(0.80 \times 0.80 \times 0.85 - 0.50 \times 0.50 \times 0.70) \times 100 = 36.900$	m3	36.9
同上型枠	$(0.80 + 0.50) \times 0.85 \times 4 \times 100 = 442.000$	m2	442.0
グレーチング蓋 T-14 細目 ノンスリップ	$100 = 100.000$	組	100
床均し	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
床掘	$1.40 \times 1.40 \times 0.67 \times 100 = 131.320$	m3	131.3
埋戻	$131.320 - (0.90 \times 0.90 \times 0.15 + 0.80 \times 0.80 \times 0.67) \times 100 = 76.240$	m3	76.2

集水ます-MC

計 算 書

100箇所当り

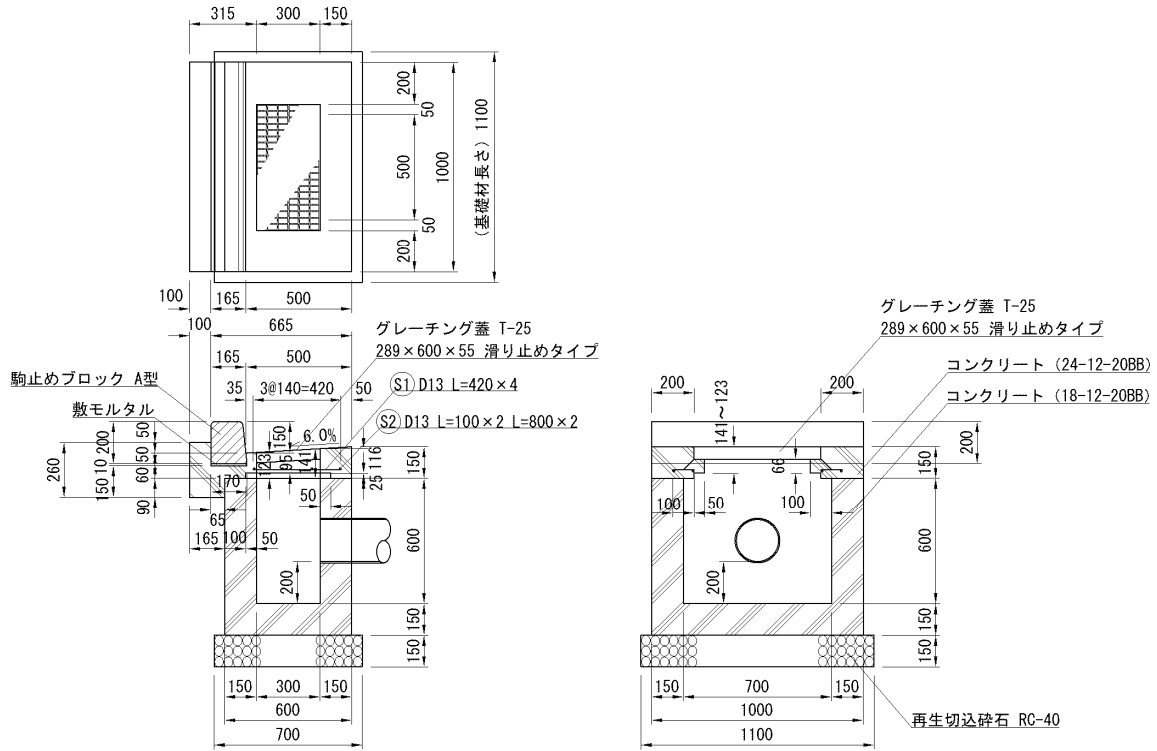


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
コンクリート 18-12-20BB	$(0.80 \times 0.80 \times 0.95 - 0.50 \times 0.50 \times 0.80) \times 100 = 40.800$	m3	40.8
同上型枠	$(0.80 + 0.50) \times 0.95 \times 4 \times 100 = 494.000$	m2	494.0
グレーチング蓋 T-14 細目 ノンスリップ	$100 = 100.000$	組	100
床均し	$0.90 \times 0.90 \times 100 = 81.000$	m2	81.0
床掘	$1.40 \times 1.40 \times 0.95 \times 100 = 186.200$	m3	186.0
埋戻	$186.200 - (0.90 \times 0.90 \times 0.15 + 0.80 \times 0.80 \times 0.95) \times 100 = 113.25$	m3	113.0

街渠柵

計 算 書

100箇所当り



名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.70 \times 1.10 \times 100 = 77.000$	m2	77.0
コンクリート 18-12-20BB	$(0.60 \times 1.00 \times 0.75 - 0.30 \times 0.70 \times 0.60) \times 100 = 32.000$	m3	32.0
同上型枠	$(0.60 + 1.00 + 0.30 + 0.70) \times 0.75 \times 2 \times 100 = 390.000$	m2	390.0
コンクリート 24-12-20BB	$\{0.15 \times (0.141 + 0.15) / 2 - 0.05 \times 0.025\} \times 1.00 \times 100 = 2.000$ $\{0.30 \times ((0.123 + 0.141) / 2 - 0.025) \times 0.20 + 0.05 \times 0.066 \times 0.30\} \times 2 \times 100 = 1.000$ $(0.10 \times 0.26 + 0.065 \times 0.15 + 0.10 \times 0.06 + 0.05 \times (0.095 + 0.098) / 2) \times 1.00 \times 100 = 5.000$		
	合計 = 8.000	m3	8.0

街渠柵

計 算 書

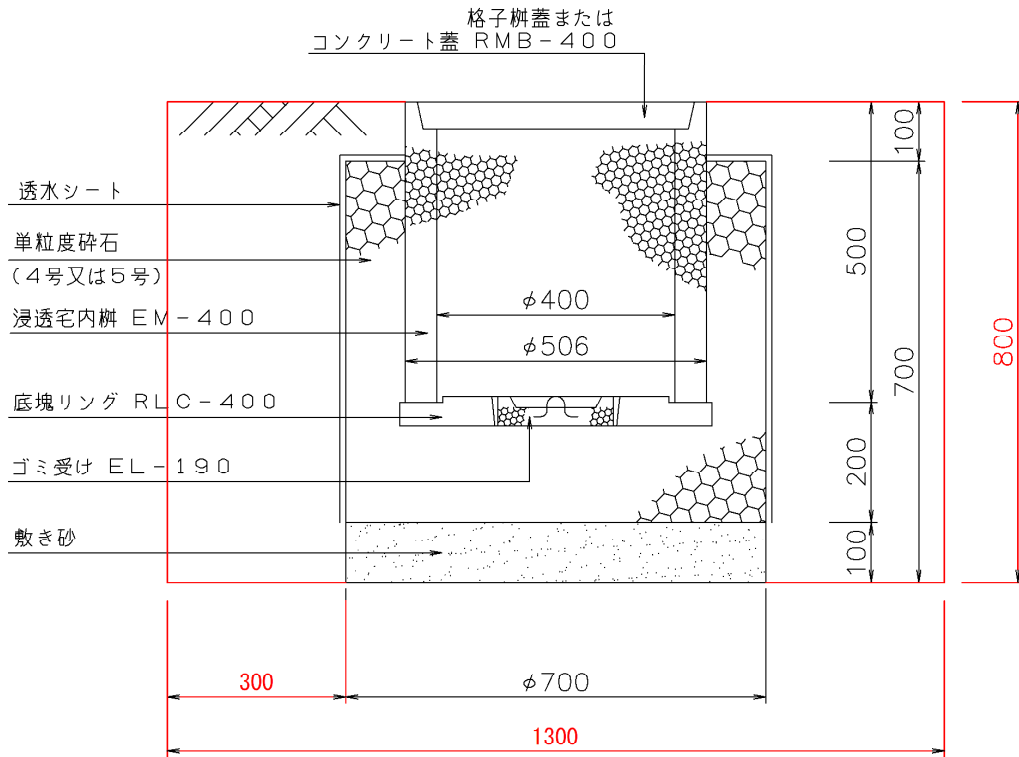
100箇所当り

名 称	計 算 式	単 位	数 量
同上型柵	$\{1.00 \times 0.15 + 0.50 \times 0.141 + 0.45 \times (0.123 + 0.15) / 2 \times 2 + 0.30 \times (0.123 + 0.141) / 2 \times 2 + 1.00 \times 0.26 + 0.50 \times 0.123\} \times 100 = 74.000$ $(0.10 \times 0.26 + 0.065 \times 0.15 + 0.10 \times 0.06 + 0.05 \times (0.095 + 0.098) / 2) \times 2 \times 100 = 9.000$ <p style="text-align: right;">合計 = 83.000</p>	m2	83.0
駒止めブロック A型	1.00 × 100 = 100.000	m	100.0
敷モルタル 1:3 t=30	0.17 × 0.01 × 1.00 × 100 = 0.170	m3	0.2
グレーチング蓋 T-25 289 × 600 × 55	100 = 100.000	枚	100
鉄筋 D13	(0.42 × 4 + 0.10 × 4 + 0.80 × 2) × 0.995 / 1000 × 100 = 0.366	t	0.4
床均し	0.70 × 1.10 × 100 = 77.000	m2	77.0

浸透柵EM400×500

計 算 書

100箇所当り

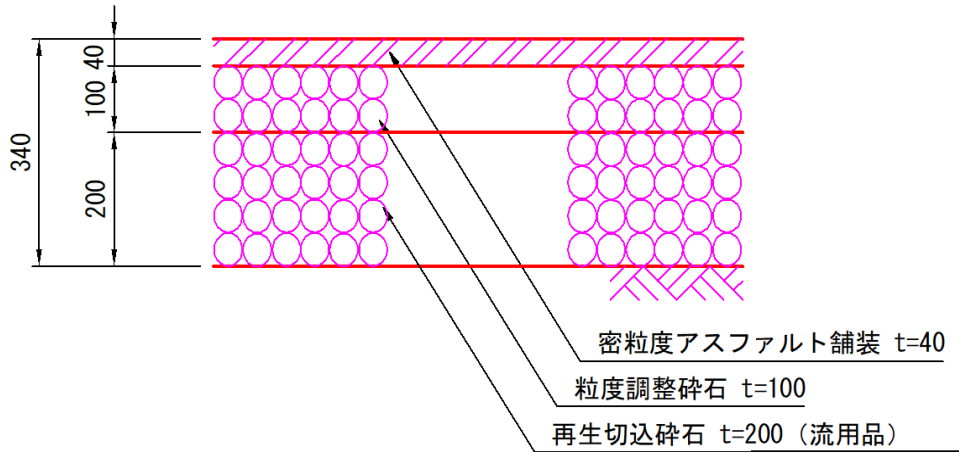


名 称	計 算 式	単 位	数 量
単粒度碎石 4号	$\{(0.35 \times 0.35 \times 3.14 \times 0.60) - (0.253 \times 0.253 \times 3.14 \times 0.45)\} \times 1 = 14.100$	m ²	14.1
敷き砂	$0.35 \times 0.35 \times 3.14 \times 0.10 \times 100 = 3.850$	m ³	3.9
透水シート	$0.7 \times 3.14 \times 0.7 \times 100 = 153.860$	m ²	153.9
浸透柵	$1.0 \times 100 = 100.000$	個	100.0
格子柵蓋	$1.0 \times 100 = 100.000$	枚	100.0
床掘	$0.65 \times 0.65 \times 3.14 \times 0.80 \times 100 = 106.130$	m ³	106.0
埋戻	$106.0 - (0.35 \times 0.35 \times 3.14 \times 0.80 \times 100 + 3.85) = 71.370$	m ³	71.4
床均し	$0.35 \times 0.35 \times 3.14 \times 100 = 38.465$	m ²	38.5

アスファルト舗装-A

計 算 書

100㎡当り

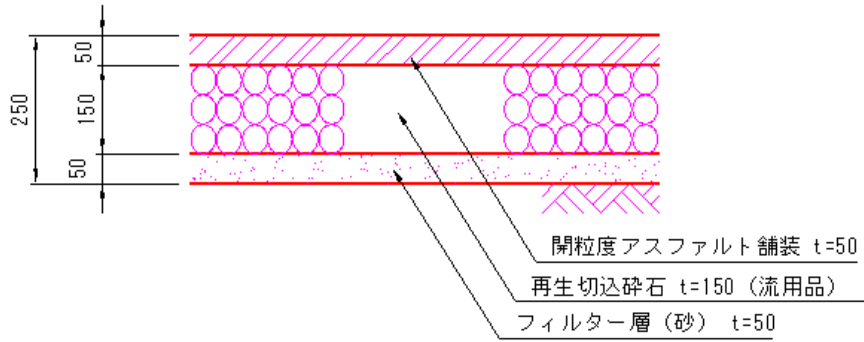


名 称	計 算 式		単 位	数 量
不陸整正	100.0	= 100.000	m ²	100.0
下層路盤 再生切込碎石 RC-40 t=200 流用品	100.0	= 100.000	m ²	100.0
上層路盤 粒度調整碎石 RM-30 t=100	100.0	= 100.000	m ²	100.0
表層 密粒度アスファルト舗装 t=40	100.0	= 100.000	m ²	100.0

アスファルト舗装-C

計 算 書

100m²当り

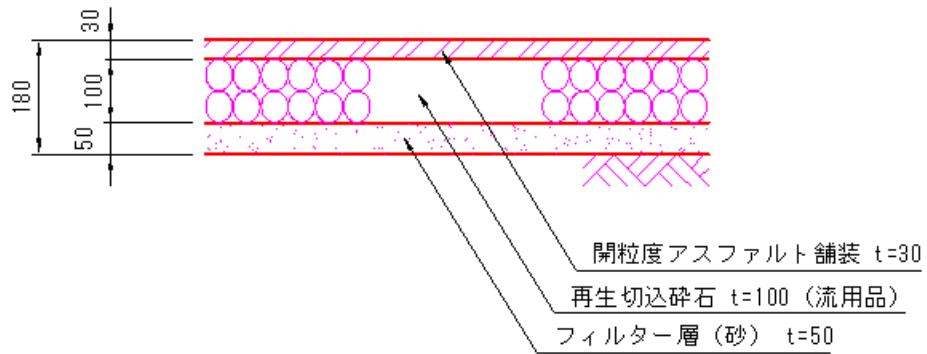


名 称	計 算 式		単 位	数 量
不陸整正	100.0	= 100.000	m ²	100.0
フィルター層 砂 t=50	0.05×100.0	= 5.000	m ³	5.0
路盤 切込碎石 RC-40 t=150 流用品	100.0	= 100.000	m ²	100.0
表層 開粒度アスファルト舗装 t=50	100.0	= 100.000	m ²	100.0

アスファルト舗装-D

計 算 書

100m²当り

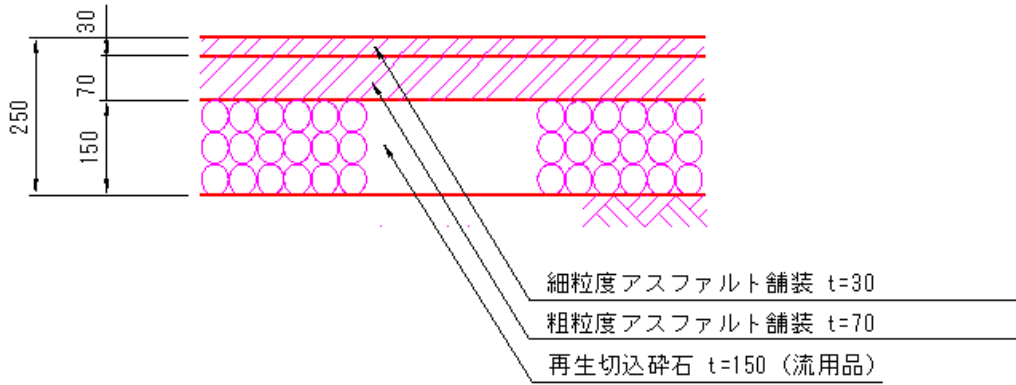


名 称	計 算 式		単 位	数 量
不陸整正	100.0	= 100.000	m ²	100.0
フィルター層 砂 t=50	0.05×100.0	= 5.000	m ³	5.0
路盤 切込碎石 RC-40 t=100 流用品	100.0	= 100.000	m ²	100.0
表層 開粒度アスファルト舗装 t=30	100.0	= 100.000	m ²	100.0

アスファルト舗装-E

計 算 書

100m²当り

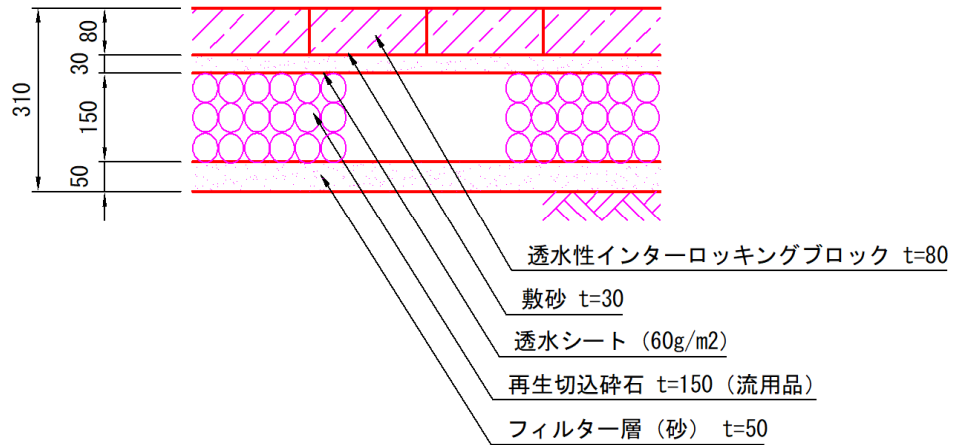


名 称	計 算 式	単 位	数 量
不陸整正	100.0 = 100.000	m ²	100.0
路盤 切込碎石 RC-40 t=150 流用品	100.0 = 100.000	m ²	100.0
表層 粗粒度アスファルト舗装 t=70	100.0 = 100.000	m ²	100.0
表層 細粒度アスファルト舗装 t=30	100.0 = 100.000	m ²	100.0

ブロック舗装-A

計 算 書

100m²当り

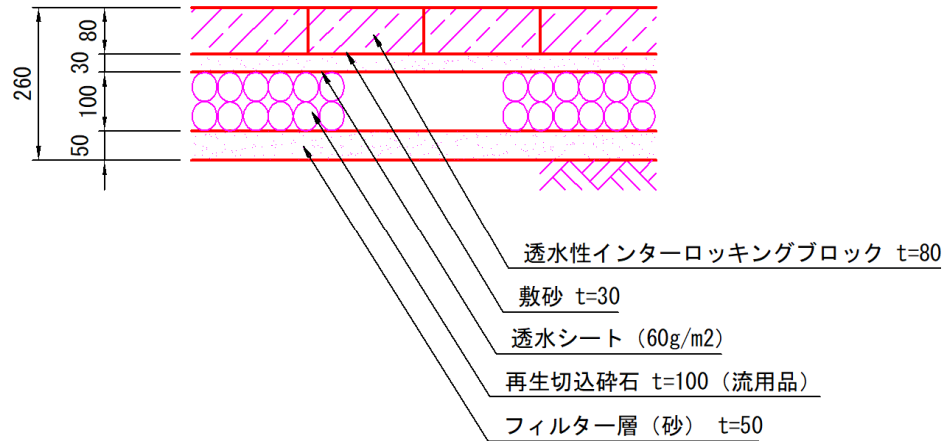


名 称	計 算 式	単 位	数 量
不陸整正	100.0 = 100.000	m ²	100.0
フィルター層 砂 t=50	0.05 × 100.0 = 5.000	m ³	5.0
路盤 切込碎石 RC-40 t=150 流用品	100.0 = 100.000	m ²	100.0
透水シート 60g/m ²	100.0 = 100.000	m ²	100.0
敷砂 t=30	0.03 × 100.0 = 3.000	m ³	3.0
透水性インターロッキングブロック t=80	100.0 = 100.000	m ²	100.0

ブロック舗装-B

計 算 書

100m²当り

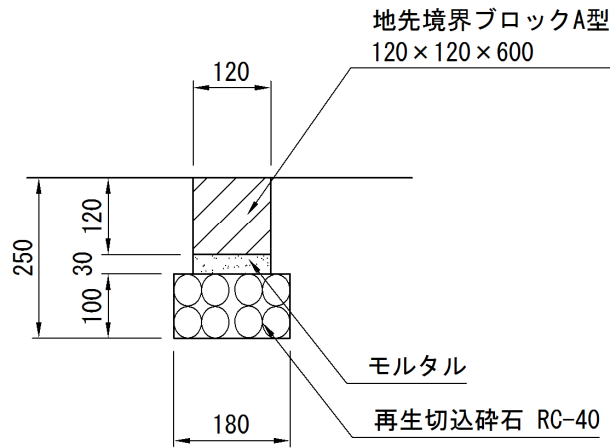


名 称	計 算 式	単 位	数 量
不陸整正	100.0 = 100.000	m ²	100.0
フィルター層 砂 t=50	0.05×100.0 = 5.000	m ³	5.0
路盤 切込碎石 RC-30 t=100 流用品	100.0 = 100.000	m ²	100.0
透水シート 60g/m ²	100.0 = 100.000	m ²	100.0
敷砂 t=30	0.03×100.0 = 3.000	m ³	3.0
透水性インターロッキングブロック t=80	100.0 = 100.000	m ²	100.0

縁石-A

計 算 書

100m当り

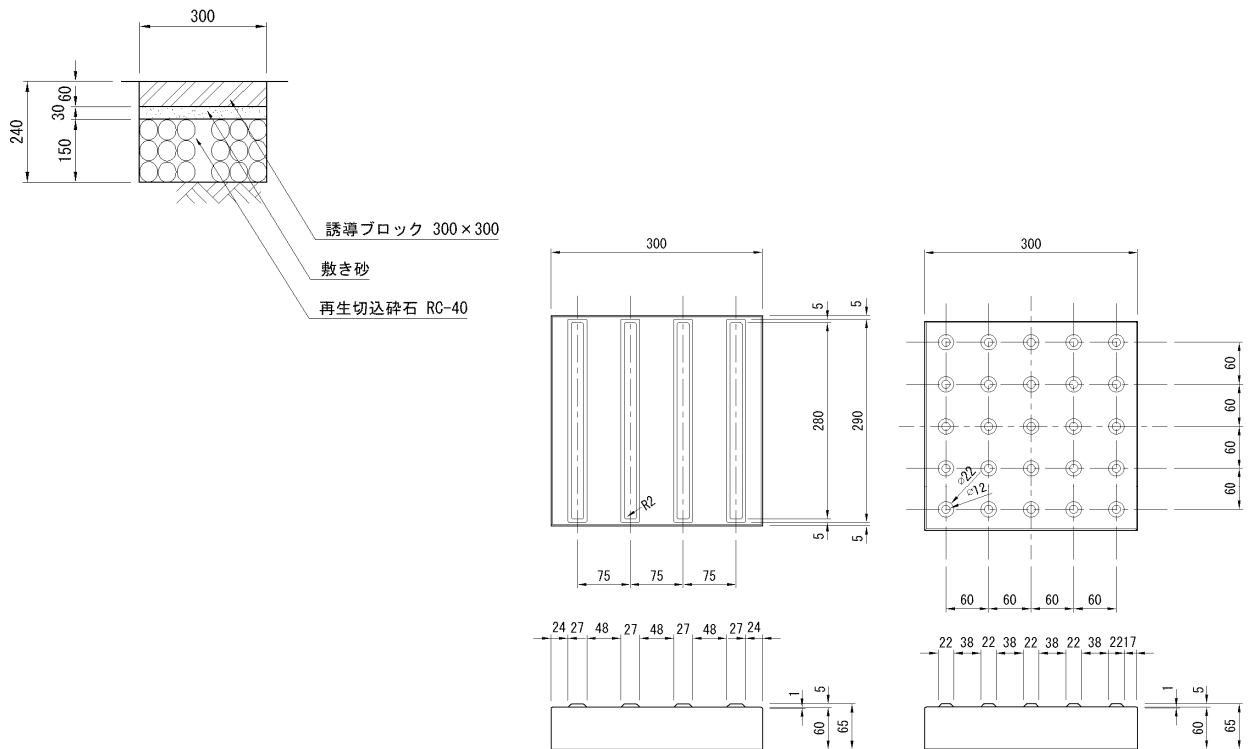


名 称	計 算 式			単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	0.18×100.0	=	18.000	m ²	18.0
モルタル 1:3 t=30	$0.12 \times 0.03 \times 100.0$	=	0.360	m ³	0.36
地先境界ブロックA型 120×120×600	$100.0 / 0.605$	=	165.289	個	165.3
床均し	0.18×100.0	=	18.000	m ²	18.0

誘導ブロック-A

計 算 書

100m²当り

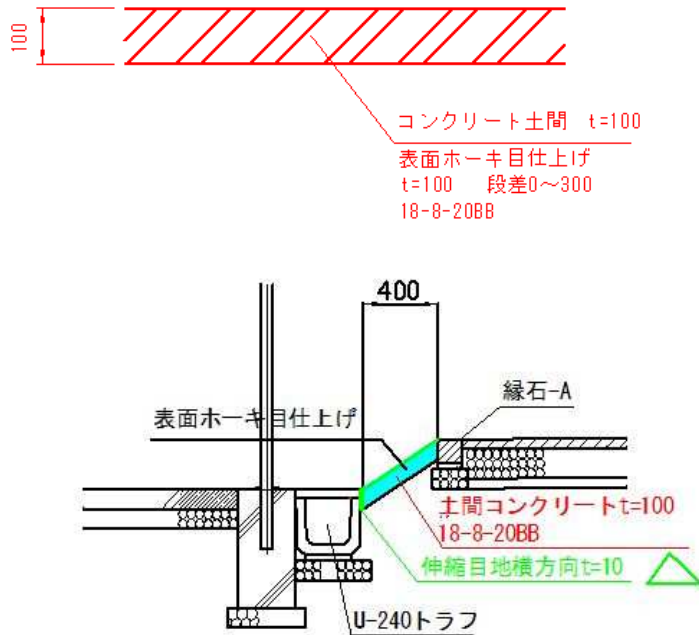


名 称	計 算 式	単 位	数 量
誘導ブロック 300×300×60	100.0 = 100.000 100.0/(0.30×0.30) = 1111.111	m ² 枚	100.0 1111.1
敷砂 t=30	10.0×10.0×0.03 = 3.000	m ³	3.0
再生切込砕石 RC-40 t=150	100.0 = 100.000	m ²	100.0
床均し	100.0 = 100.000	m ²	100.0

コンクリート土間

計 算 書

100m当り



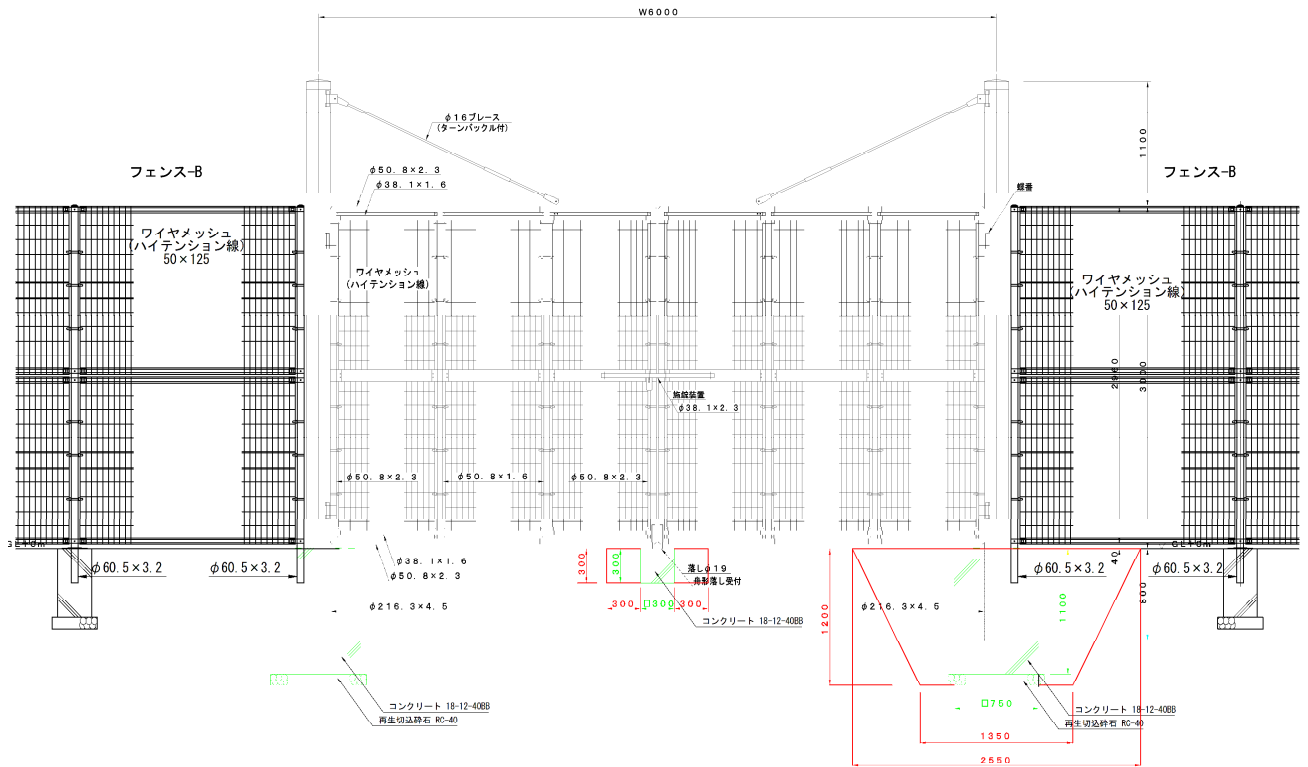
※伸縮目地を5m毎とトラフ側にいれる

名 称	計 算 式	単 位	数 量
コンクリート 18-8-20BB	$0.40 \times 0.10 \times 100.0 = 4.000$	m3	4.0
伸縮目地 瀝青繊維質板 t=10	$(0.40 \times 0.10 \times 100.0 / 5.0) + 0.1 \times 100 = 10.800$	m2	10.8
床掘	$0.40 \times 0.10 \times 100.0 = 4.000$	m3	4.0
床均し	$0.40 \times 100.0 = 40.000$	m2	40.0

門扉-E

計 算 書

100箇所当り



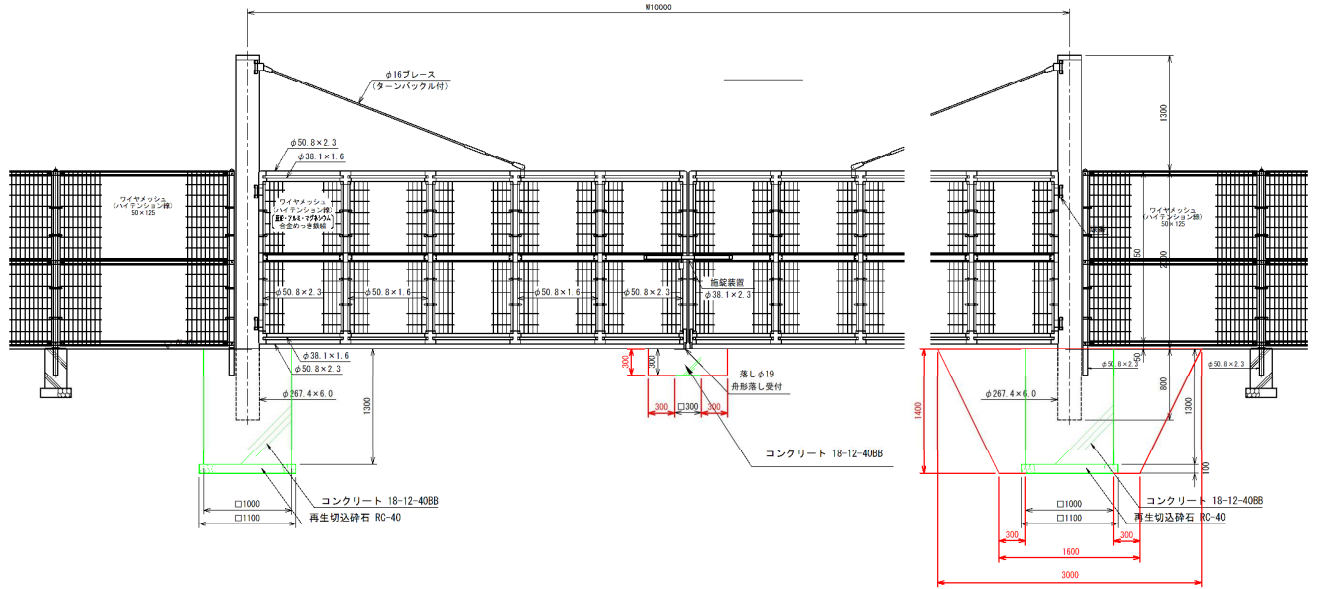
名 称	計	算	式	単位	数 量
門扉 W6000×H3000	100	=	100.000	基	100
再生切込砕石 RC-40 t=100	0.85×0.85×2×100.0	=	144.50	m ²	144.5
コンクリート基礎 18-12-40BB	0.75×0.75×1.1×2×100.0	=	123.75	m ³	123.8
コンクリート落し 18-12-40BB	0.3×0.3×0.3×1×100.0	=	2.70	m ³	2.7
Φ350ボイド管	0.80×2×100.0	=	160.00	m	160.0
基礎型枠	0.75×1.1×4×2×100.0	=	660.00	m ²	660.0
落し型枠	0.3×0.3×4×1×100.0	=	36.00	m ²	36.0
基礎床掘	{(1.35×1.35)+(2.55×2.55)}/2×1.2×2×100	=	999.000	m ³	999.0
落し床掘	0.9×0.9×0.3×1×100	=	24.300	m ³	24.3
基礎埋戻	999.00-(123.75+144.5×0.10)	=	860.800	m ³	860.0
落し埋戻	24.30-2.7	=	21.600	m ³	21.6
基礎床均し	0.85×0.85×2×100	=	144.500	m ²	144.0
落し床均し	0.30×0.30×1×100	=	9.000	m ²	9.0

門扉-F

計 算 書

100箇所当り

UN両開き門扉 H2000-50×W10000 S=1:30
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

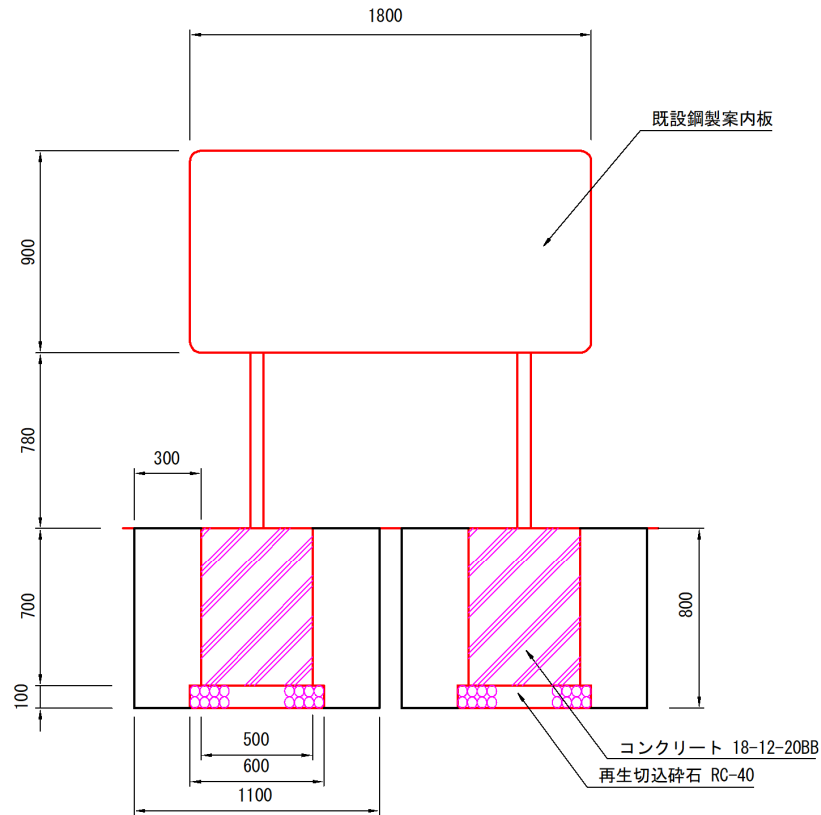


名 称	計 算 式		単位	数 量
門扉 W10000×H2000	100	= 100.000	基	100
再生切込砕石 RC-40 t=100	1.10×1.10×2×100.0	= 242.00	m ²	242.0
コンクリート基礎 18-12-40BB	1.00×1.00×1.3×2×100.0	= 260.00	m ³	260.0
コンクリート落し 18-12-40BB	0.3×0.3×0.3×1×100.0	= 2.70	m ³	2.7
Φ400スリーブ	0.80×2×100.0	= 160.00	m	160.0
基礎型枠	1.00×1.3×4×2×100.0	= 1040.00	m ²	1040.0
落し型枠	0.3×0.3×4×1×100.0	= 36.00	m ²	36.0
基礎床掘	{(1.60×1.60)+(3.00×3.00)} / 2 × 1.4 × 2 × 100	= 1618.000	m ³	1618.0
落し床掘	0.9×0.9×0.3×1×100	= 24.300	m ³	24.3
基礎埋戻	1618.00-(260.00+242.0×0.10)	= 1333.800	m ³	1333.8
落し埋戻	24.30-2.7	= 21.600	m ³	21.6
基礎床均し	1.10×1.10×2×100	= 242.000	m ²	242.0
落し床均し	0.30×0.30×1×100	= 9.000	m ²	9.0

案内板設置(再利用)

計 算 書

10箇所当り

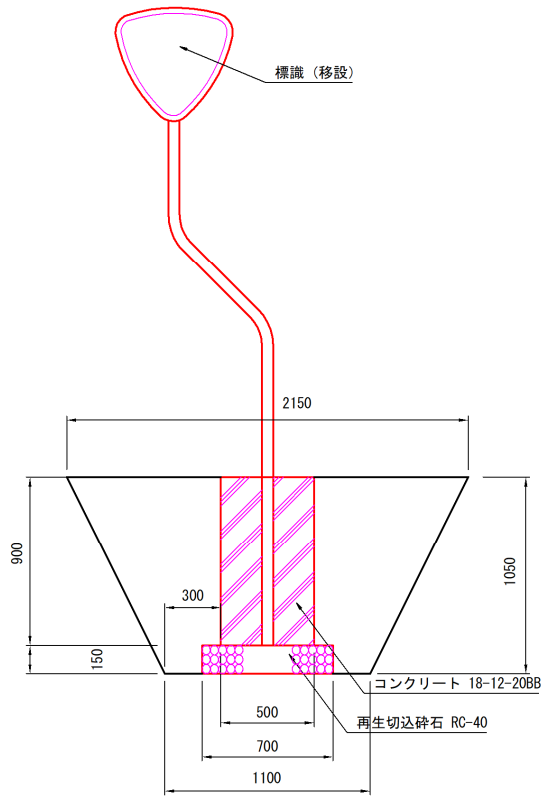


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=100	$0.6 \times 0.6 \times 2 \times 10.0 = 7.20$	m ²	7.2
コンクリート 18-12-20BB	$0.5 \times 0.5 \times 0.7 \times 2 \times 10.0 = 3.50$	m ³	3.5
型枠	$0.7 \times 0.5 \times 4 \times 2 \times 10.0 = 28.00$	m ²	28.0
基礎床掘	$(1.10 \times 1.10) \times 0.8 \times 2 \times 10 = 19.360$	m ³	19.4
基礎埋戻	$19.36 - (3.5 + 7.20 \times 0.10) = 15.140$	m ³	15.1

標識設置(再利用)

計 算 書

10箇所当り

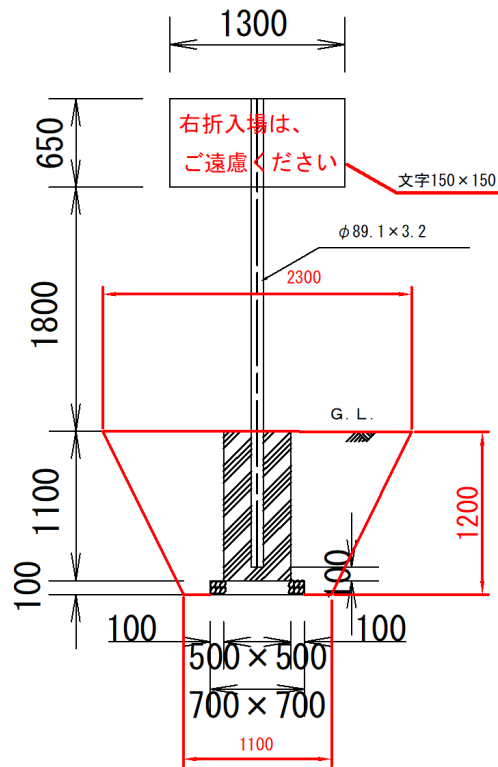


名 称	計 算 式	単 位	数 量
再生切込碎石 RC-40 t=150	$0.7 \times 0.7 \times 10 = 4.90$	m ²	4.9
コンクリート 18-12-20BB	$0.5 \times 0.5 \times 0.9 \times 10 = 2.25$	m ³	2.3
型枠	$0.5 \times 0.9 \times 4 \times 10 = 18.00$	m ²	18.0
基礎床掘	$\{(1.10 \times 1.10) + (2.15 \times 2.15)\} / 2 \times 1.05 \times 1 \times 10 = 30.620$	m ³	30.6
基礎埋戻	$30.62 - (2.25 + 4.90 \times 0.15) = 27.640$	m ³	27.6

右折看板設置（新設）

計 算 書

10箇所当り

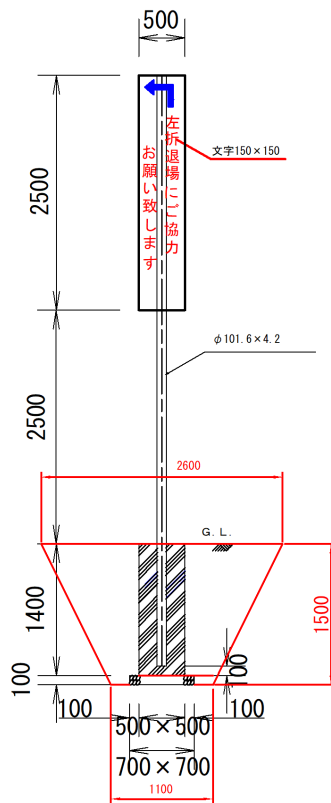


名 称	計 算 式	单 位	数 量
看板設置 1300×650 (取付金具共)	1×10 = 10.00	基	10.0
柱 Φ89.1 L=3400	1×10 = 10.00	本	10.0
再生切込碎石 RC-40 t=150	0.7×0.7×10 = 4.90	m ²	4.9
コンクリート 18-12-20BB	0.5×0.5×1.1×10 = 2.75	m ³	2.8
型枠	0.5×1.1×4×10 = 22.00	m ²	22.0
基礎床掘	{(1.1×1.1)+(2.3×2.3)}/2×1.2×1×10 = 39.000	m ³	39.0
基礎埋戻	39.00-(2.75+4.9×0.10) = 35.760	m ³	35.8

左折退場看板設置（新設）

計 算 書

10箇所当り

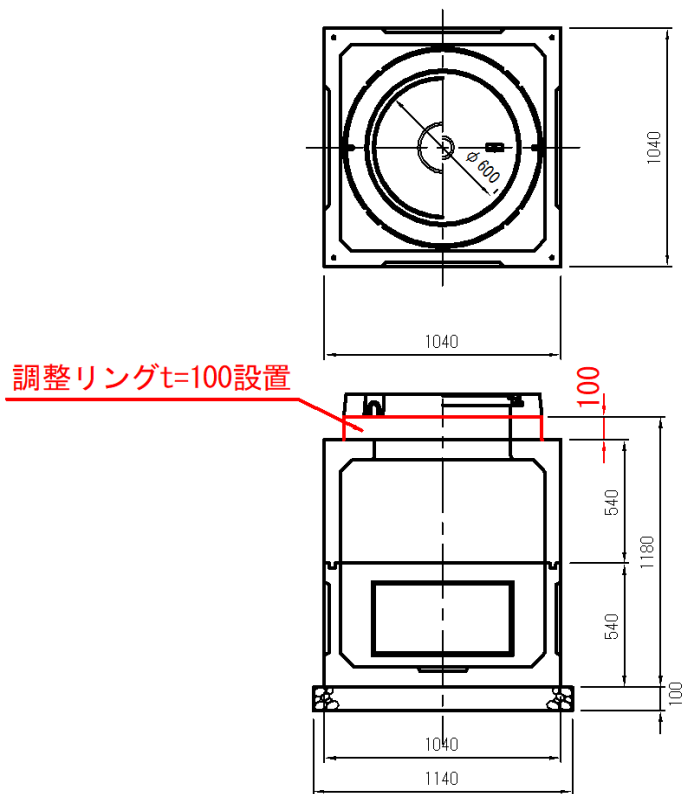


名 称	計 算 式	単 位	数 量
看板設置 500×2500 (取付金具共)	1×10 = 10.00	基	10.0
柱 Φ101.6 L=5300	1×10 = 10.00	本	10.0
再生切込碎石 RC-40 t=150	0.7×0.7×10 = 4.90	m ²	4.9
コンクリート 18-12-20BB	0.5×0.5×1.40×10 = 3.50	m ³	3.5
型枠	0.5×1.4×4×10 = 28.00	m ²	28.0
基礎床掘	{(1.1×1.1)+(2.6×2.6)} / 2 × 1.5 × 1 × 10 = 59.780	m ³	59.8
基礎埋戻	59.78 - (3.50 + 4.9 × 0.10) = 55.790	m ³	55.8

ハンドホール高さ調整 (H3)

計 算 書

1箇所当り

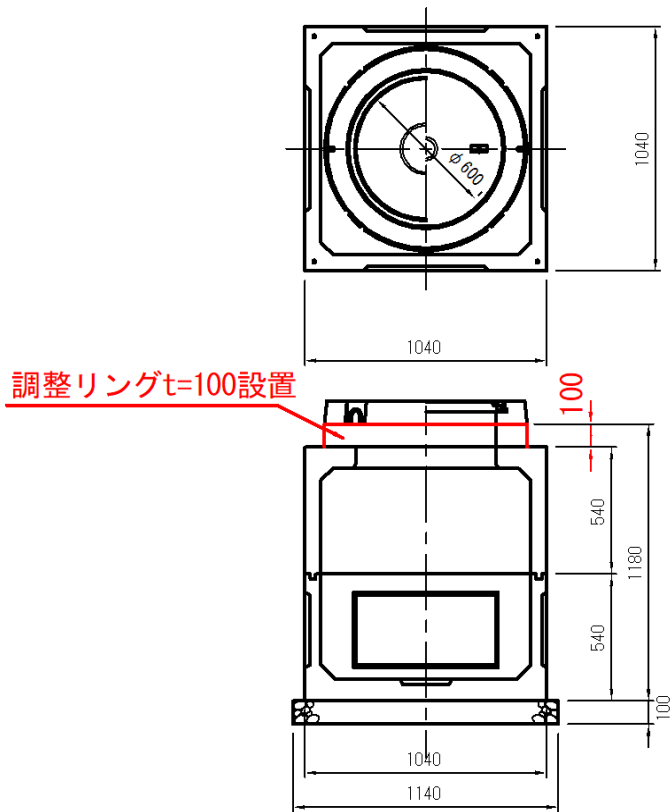


名 称	計 算 式	単 位	数 量
調整ブロック t=100	1.000 = 1.000	個	1.0

ハンドホール高さ調整 (H4)

計 算 書

1箇所当り

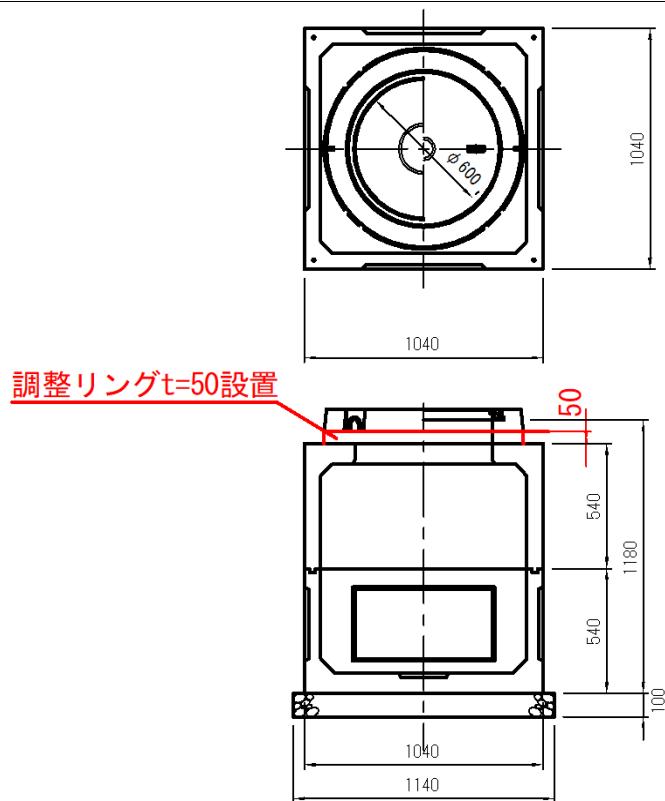


名 称	計 算 式	単 位	数 量
調整ブロック t=100	1.000 = 1.000	個	1.0

ハンドホール高さ調整 (H5)

計 算 書

1箇所当り

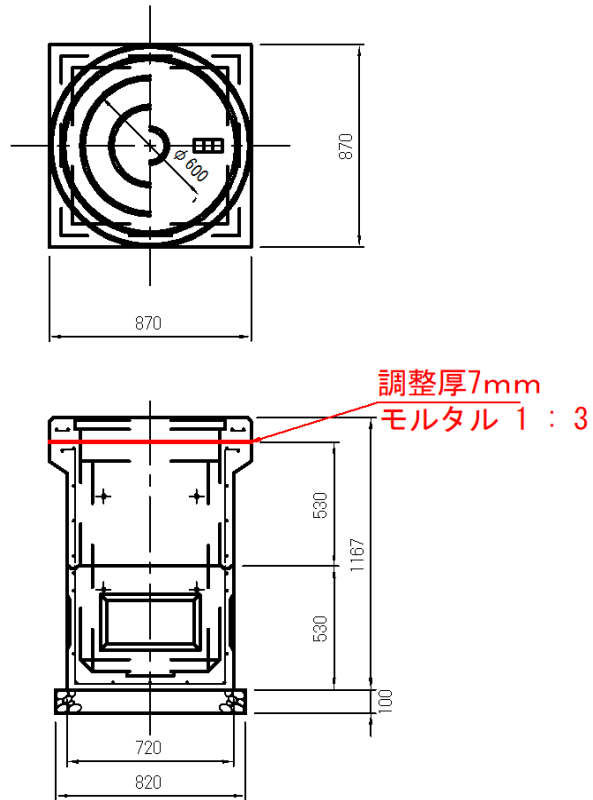


名 称	計 算 式		単 位	数 量
調整ブロック t=50	1.000	= 1.000	個	1.0

ハンドホール高さ調整 (H20)

計 算 書

1箇所当り

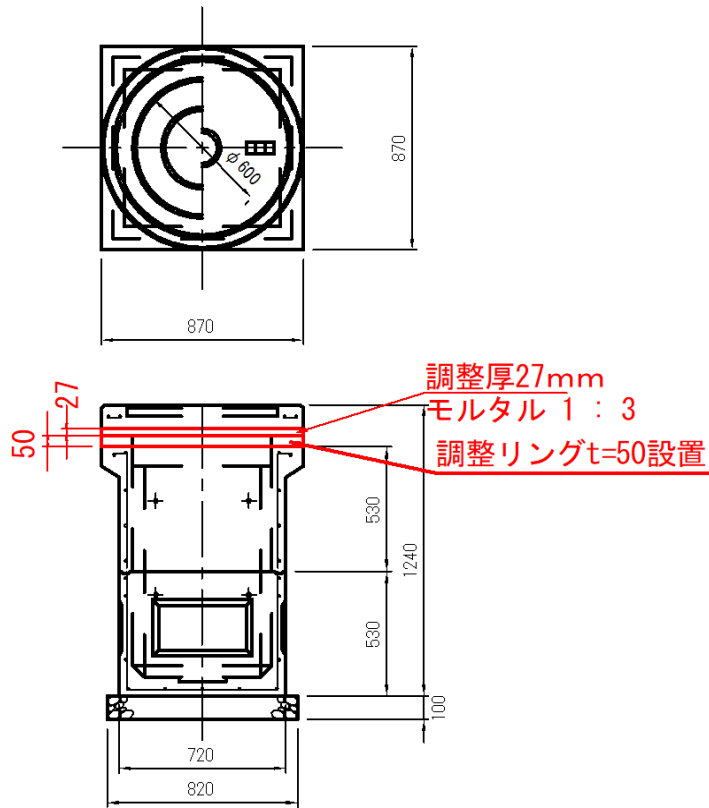


名 称	計 算 式	単 位	数 量
モルタル 1:3	$((0.87 \times 0.87) - (0.6 \times 0.6)) \times 0.007 = 0.003$	m ³	0.003

ハンドホール高さ調整 (H21)

計 算 書

1箇所当り

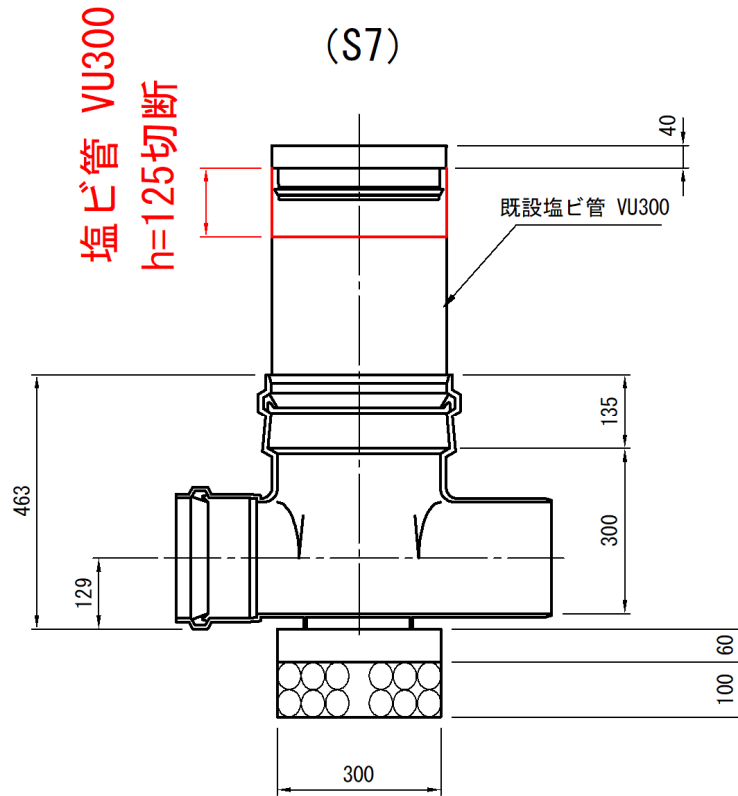


名 称	計 算 式	単 位	数 量
調整ブロック t=50	1.000 = 1.000	個	1.0
モルタル 1:3	$((0.87 \times 0.87) - (0.6 \times 0.6)) \times 0.027 = 0.010$	m ³	0.010

マンホール高さ調整 (S7)

計 算 書

1箇所当り



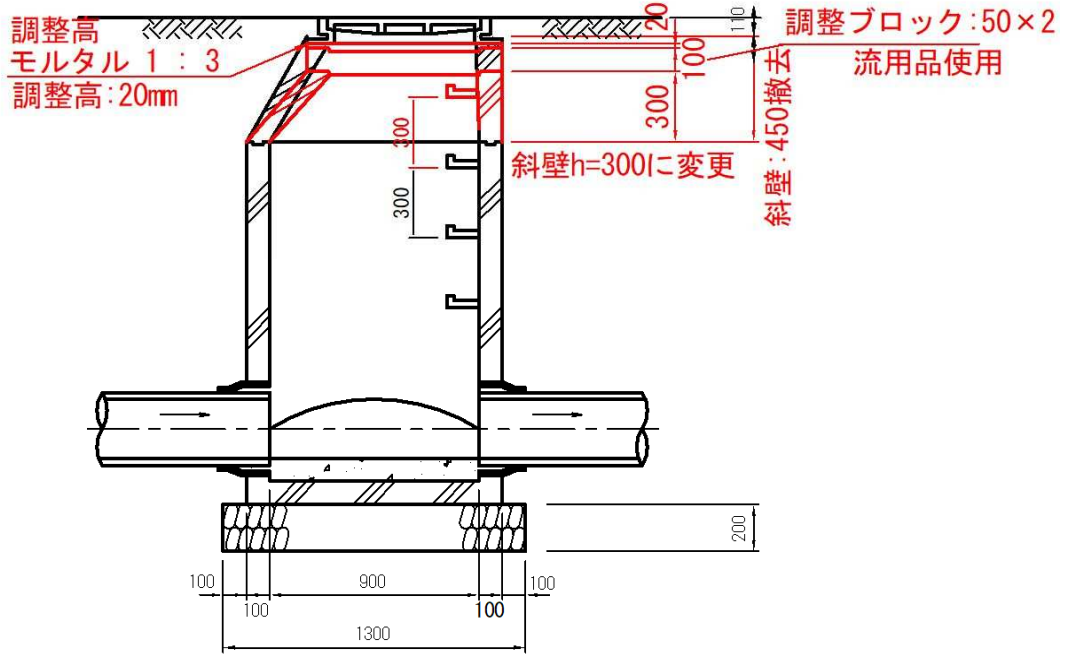
名 称	計 算 式		単 位	数 量
塩ビ管切断 ΦVU300 t=125	1.000	= 1.000	箇所	1.0

マンホール高さ調整 (S8)

計 算 書

1箇所当り

(S8)

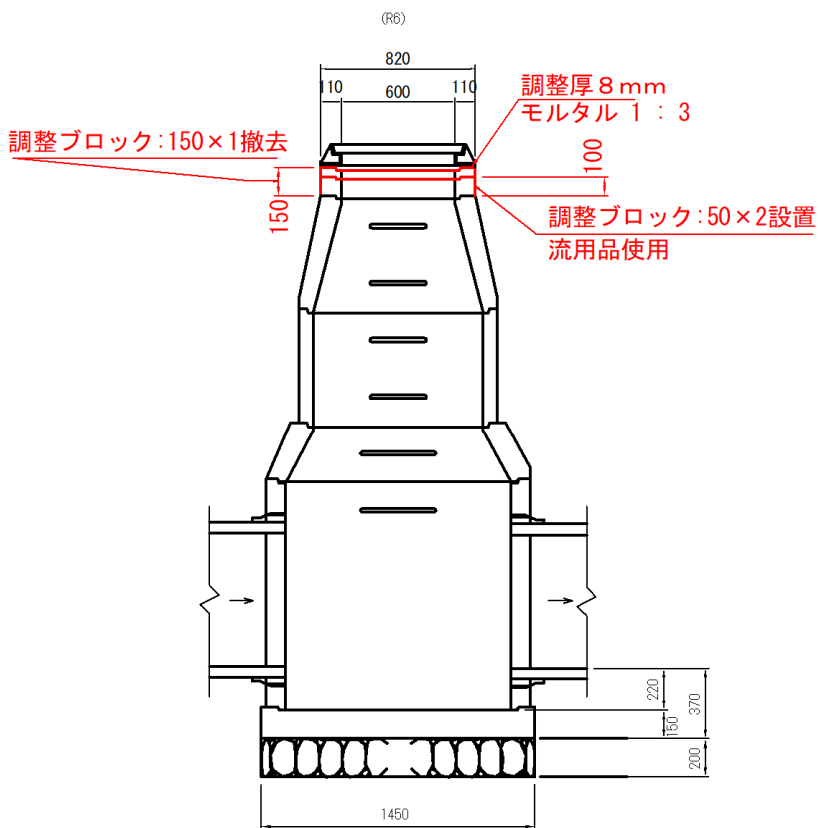


名 称	計 算 式	単 位	数 量
h=450斜壁撤去	1.000 = 1.000	個	1.0
h=300斜壁設置	1.000 = 1.000	個	1.0
調整ブロック t=50×2 流用品使用	1.000 = 2.000	個	2.0
モルタル 1:3	$((0.84 \times 0.84) - (0.6 \times 0.6)) \times 0.02$ = 0.007	m ³	0.007

マンホール高さ調整 (R6)

計 算 書

1箇所当り

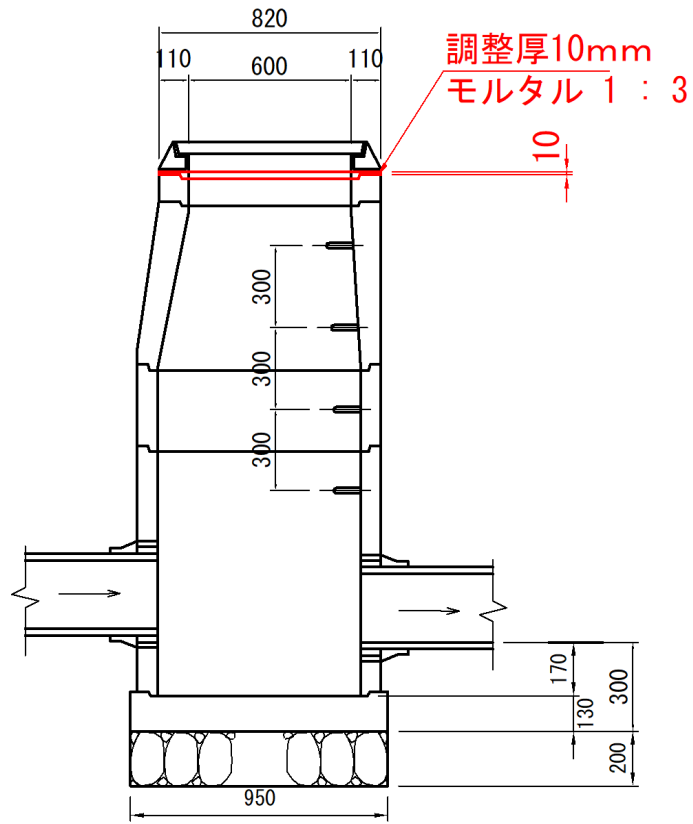


名 称	計 算 式		単 位	数 量
調整リング撤去 t=150	1.000	= 1.000	個	1.0
調整リング t=50 流用品使用	2.000	= 2.000	個	2.0
ボルト L=200	3.000	= 3.000	本	3.0
モルタル 1:3	$((0.84 \times 0.84) - (0.6 \times 0.6)) \times 0.008$	= 0.003	m ³	0.003

マンホール高さ調整 (R19)

計 算 書

1箇所当り

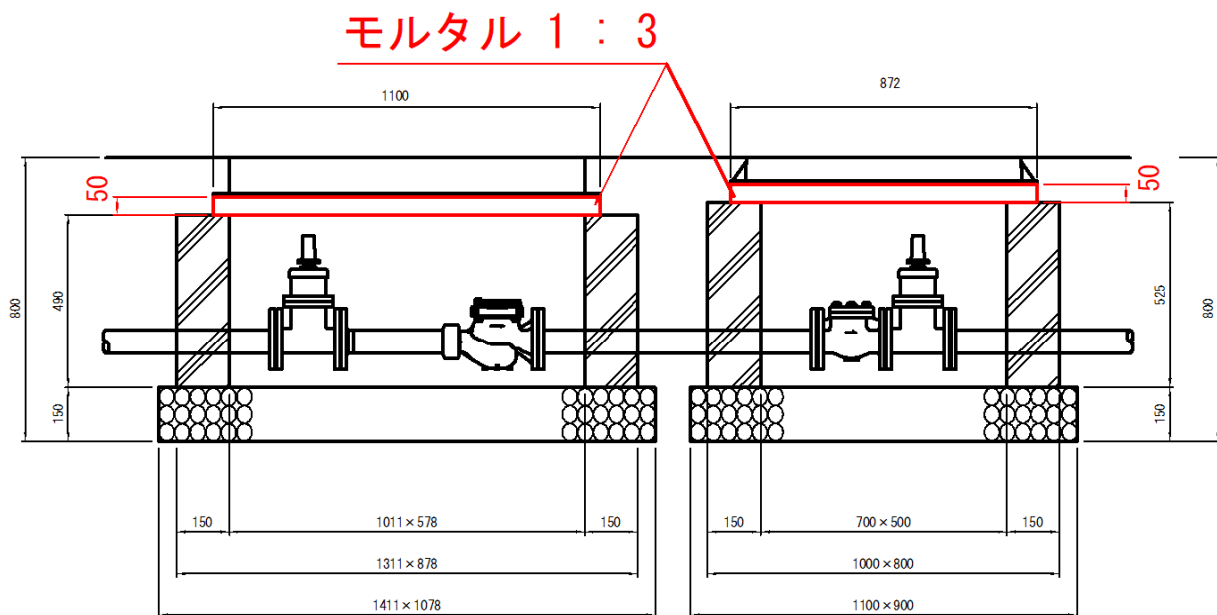


名 称	計 算 式	単 位	数 量
モルタル 1:3	$((0.84 \times 0.84) - (0.6 \times 0.6)) \times 0.01 = 0.003$	m ³	0.003

量水器・逆止弁高さ調整

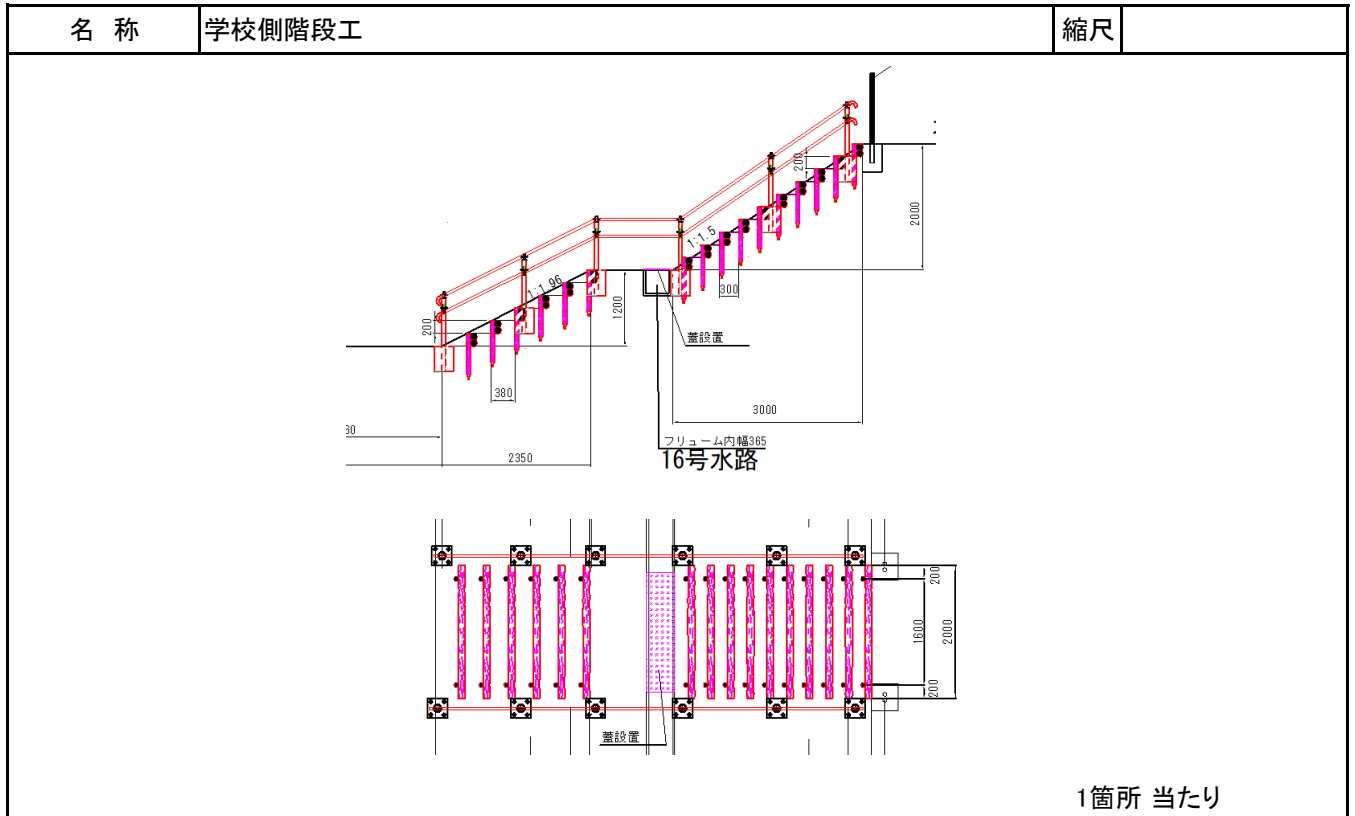
計 算 書

1箇所当り



名 称	計 算 式	単 位	数 量
モルタル 1:3	$((1.10 \times 0.68) - (1.011 \times 0.578)) \times 0.05 + ((0.868 \times 0.672) - (0.70 \times 0.50)) \times 0.05 = 0.020$	m ³	0.020

単位数量計算書(階段工)

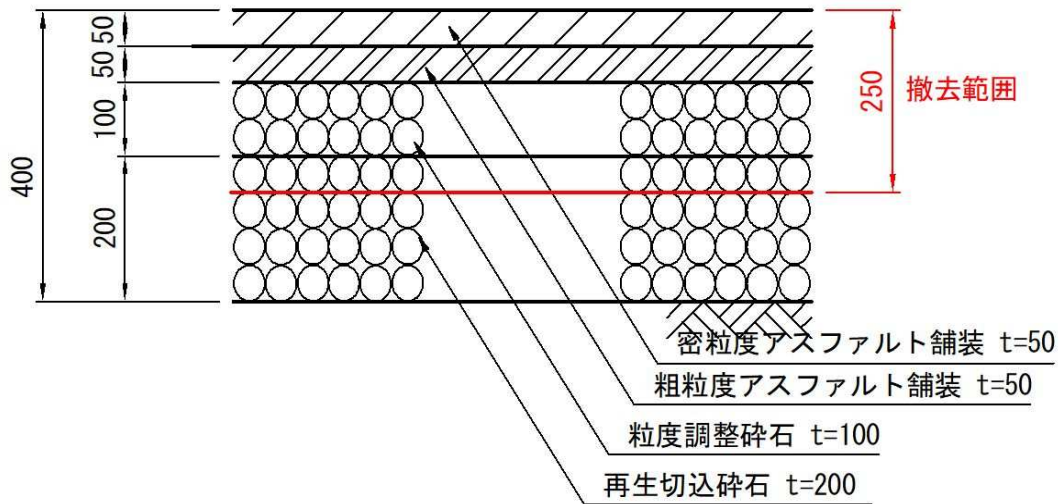


種 別	細 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
土工	床 掘	人力	$(0.3 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 19) + (0.38 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 11)$	1.98	m ³
	埋 戻	人力 RC-40	$(0.3 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 9) + (0.38 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 5)$	0.92	m ³
	残土処理	人力	$(0.3 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 19) + (0.38 \times 0.2 \times 0.5 \times 2 \times 11)$	1.98	m ³
	基面整正		$(0.3 \times 2 \times 10) + (0.38 \times 2 \times 6)$	10.6	m ²
階段工	杭	L=0.72m	16段×2本	32.0	本
	ステップ	Φ100	16段×2列	32.0	本
	釘	Φ4.3×125L	16段×2本	32.0	本
	フリューム用蓋	内幅365用		2.0	m
手摺り工	柱	Φ65 L=1.25m	6×2	12.0	本
	柱基礎	□300×400	6×2	12.0	個
	手摺り端末		4×2	8.0	個
	手摺りビーム	Φ40	$2.4 \times 4 + 1.3 \times 4 + 3.2 \times 4$	27.6	m
	ジョイントカバー	Φ40用	4×2	8.0	個
	インナージョイント	t=2.3ボルト含む	4×2	8.0	個
	手摺り受金具	ボルト、ナット含む	6×2×2	24.0	個

仮舗装撤去①

計 算 書

100m²当り

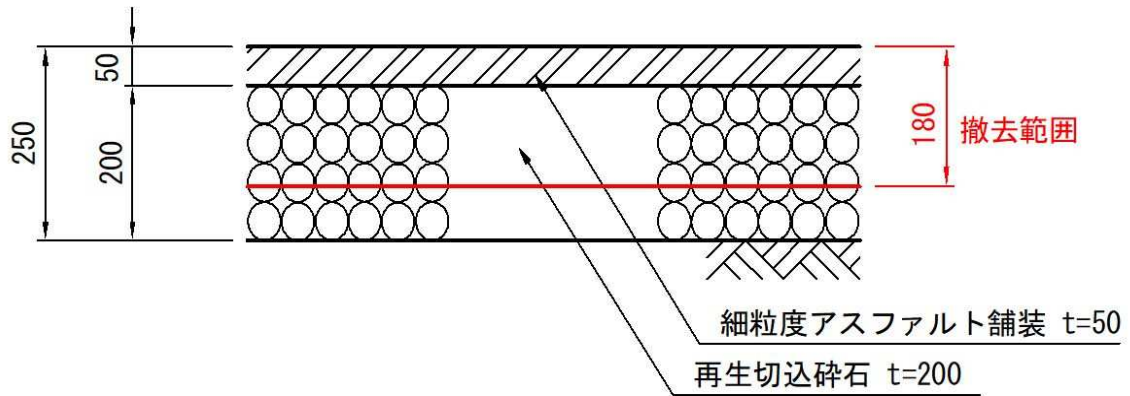


名 称	計 算 式	単 位	数 量
アスファルト	$0.1 \times 100 = 10.00$	m ³	10.0
粒度調整碎石	$0.1 \times 100 = 10.00$	m ³	10.0
再生切込碎石	$0.05 \times 100 = 5.00$	m ³	5.0
床掘	$0.15 \times 100 = 15.000$	m ³	15.0

仮舗装撤去②

計 算 書

100m²当り

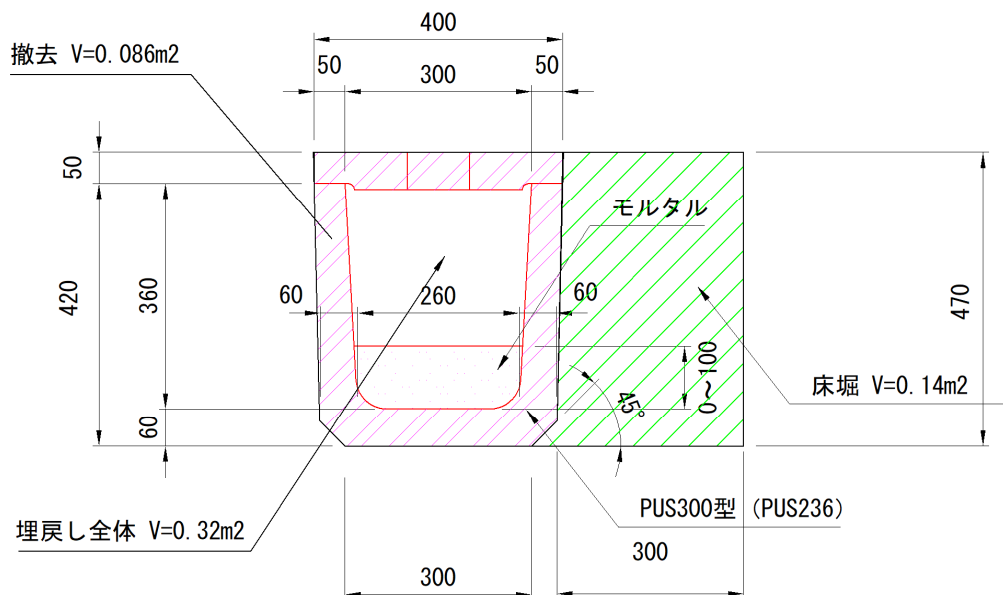


名 称	計 算 式			単 位	数 量
アスファルト	0.05×100	=	5.00	m ³	5.0
再生切込碎石	0.13×100	=	13.00	m ³	13.0
床掘	0.13×100	=	13.000	m ³	13.0

U型側溝-A撤去

計 算 書

10m当り

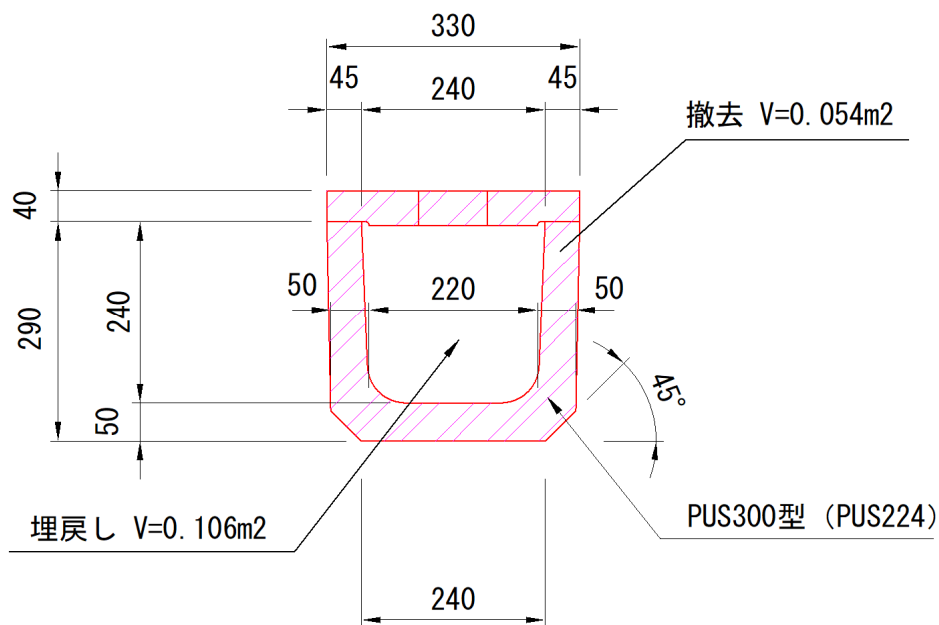


名 称	計 算 式	単 位	数 量
有筋コンクリート	$0.086 \times 10 = 0.86$	m3	0.9
モルタル	$0.26 \times 0.05 \times 10 = 0.13$	m3	0.1
床掘	$0.14 \times 10 = 1.400$	m3	1.4
埋戻	$0.32 \times 10 = 3.200$	m3	3.2

U型側溝-C撤去

計 算 書

10m当り

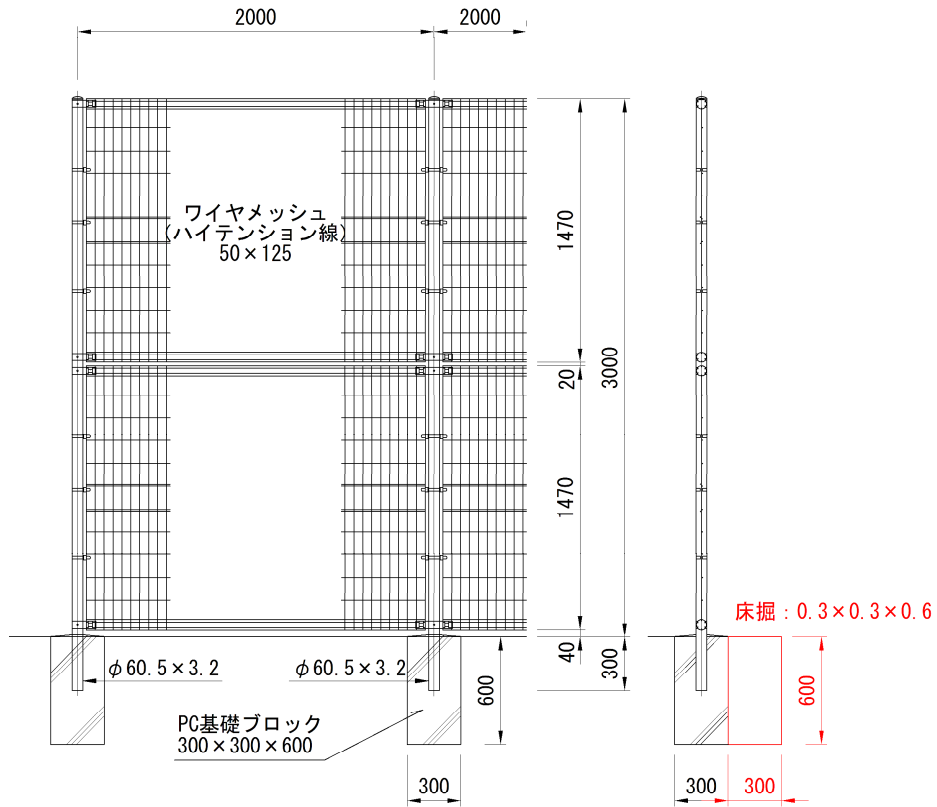


名 称	計 算 式		単 位	数 量
有筋コンクリート	0.054×10	= 0.54	m3	0.5
埋戻し	0.106×10	= 1.060	m3	1.1

フェンス-B撤去

計 算 書

100m当り

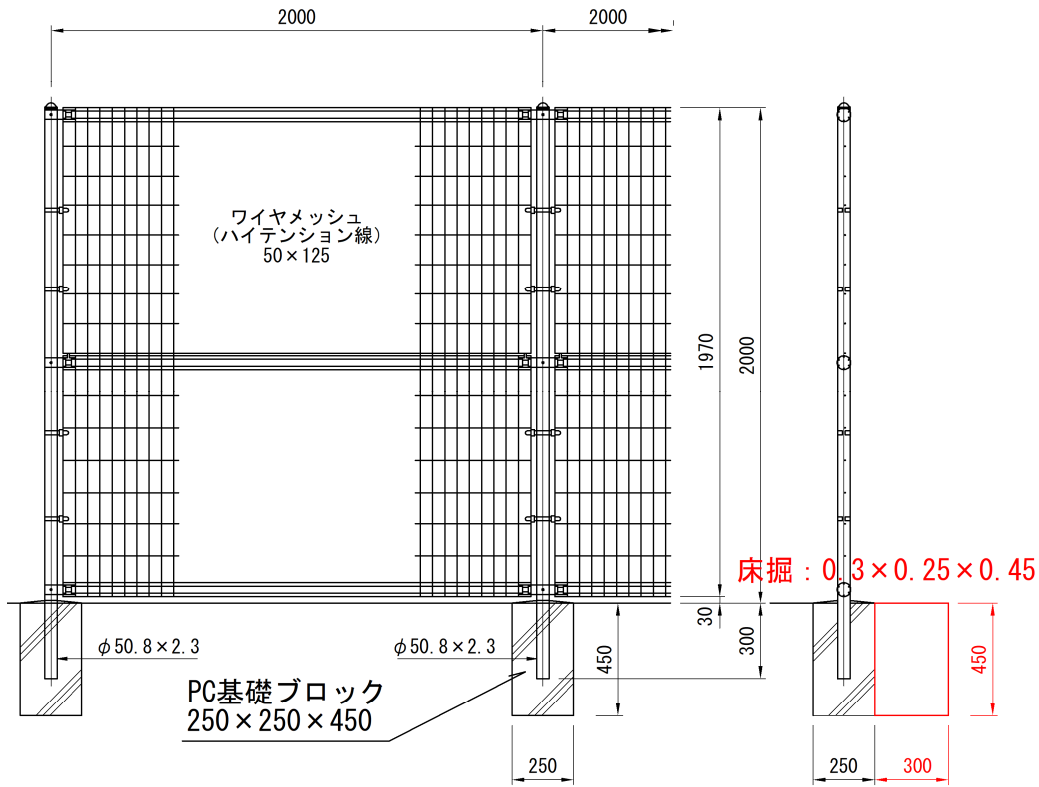


名 称	計 算 式		単 位	数 量
フェンス用基礎ブロック 300×300×600mm	100/2	= 50.000	個	50.0
フェンス @2000 H3000	100.0	= 100.000	m	100.0
床掘	$0.30 \times 0.30 \times 0.60 \times 100.0 / 2$	= 2.700	m ³	2.7
埋戻	$0.30 \times 0.30 \times 0.60 \times 100.0 \times 2 / 2$	= 5.400	m ³	5.4

フェンス-C撤去

計 算 書

100m当り



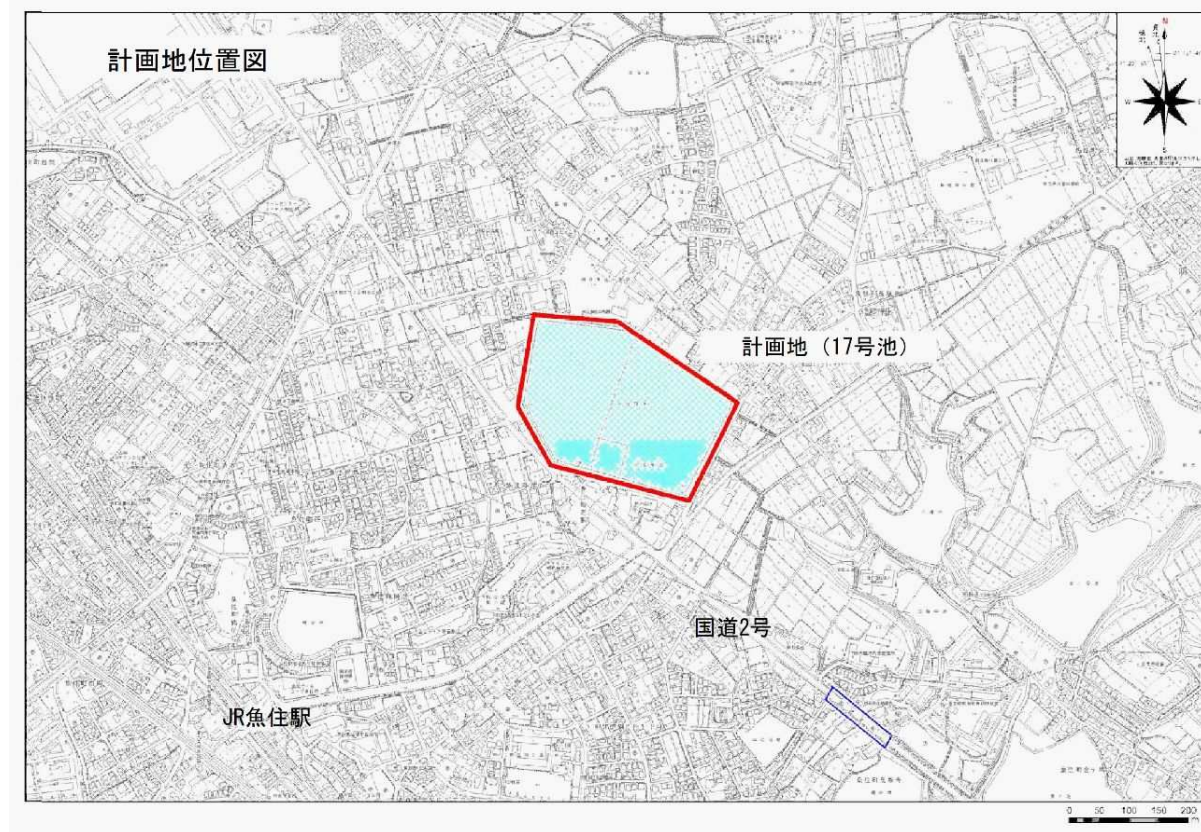
名 称	計 算 式	単 位	数 量
フェンス用基礎ブロック 250×250×450mm	100/2 = 50.000	個	50.0
フェンス @2000 H2000	100.0 = 100.000	m	100.0
床掘	0.30×0.25×0.45×100.0/2 = 1.690	m3	1.7
埋戻	((0.30×0.25×0.45)+(0.25×0.25×0.45))×100.0/2 = 3.106	m3	3.1

(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事

設計図

令和 4年 月

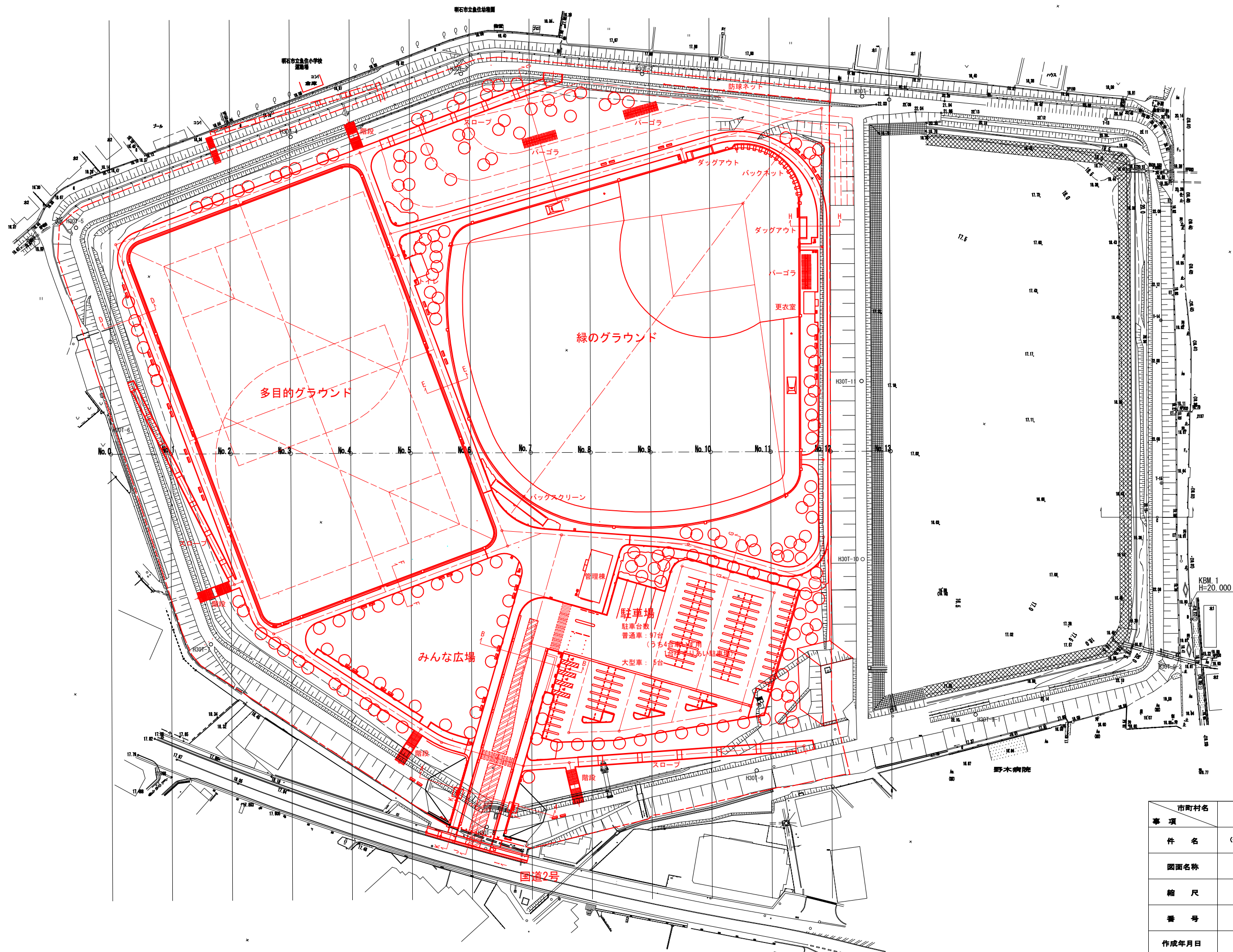
明石市都市局都市整備室緑化公園課



図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	案内図・図面リスト	—	29	門扉断面図h3-6m	図示			
2	計画平面図	1/600 (A1) 1/1,200 (A3)	30	門扉断面図h2-10m	図示			
3	標準横断面図-1	1/60 (A1) 1/120 (A3)	31	撤去詳細図	図示			
4	標準横断面図-2	1/20 (A1) 1/40 (A3)	32	マンホール調整図	図示			
5	寸法平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)	33	ハンドホール高さ調整平面図	図示			
6	仕上り高平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)	34	参考図①	図示			
7	舗装平面図-1	1/400 (A1) 1/800 (A3)	35	参考図②	図示			
8	舗装平面図-2	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
9	縁石平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
10	区面線平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
11	施設配置平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
12	雨水排水平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
13	汚水排水平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
14	植栽平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
15	給水設備平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						
16	詳細図-1	図示						
17	詳細図-2	図示						
18	詳細図-3	図示						
19	詳細図-4	図示						
20	詳細図-5	図示						
21	詳細図-6	図示						
22	詳細図-7	図示						
23	詳細図-8	図示						
24	詳細図-9	図示						
25	詳細図-10	図示						
26	詳細図-11	図示						
27	進入路排水展開図	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
28	撤去平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)						

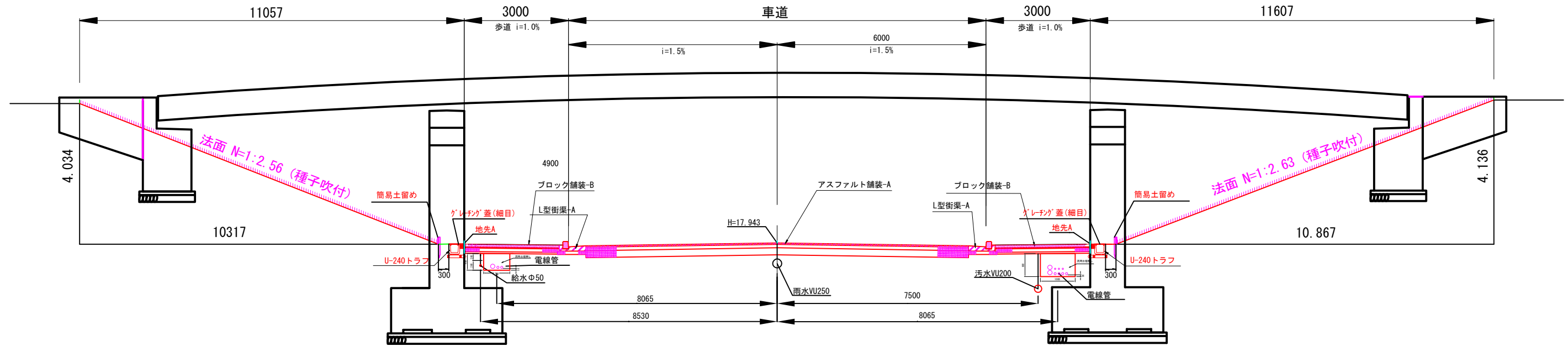
市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号地公園 (その14) 整備工事
件名	案内図・図面リスト
図面名称	—
縮尺	—
番号	1
作成年月日	平成31年 3月10日



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号地公園 (その14) 整備工事
図面名称	計画平面図
縮尺	1 : 600 (A1) 1 : 1,200 (A3)
番号	2
作成年月日	平成31年 3月10日

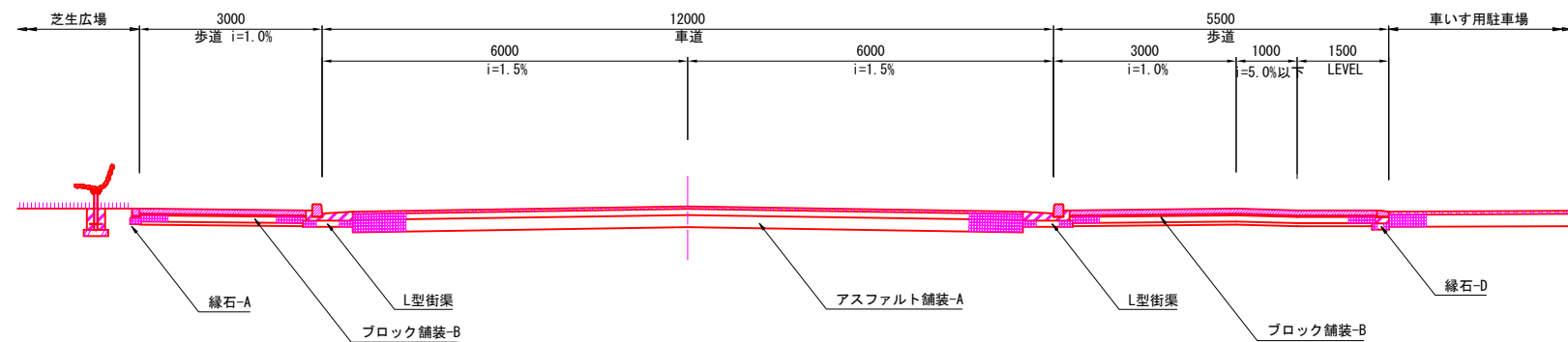
A-A 断面図

S=1/60 (A1)、S=1/120 (A3)



B-B 断面図

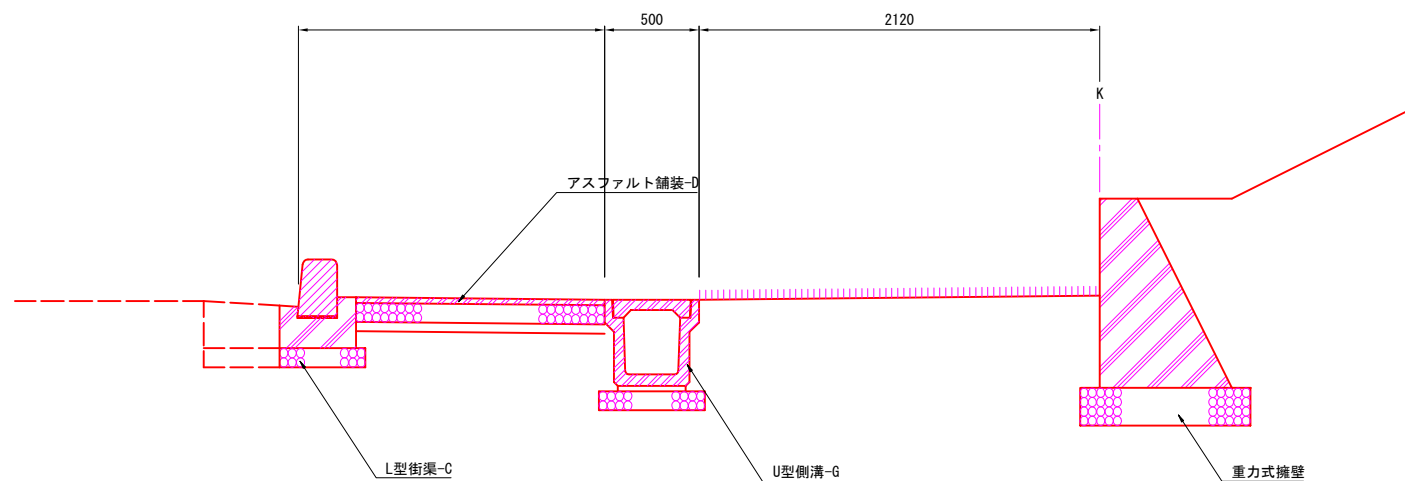
S=1/60 (A1)、S=1/120 (A3)



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	標準横断面-1
縮尺	図示
番号	3
作成年月日	平成31年 3月10日

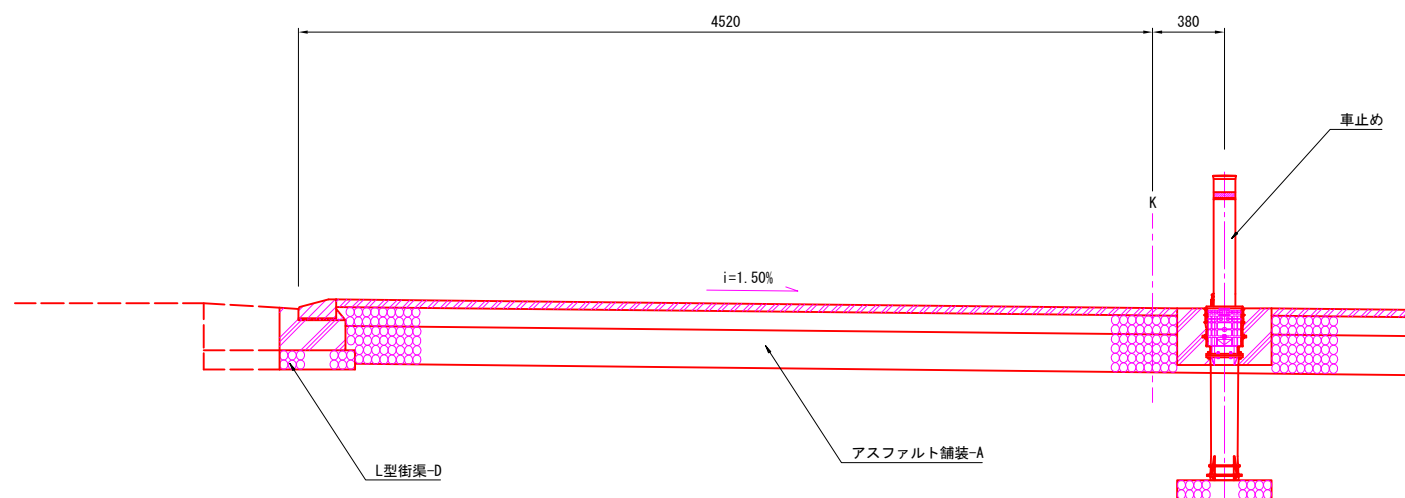
I-I 断面図

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



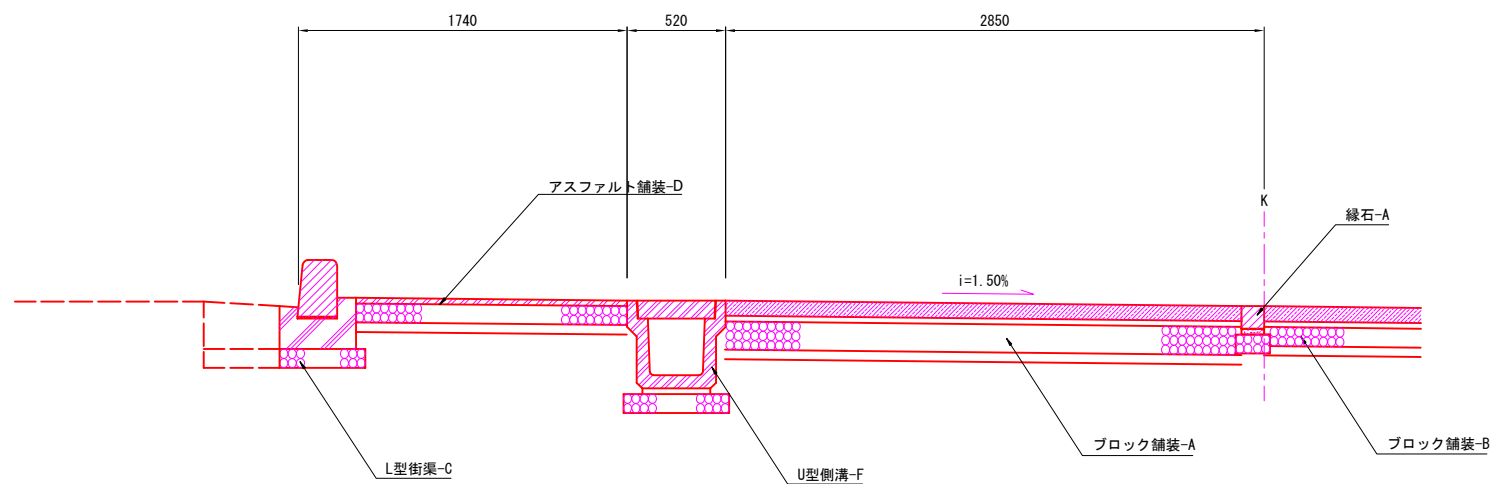
J-J 断面図

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)

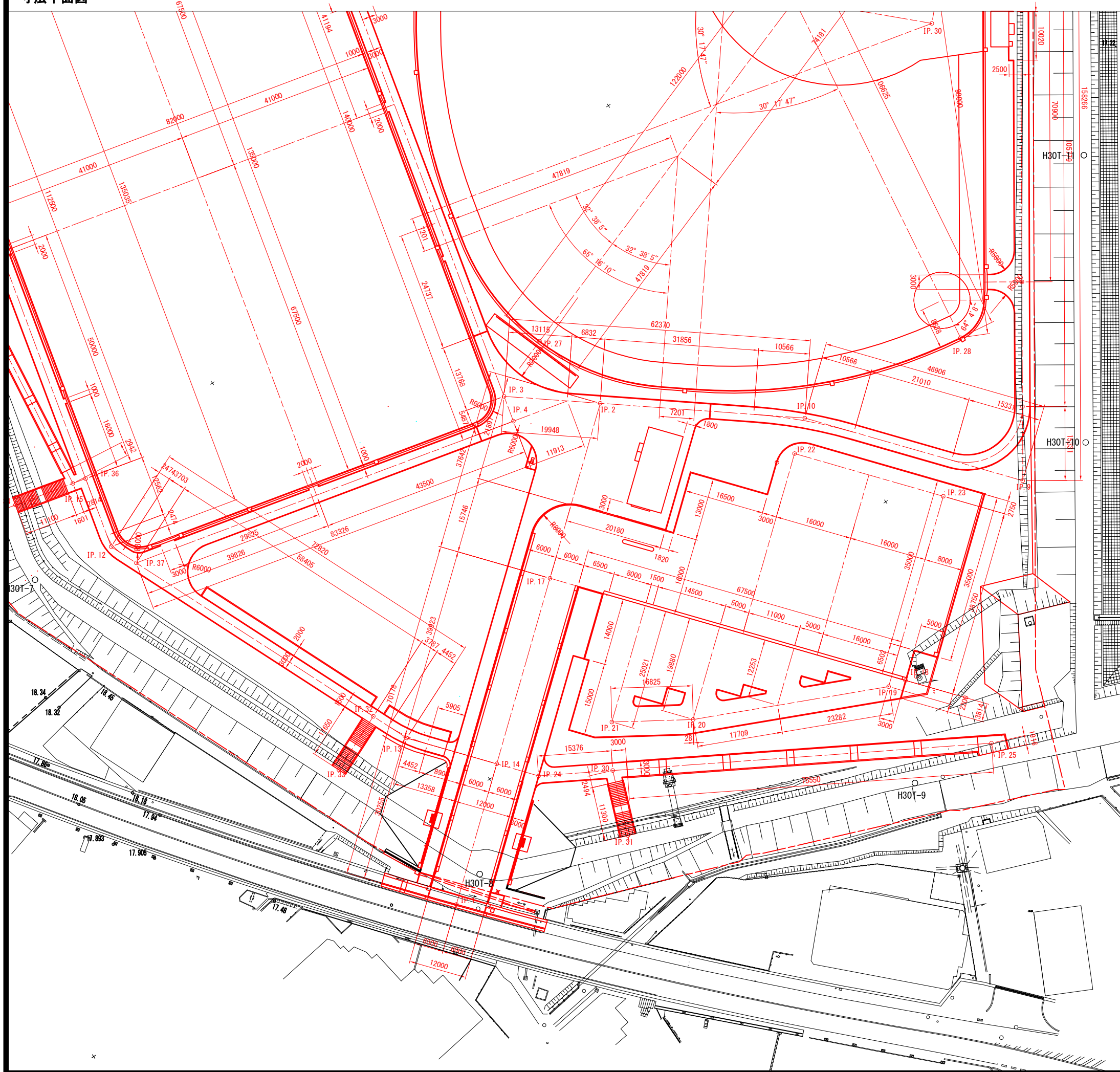
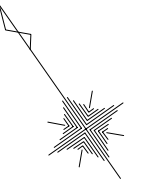


K-K 断面図

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)

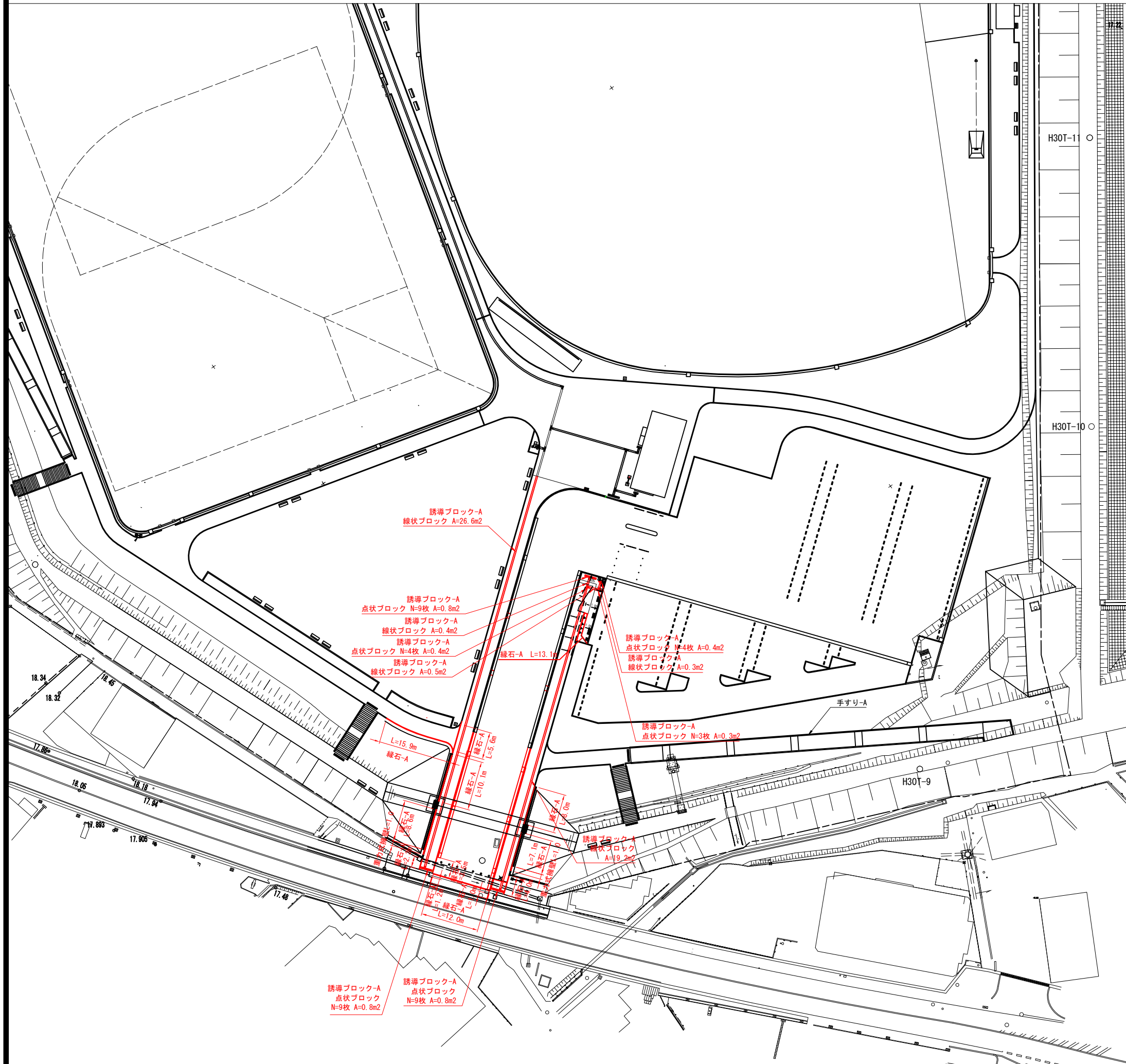
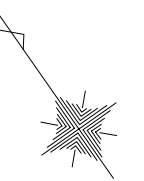


市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	
図面名称	標準横断面-2
縮尺	図示
番号	4
作成年月日	平成31年 3月10日



IP	X	Y	IA	R	CL	TL	SL
1	1082.734	779.489					
2	1150.554	863.309					
3	1163.143	847.836					
4	1157.831	846.471					
5	1265.528	874.136					
6	1293.428	881.303					
7	1277.012	945.208					
8	1217.320	1015.976	74° 0' 4"	28.000	51.800	37.156	18.526
9	1087.313	925.719	73° 44' 51"	11.500	21.056	10.566	0.548
10	1123.778	896.214	168° 6' 51"	101.500	21.056	10.566	0.548
11	1315.073	797.038	90° 0' 0"	7.500	11.780	7.500	3.106
12	1184.284	763.442	143° 29' 52"	7.500	4.778	2.474	0.309
13	1116.812	790.834	163° 7' 8"	30.000	8.838	4.452	0.328
14	1101.765	803.009					
15	1199.547	764.457					
16	1271.808	774.406					
17	1126.877	834.046					
18	1067.405	882.163					
19	1068.355	878.567					
20	1085.965	841.552					
21	1095.185	827.468					
22	1118.988	890.274					
23	1094.112	910.402					
24	1094.768	808.670					
25	1046.567	889.286					
26	1206.419	976.272					
27	1168.257	860.394					
28	1118.924	932.129					
29	1250.562	888.777					
30	1086.877	821.867					
31	1074.079	816.724					
32	1124.447	787.734					
33	1119.613	775.828					
34	1202.707	752.155					
35	1303.598	883.915					
36	1198.847	767.183					

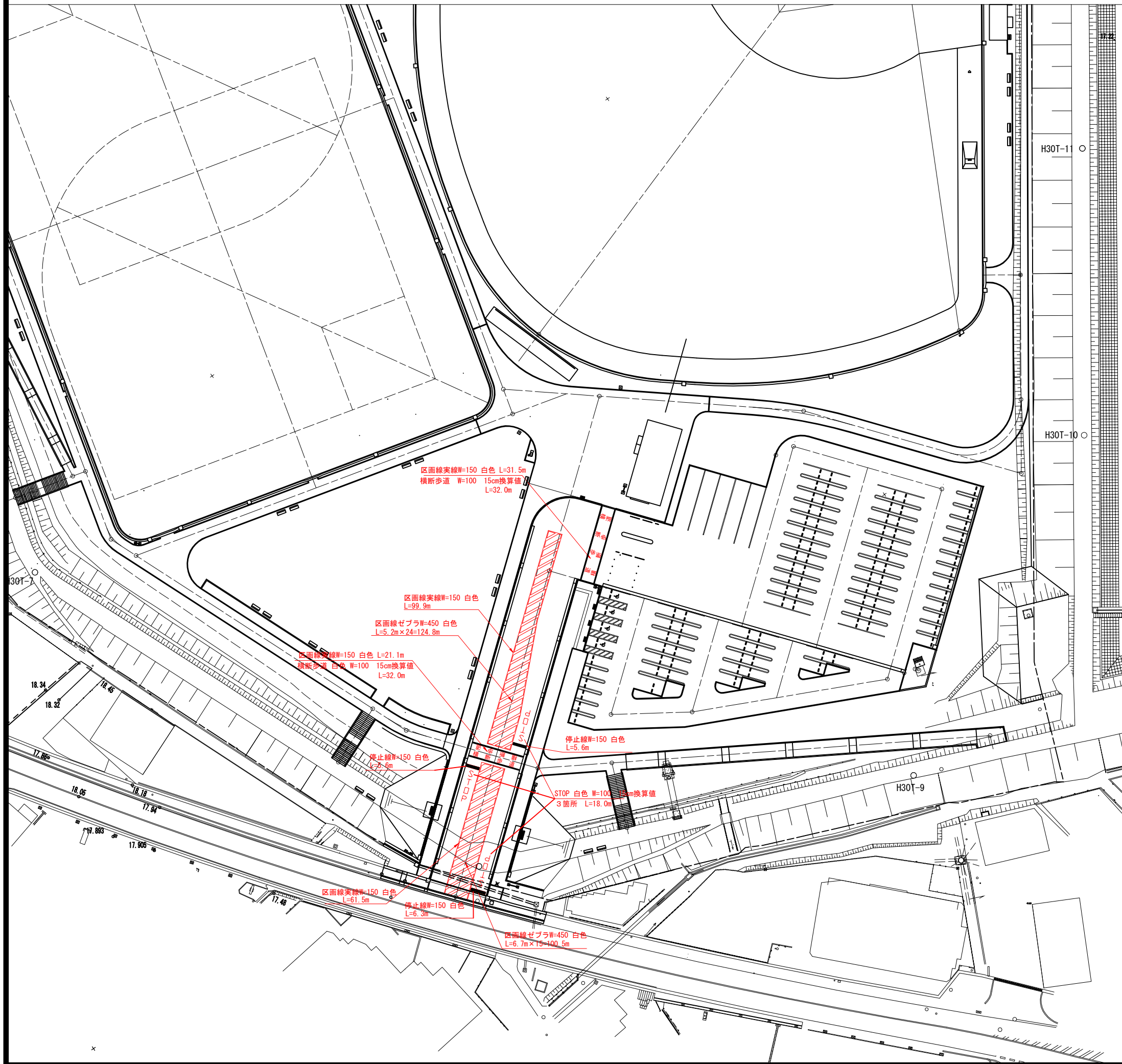
市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
図面名称	寸法平面図
縮尺	1:400(A1) 1:800(A3)
番号	5
作成年月日	平成31年 3月10日



(変更設計図)

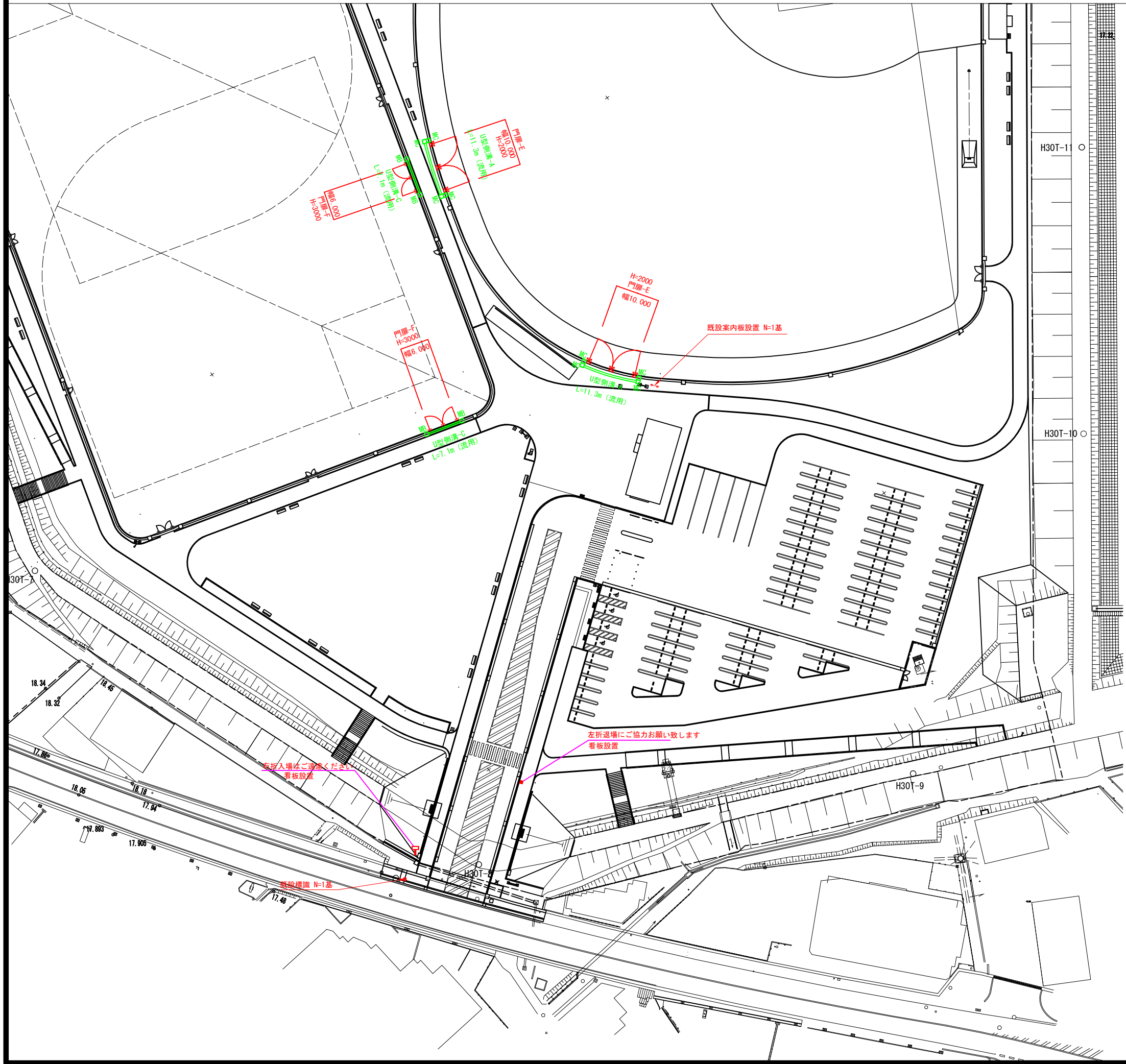
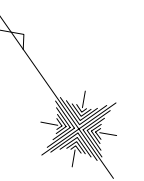
記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
——	緑石-A	120×120×600	92.4	m	
□□□□	誘導ブロック-A	点状ブロック	3.5	m ²	
————	誘導ブロック-A	線状ブロック	47.0	m ²	
XXXX	重力式擁壁	H=500~300	2.0	m	

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	緑石平面図
縮尺	1 : 400 (A1) 1 : 800 (A3)
番号	9
作成年月日	平成31年 3月10日



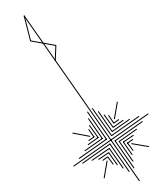
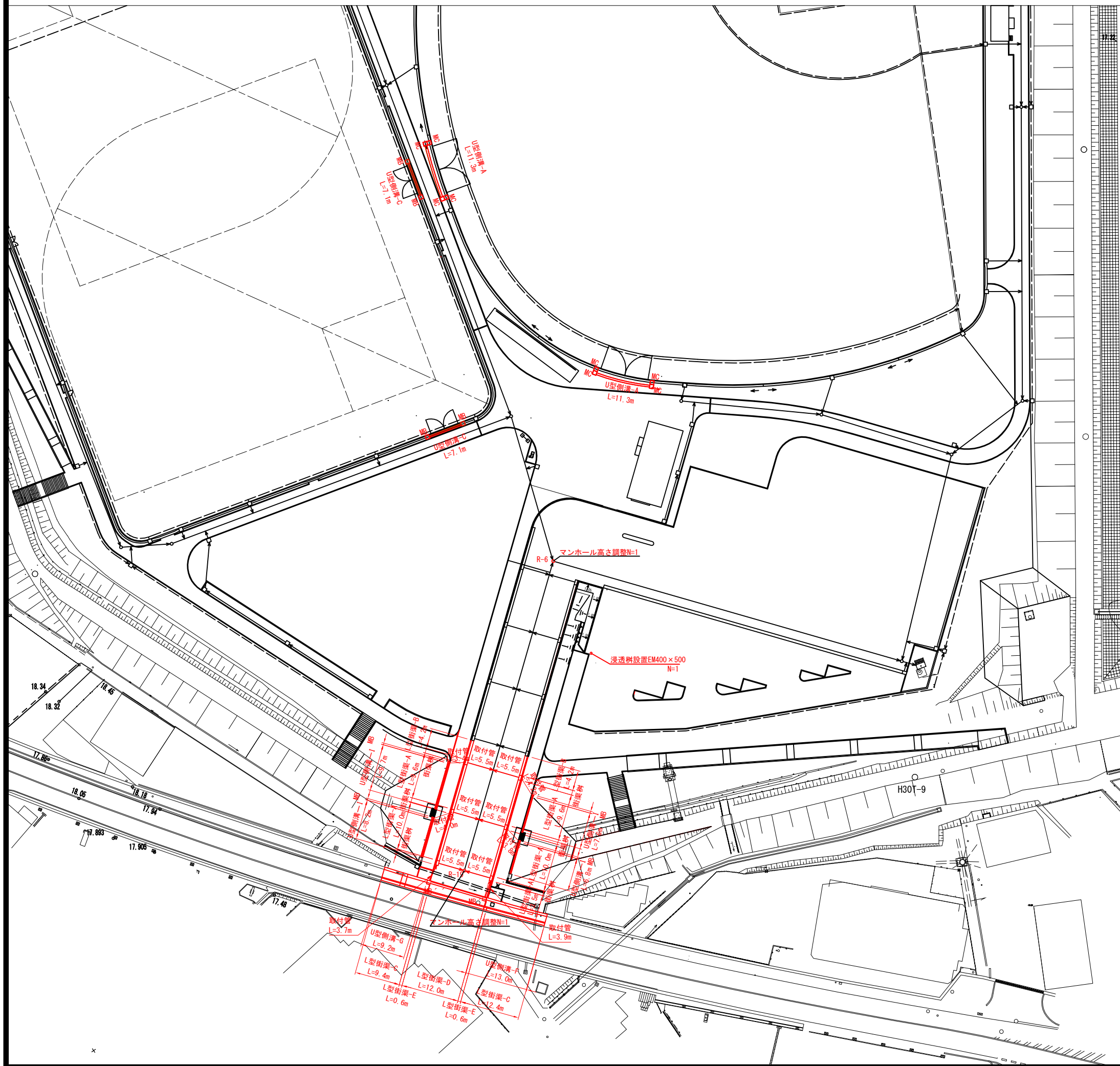
記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
—	区画線 実線 W=150	白色	161.4	m	
≡	区画線 ゼブラ W=450	白色	225.3	m	
—	区画線 横断歩道横線 W=150	白色	52.6	m	
—	停止線 W=150	白色	17.5	m	
	STOP W=100 15cm換算値	白色	18.0	m	文字3箇所
	横断歩道 W=100 15cm換算値	白色	64.0	m	文字4箇所

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号港公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	区画線平面図
縮尺	1:400 (A1) 1:800 (A3)
番号	10
作成年月日	平成31年 3月10日



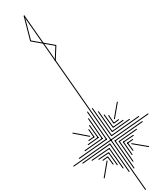
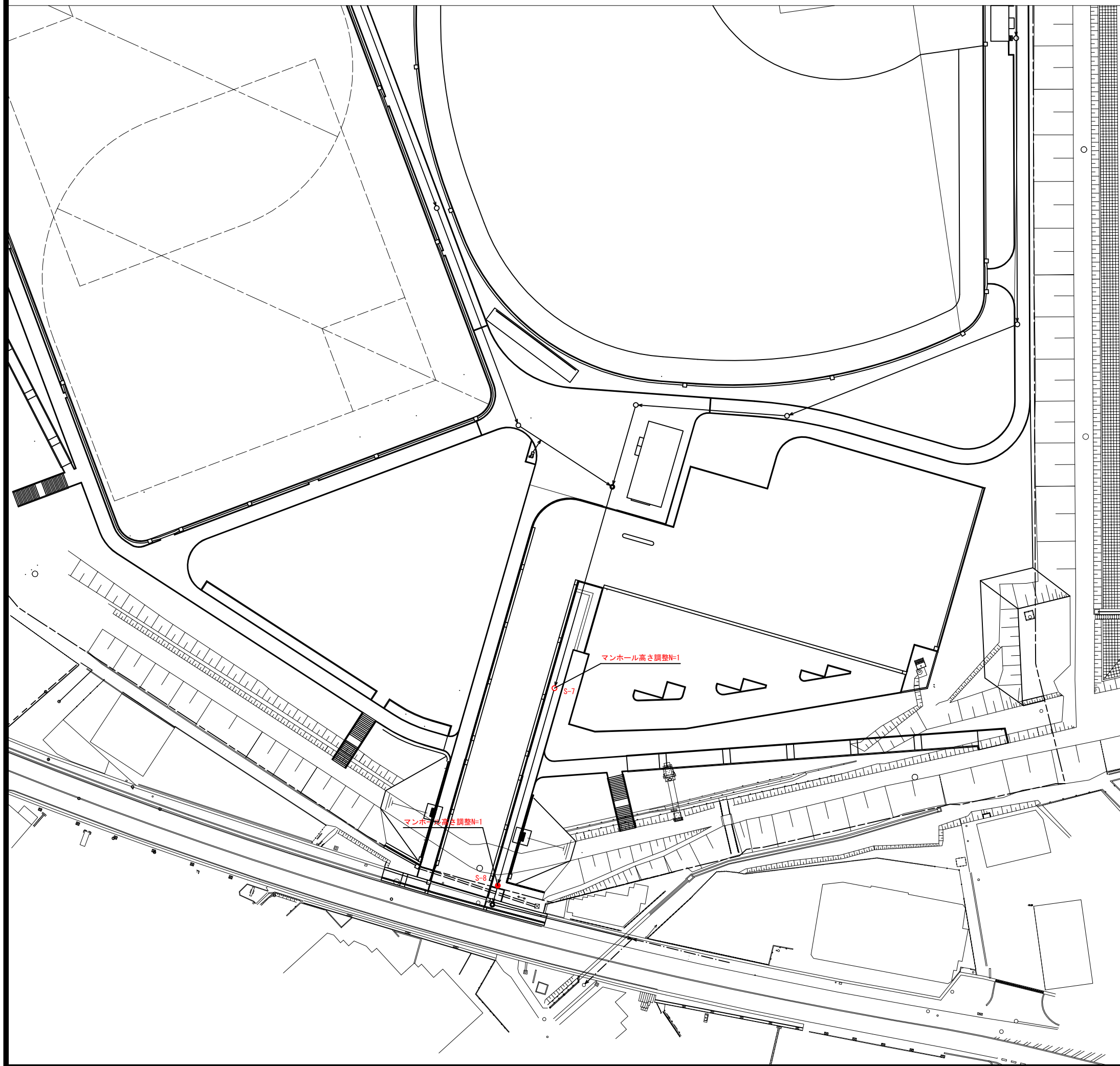
記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
☶	門扉-E	H=2.0 W=10.0m	2.0	箇所	
☷	門扉-F	H=3.0 W=6.0m	2.0	箇所	
☰	既設案内板	既設再利用	1.0	基	
○	既設標識	既設再利用	1.0	基	
☒	左折退場看板		1.0	基	
☒	右折ご遠慮看板		1.0	基	

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	施設配置平面図
縮尺	1:400 (A1) 1:800 (A3)
番号	11
作成年月日	平成31年 3月10日



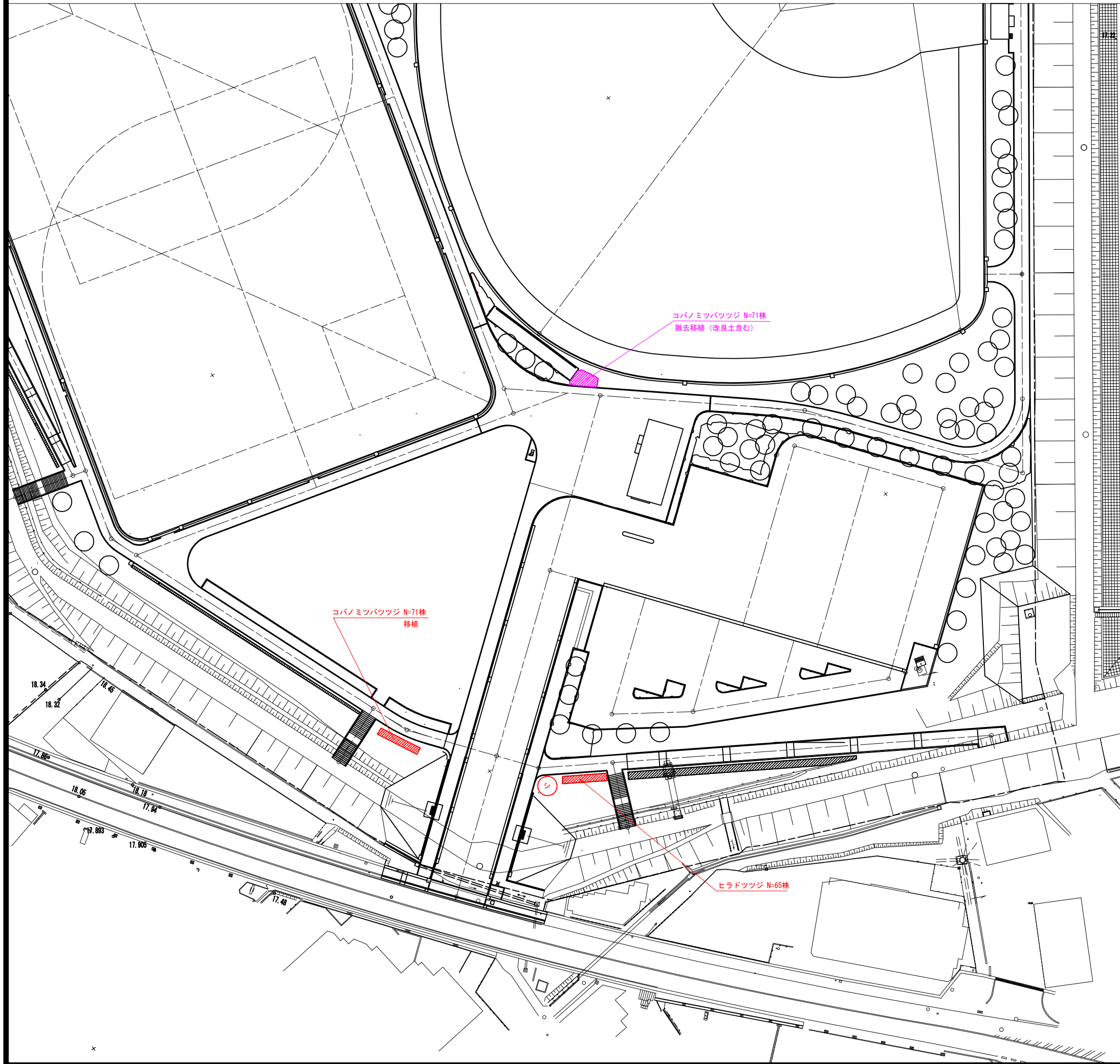
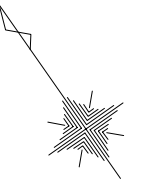
記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
	L型側溝-A	W500	42.7	m	
	L型側溝-B	W500乗り入れ部	8.4	m	
	L型側溝-C	W100	21.8	m	
	L型側溝-D	W100乗り入れ部	12.0	m	
	L型側溝-E	W100すりつけ部	1.2	m	
	取付管	VU200	56.0	m	
	U型側溝-A	U300	22.6	m	
	U型側溝-C	U240	14.2	m	
	U型側溝-F	U300歩道用	13.0	m	
	U型側溝-G	U300車道用	9.2	m	
	U型側溝-I	U240「グレーチング」蓋細目	32.3	m	
	集水ます MB		10.0	箇所	
	集水ます MC		8.0	箇所	
	L型側溝樹		6.0	箇所	
	浸透樹EM400×500		1.0	箇所	
	マンホール高さ調整	R-6、R-19	2.0	箇所	

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	雨水排水平面図
縮尺	1:400 (A1) 1:800 (A3)
番号	12
作成年月日	平成31年 3月10日



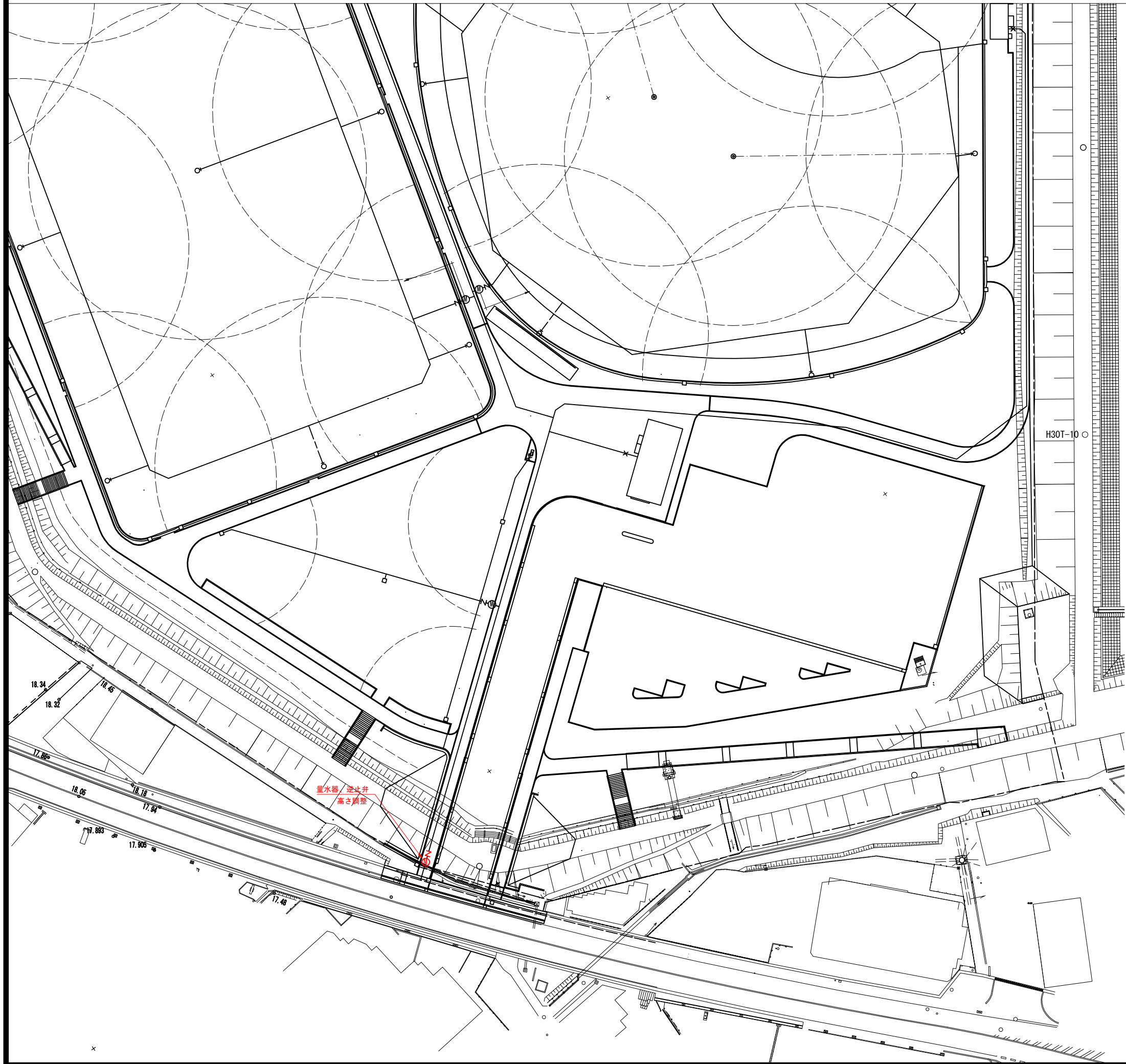
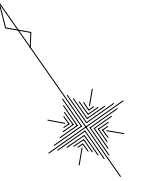
記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
○	マンホール高さ調整	S-7、S-8	2.0	箇所	

市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
図面名称	汚水排水平面図
縮尺	1:400(A1) 1:800(A3)
番号	13
作成年月日	平成31年 3月10日



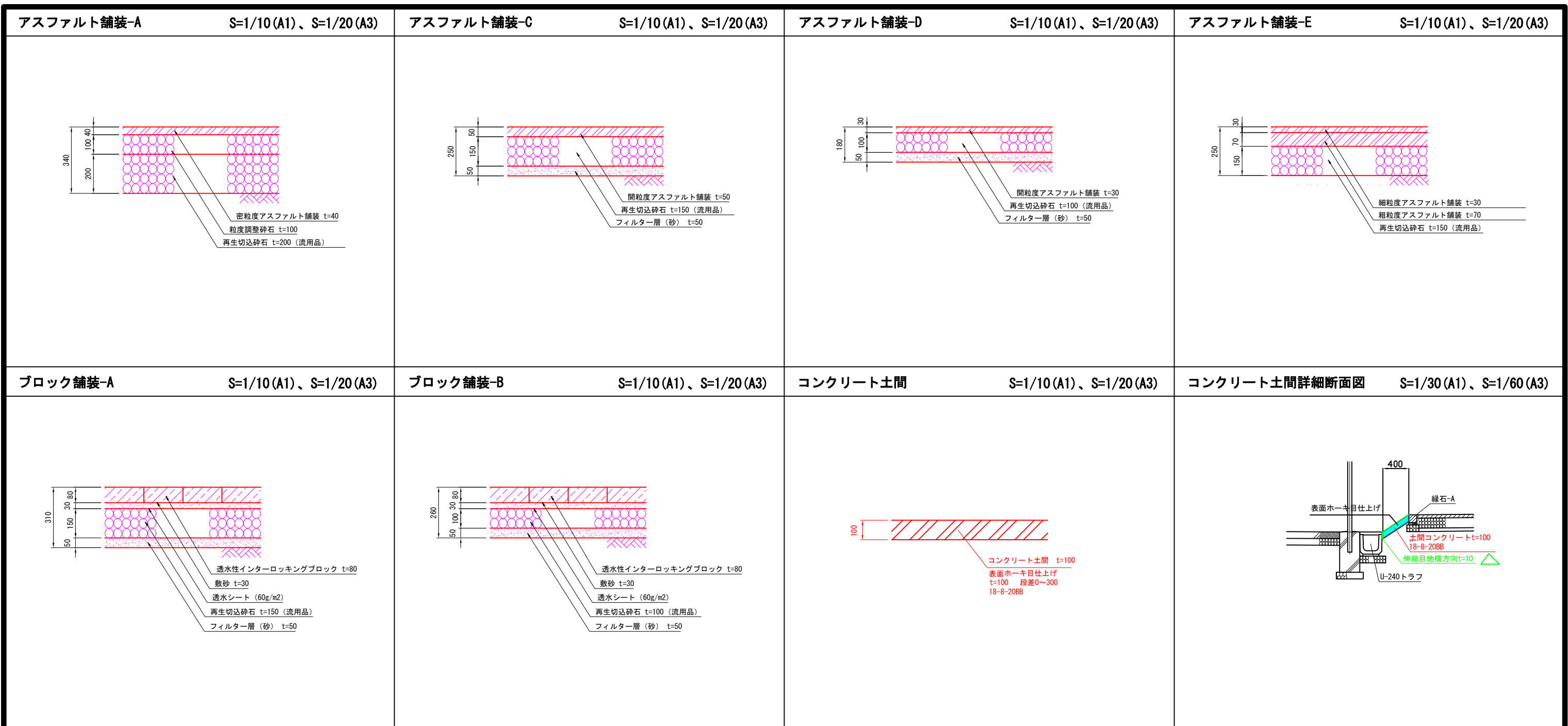
記号	名称	形状・寸法			数量	単位	備考
		H	C	W			
シ	シダレザクラ	3.5	0.18	-	1.0	本	二脚鳥居
	コバノミツバツツジ撤去・移植	0.5	-	0.25	71.0	株	5株/m2(改良土含む)
	ヒラドツツジ	0.3	-	0.3	65.0	株	5株/m2
	樹名板 スプリング式				1.0	枚	高中木

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	植栽平面図
縮尺	1 : 400 (A1) 1 : 800 (A3)
番号	14
作成年月日	平成31年 3月10日

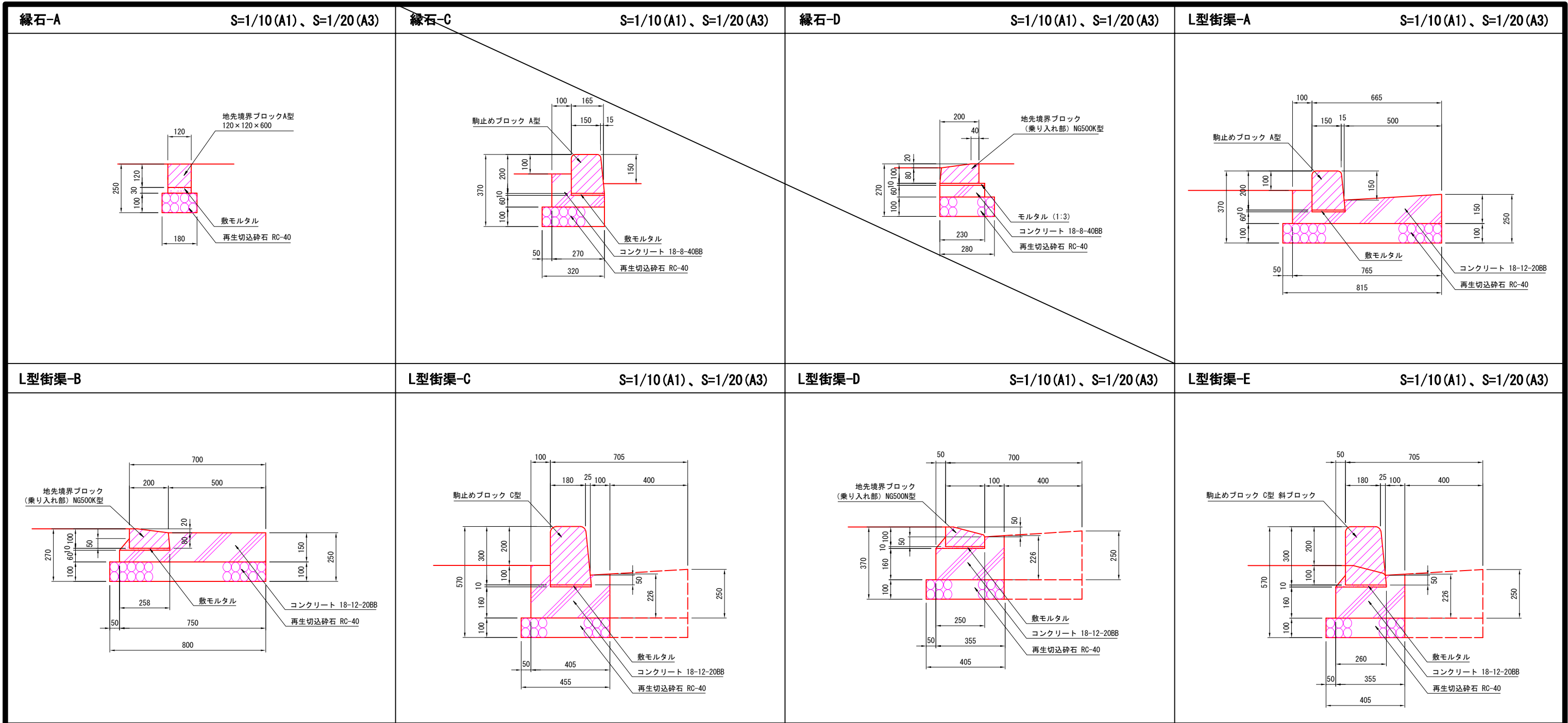


記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
	量水器 高さ調整		1.0	箇所	
	逆止弁 高さ調整		1.0	箇所	

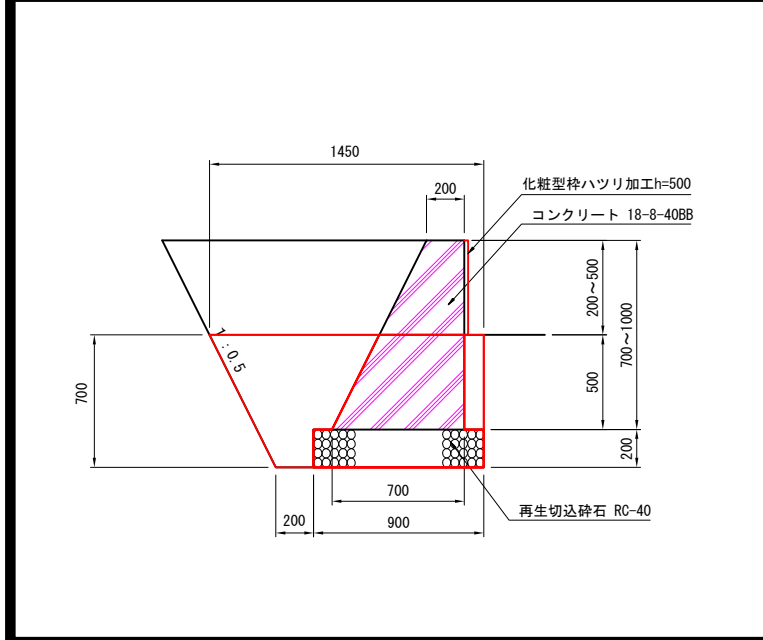
市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	給水設備平面図
縮尺	1: 400 (A1) 1: 800 (A3)
番号	15
作成年月日	平成31年 3月10日



市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	
図面名称	詳細図-1
縮尺	図示
番号	16
作成年月日	平成31年 3月10日



重力式擁壁 S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)

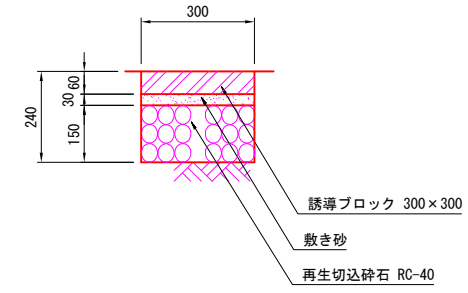
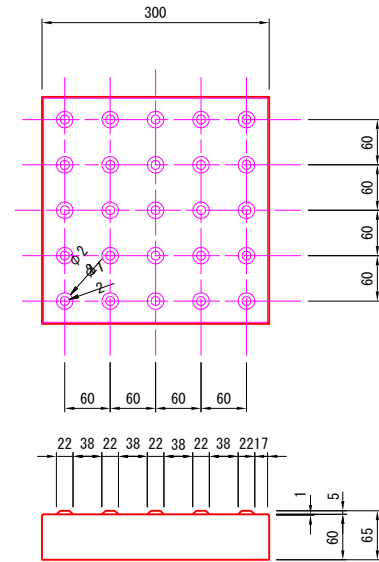
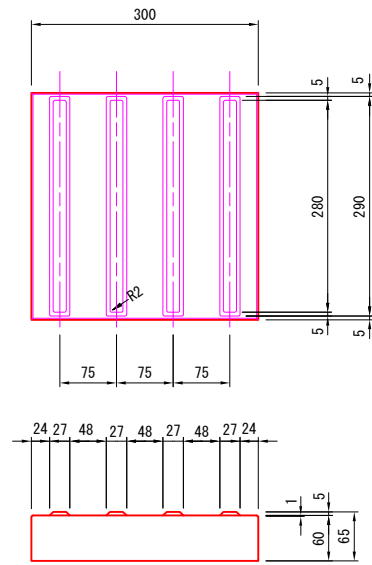


市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園 (その14) 整備工事
件名	詳細図-2
図面名称	図示
縮尺	17
番号	平成31年 3月10日
作成年月日	

誘導ブロック（線状ブロック） S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

誘導ブロック（点状ブロック） S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

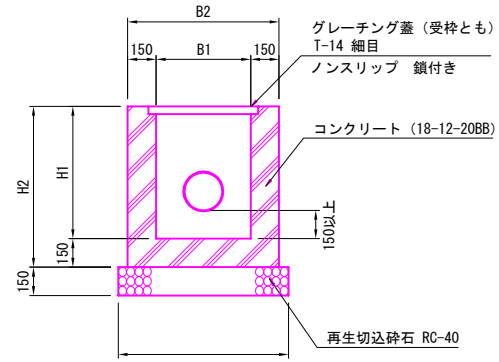
誘導ブロック-A S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	詳細図-3
縮尺	図示
番号	18
作成年月日	平成31年 3月10日

集水ます (MA、MB、MC)

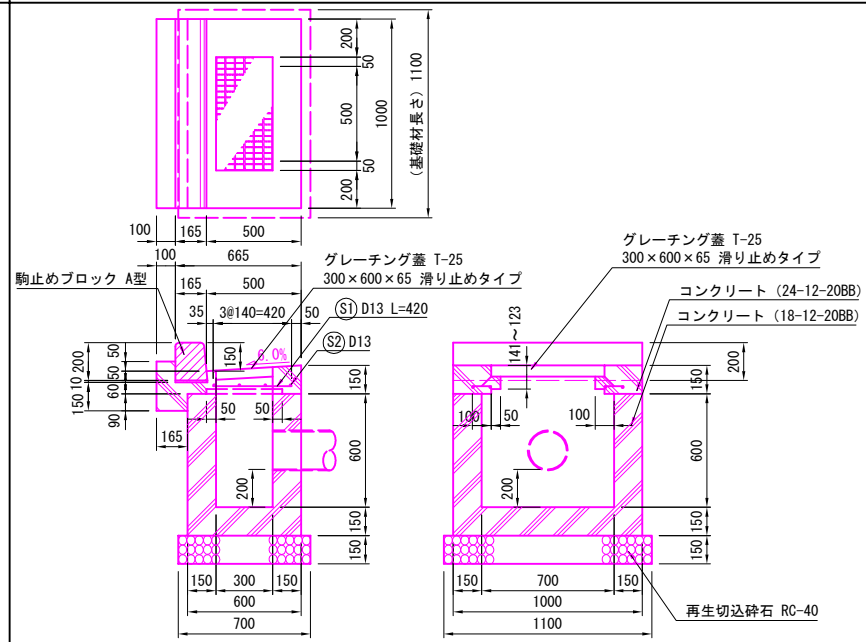
S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



種別	H1	H2	B1	B2	B3	記号
MA	600	750	500	800	900	
MB	700	850	500	800	900	MA-1
MC	800	950	500	800	900	MA-2

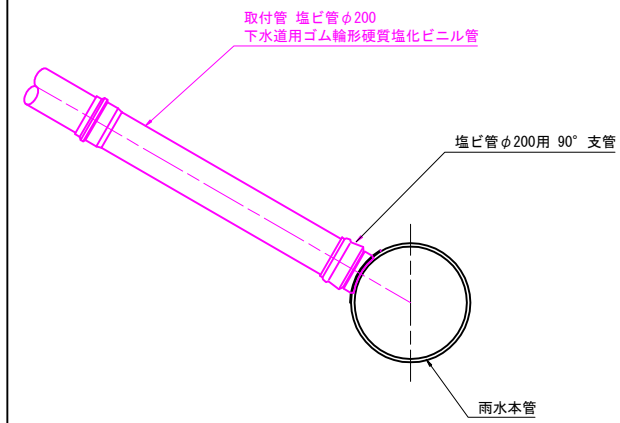
L型街渠樹 (NGMF60A)

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



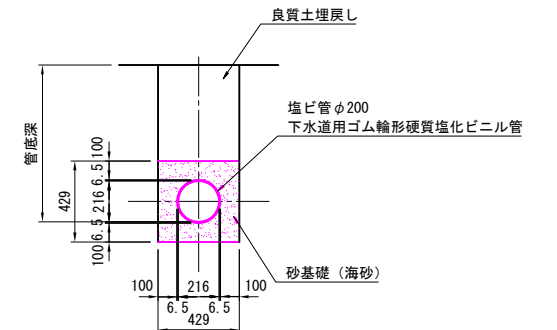
雨水取付管 本管接続標準図

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



雨水取付管埋設φ200

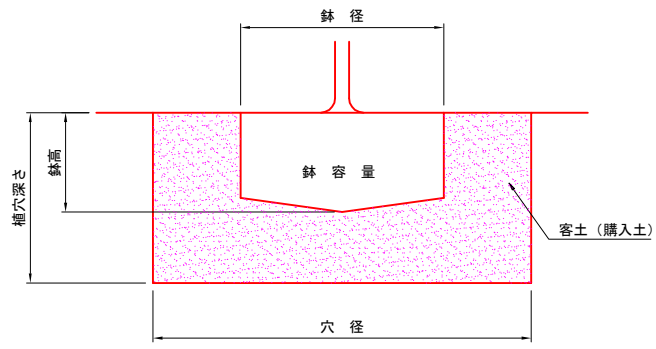
S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	詳細図-4
縮尺	図示
番号	19
作成年月日	平成31年 3月10日

中・高木植栽植付標準

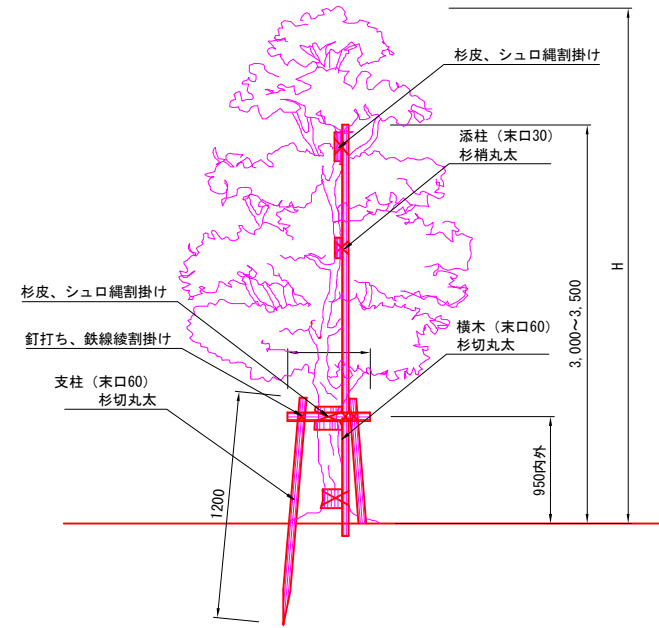
S=NON



名称 (cm)	寸法表							摘要	
	鉢径 (cm)	鉢高 (cm)	鉢容量 (m3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	植穴容量(m3)	1本当り 客土量 (m3)		
中 低 木	(樹高) 30未満	15	8	0.001	29	23	0.015	0.014	○
	30以上 50未満	17	10	0.002	33	26	0.022	0.020	○
	50以上 80未満	20	12	0.004	37	28	0.030	0.026	
	80以上 100未満	22	13	0.005	41	31	0.041	0.036	
	100以上 150未満	26	16	0.008	46	35	0.058	0.050	
	150以上 200未満	30	19	0.013	54	40	0.092	0.079	
	200以上 250未満	35	23	0.022	61	46	0.134	0.112	○
高 木	250以上 300未満	40	26	0.032	69	51	0.191	0.159	○
	(幹周り) 10未満	33	25	0.017	69	37	0.138	0.121	
	10以上 15未満	38	28	0.028	75	40	0.178	0.150	
	15以上 20未満	47	33	0.061	87	46	0.273	0.212	○
	20以上 25未満	57	39	0.110	99	53	0.408	0.298	○
	25以上 30未満	66	45	0.170	111	59	0.571	0.401	
	30以上 35未満	71	48	0.210	117	62	0.666	0.456	
	35以上 45未満	90	59	0.400	141	75	1.170	0.770	
45以上 60未満	113	74	0.740	171	90	2.066	1.326		

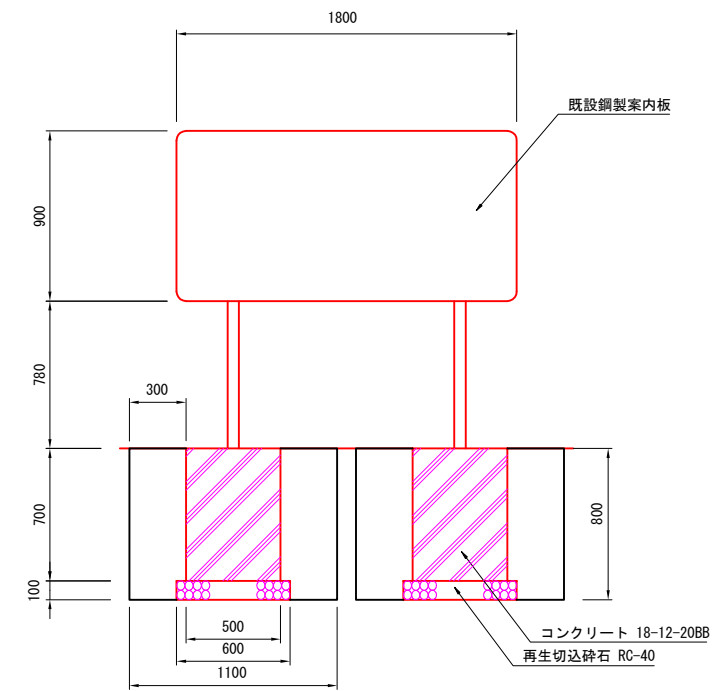
二脚鳥居 (添え柱)

S=NON

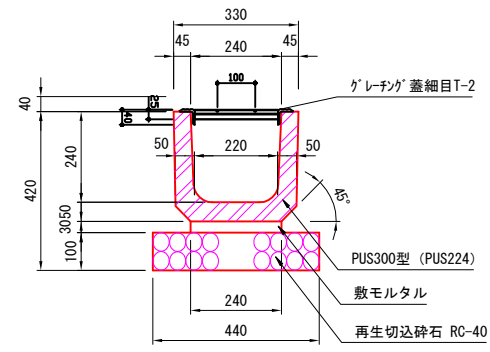


市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	詳細図-5
縮尺	図示
番号	20
作成年月日	平成31年 3月10日

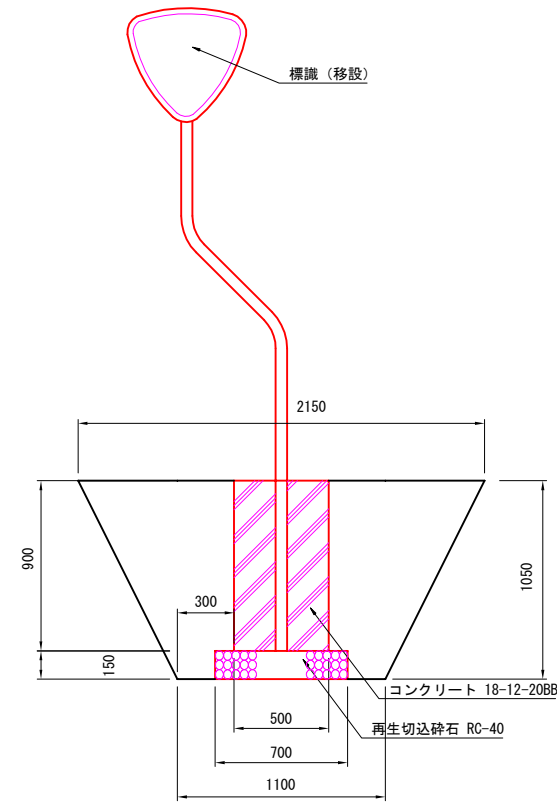
案内板 S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



U形側溝-I S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)

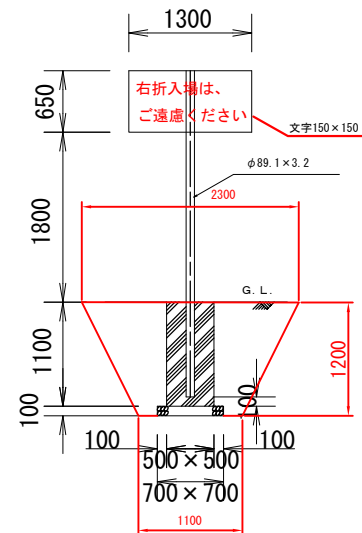
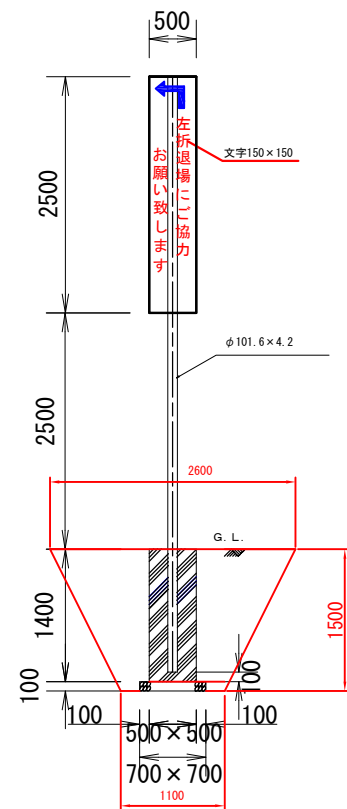


標識 (国道2号線) 復旧 S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



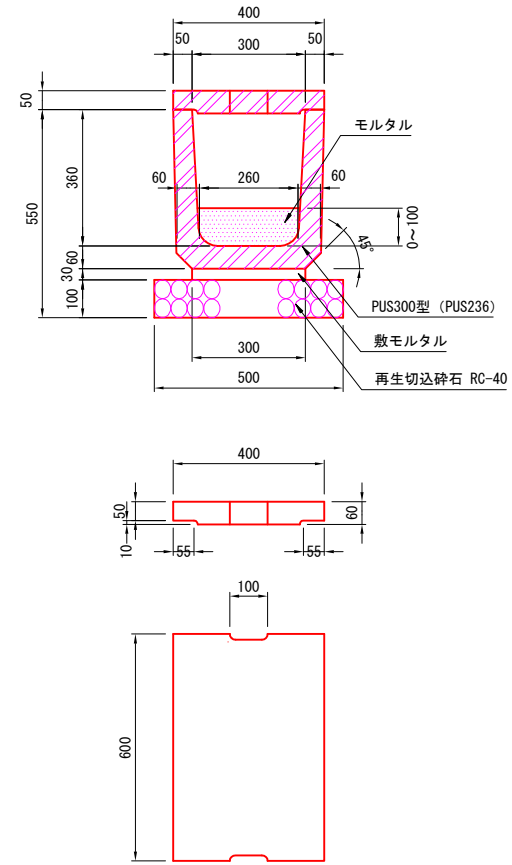
右左折退場看板

S=1/60 (A1)、S=1/120 (A3)

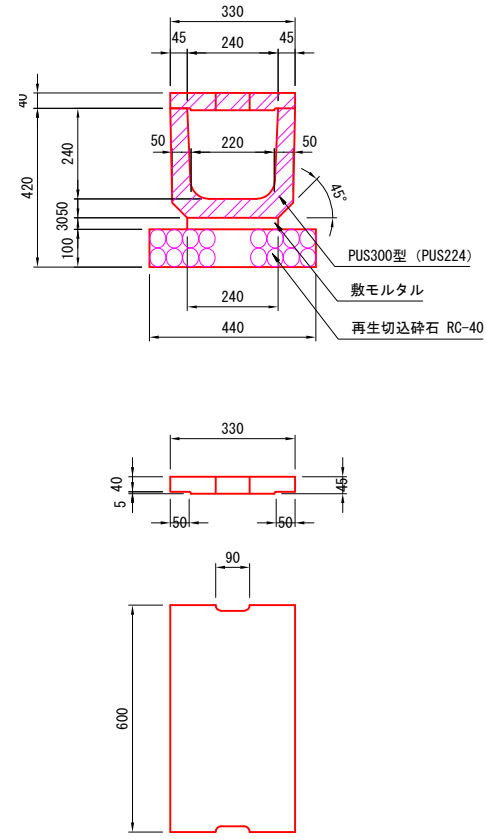


市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	詳細図-6
縮尺	図示
番号	21
作成年月日	平成31年 3月10日

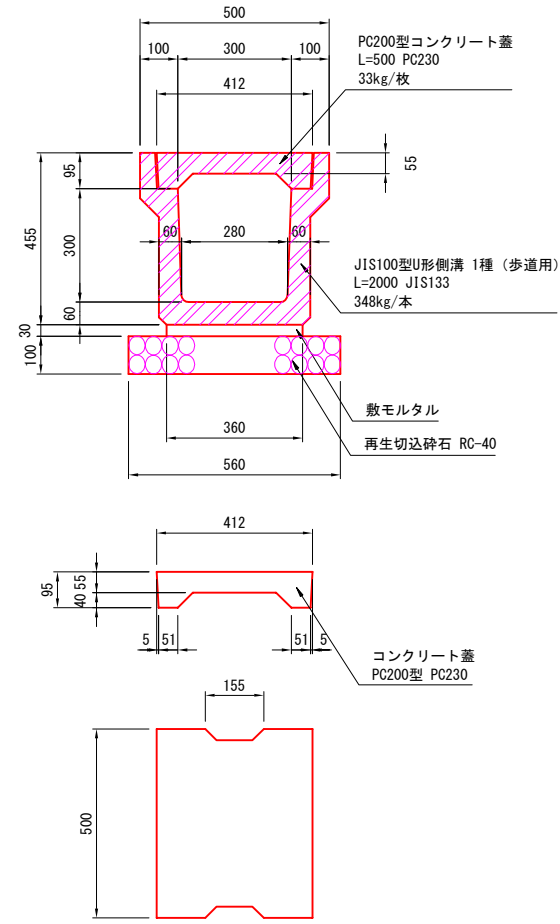
U型側溝-A S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)



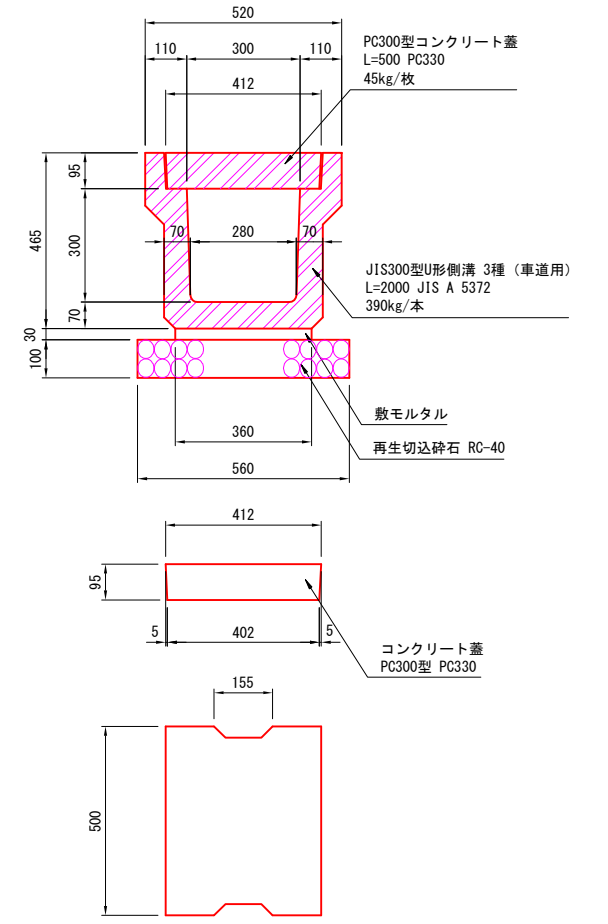
U型側溝-C S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)



U型側溝-F S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)

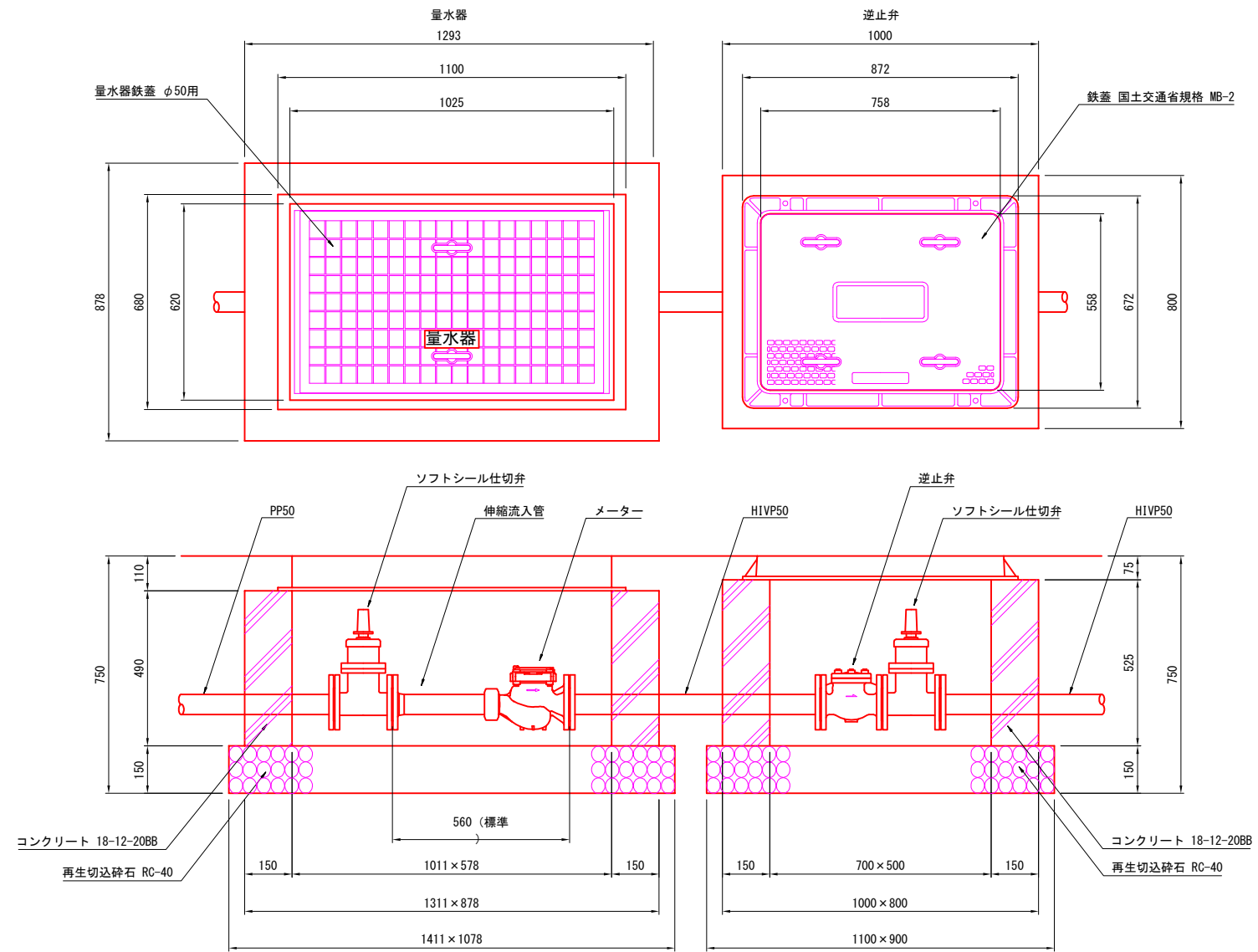


U型側溝-G S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)



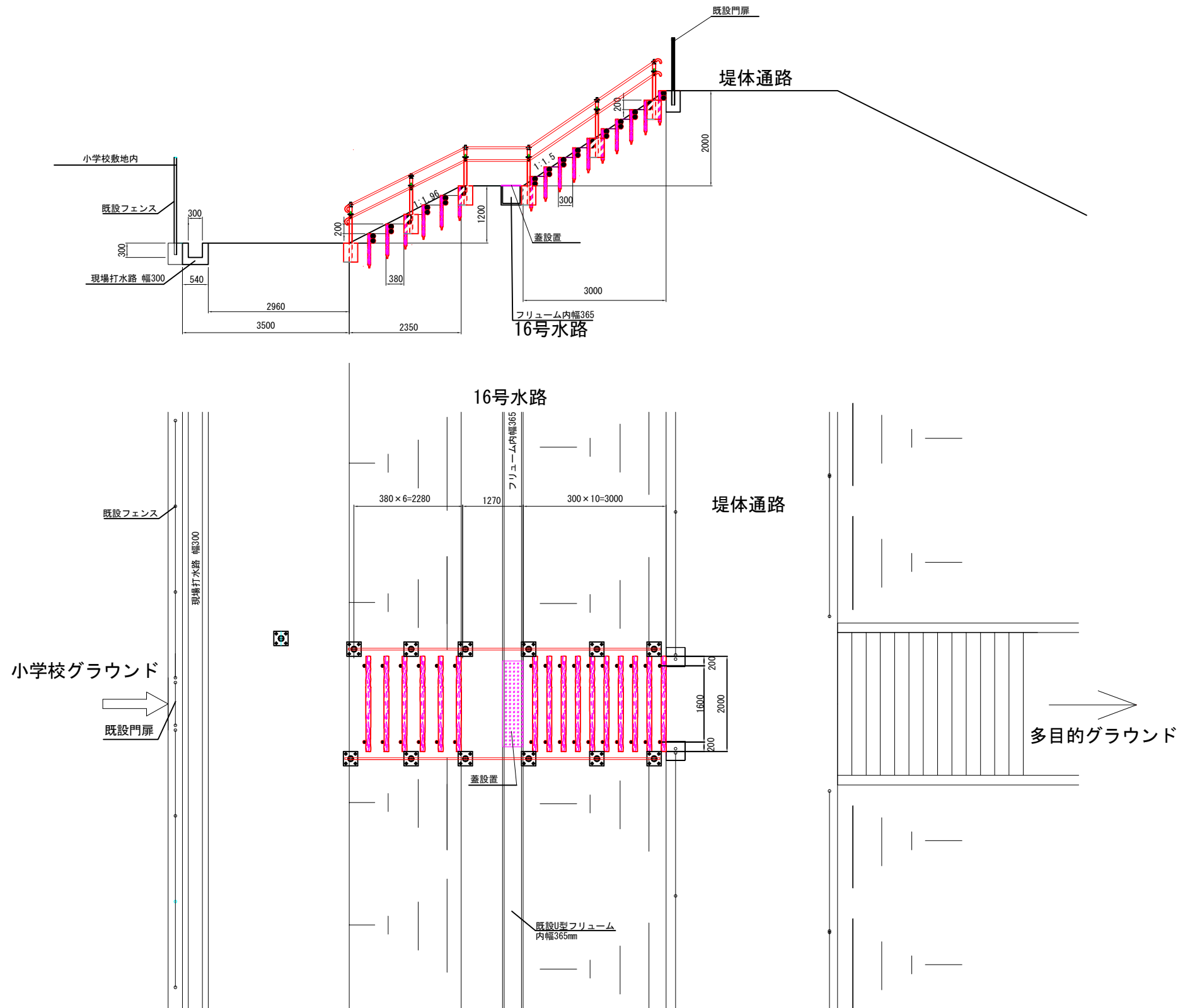
市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	詳細図-7
軸尺	図示
番号	22
作成年月日	平成31年 3月10日

量水器ボックス、逆止弁ボックス



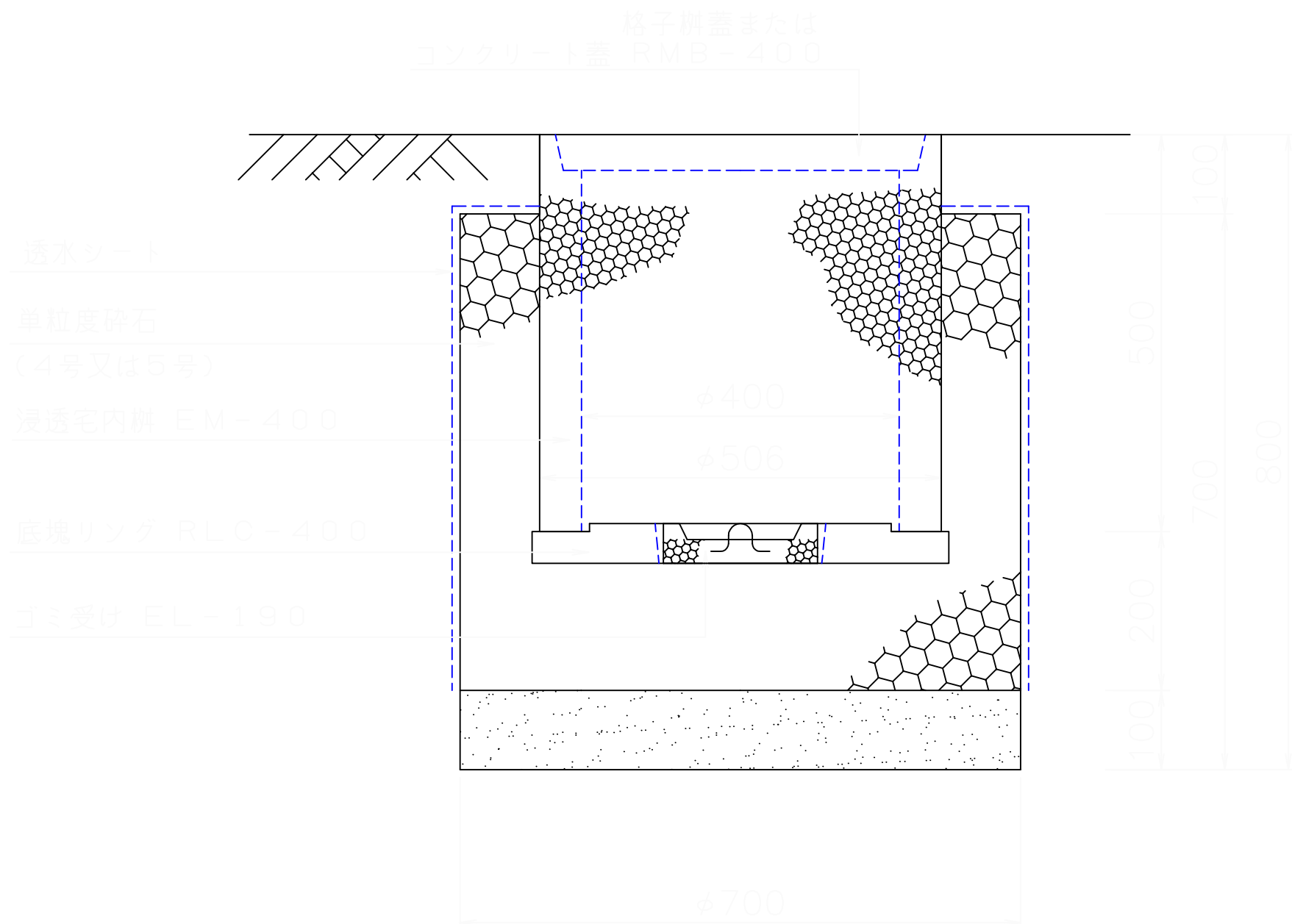
市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
図面名称	詳細図-8(参考図)
縮尺	図示
番号	23
作成年月日	平成31年 3月10日

学校側 階段詳細図 (擬木ステップ)

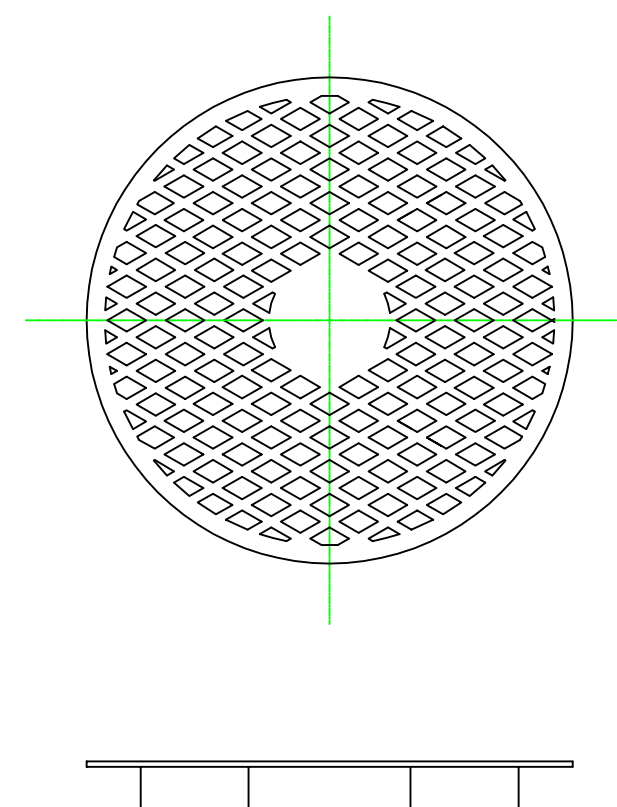


市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	
図面名称	詳細図-9
縮尺	1:100
番号	24
作成年月日	平成31年 3月10日

浸透枳EM-400構造図

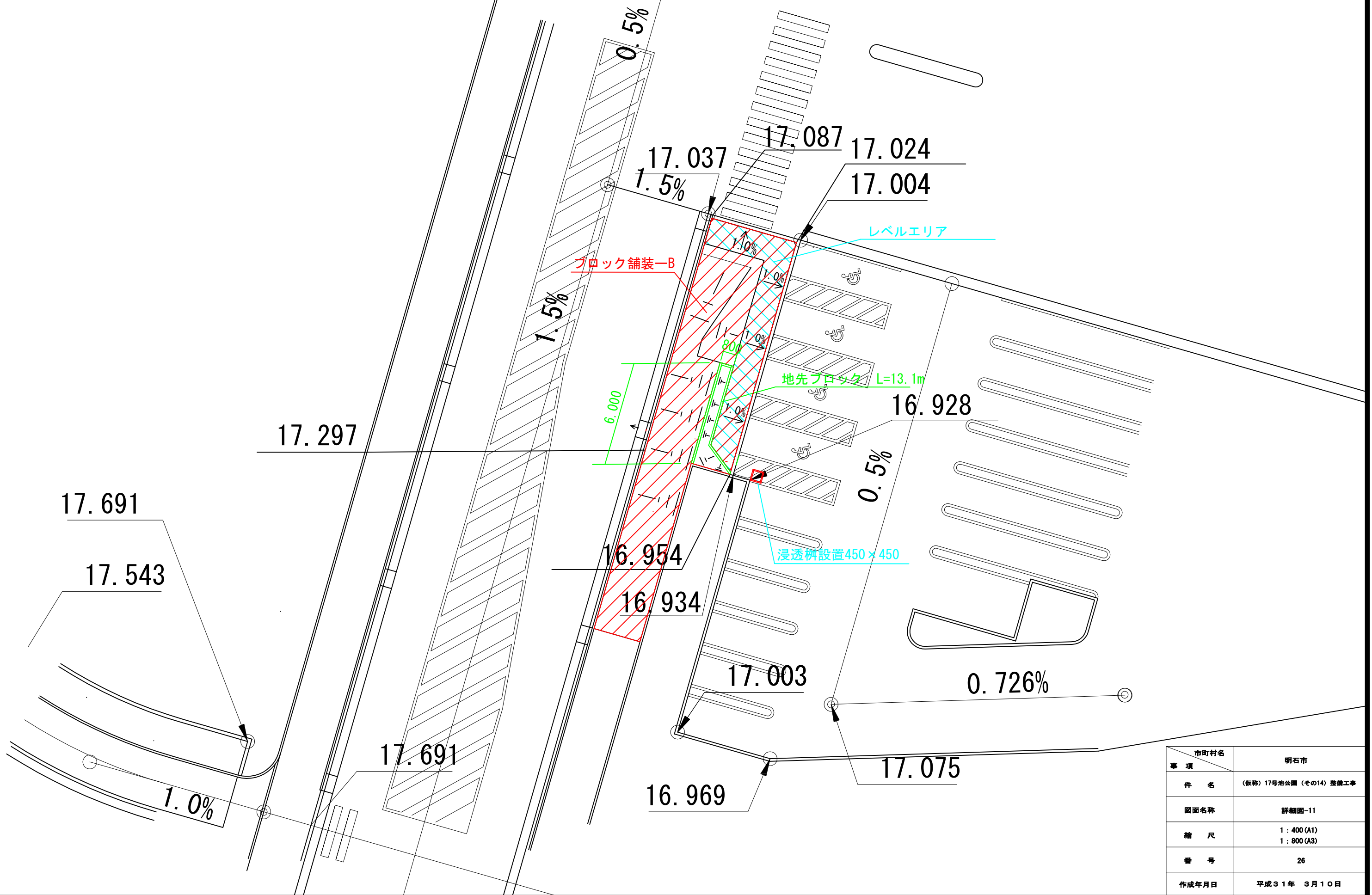


格子蓋構造図



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	詳細図-10
図面名称	
縮尺	
番号	25
作成年月日	

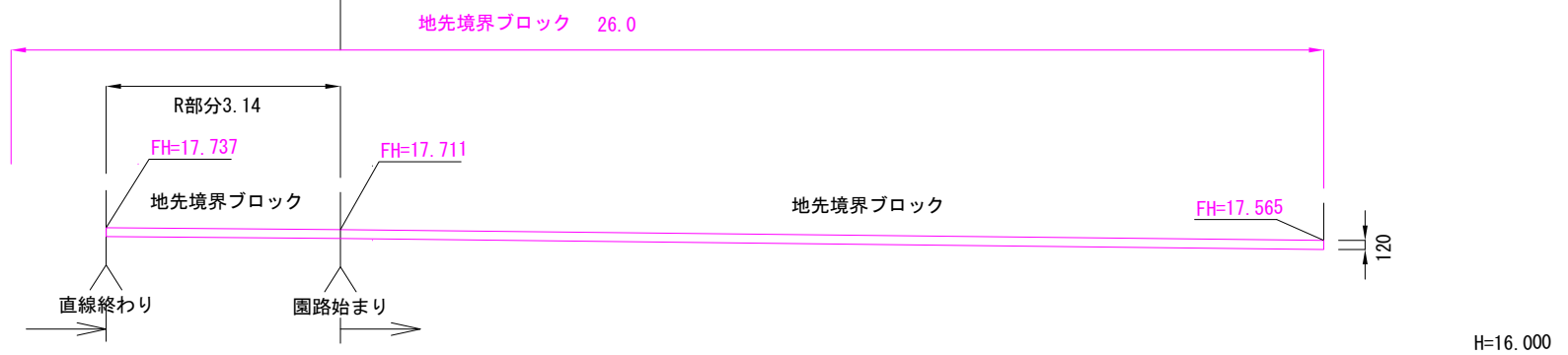
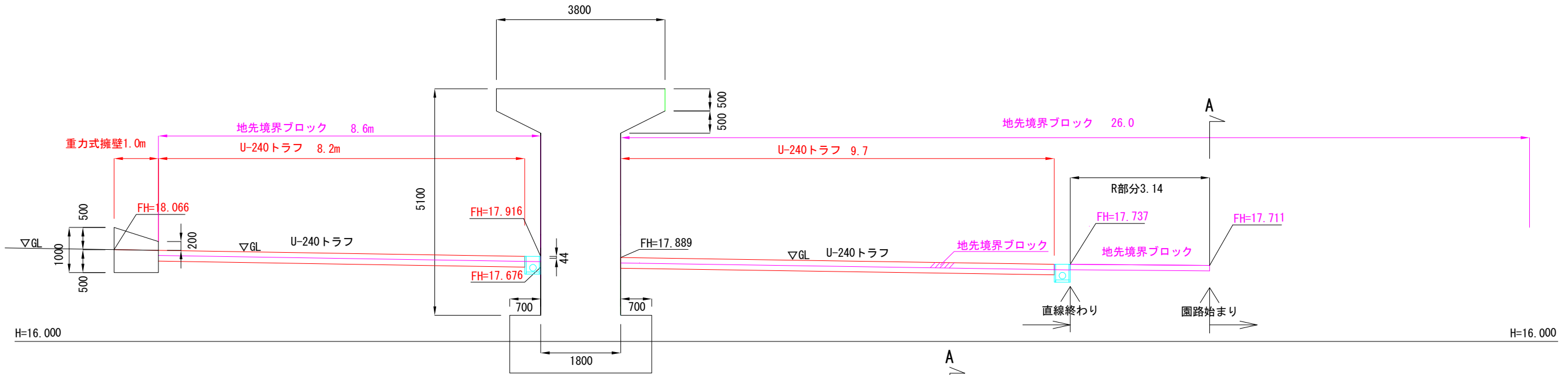
歩道仕上げ詳細図



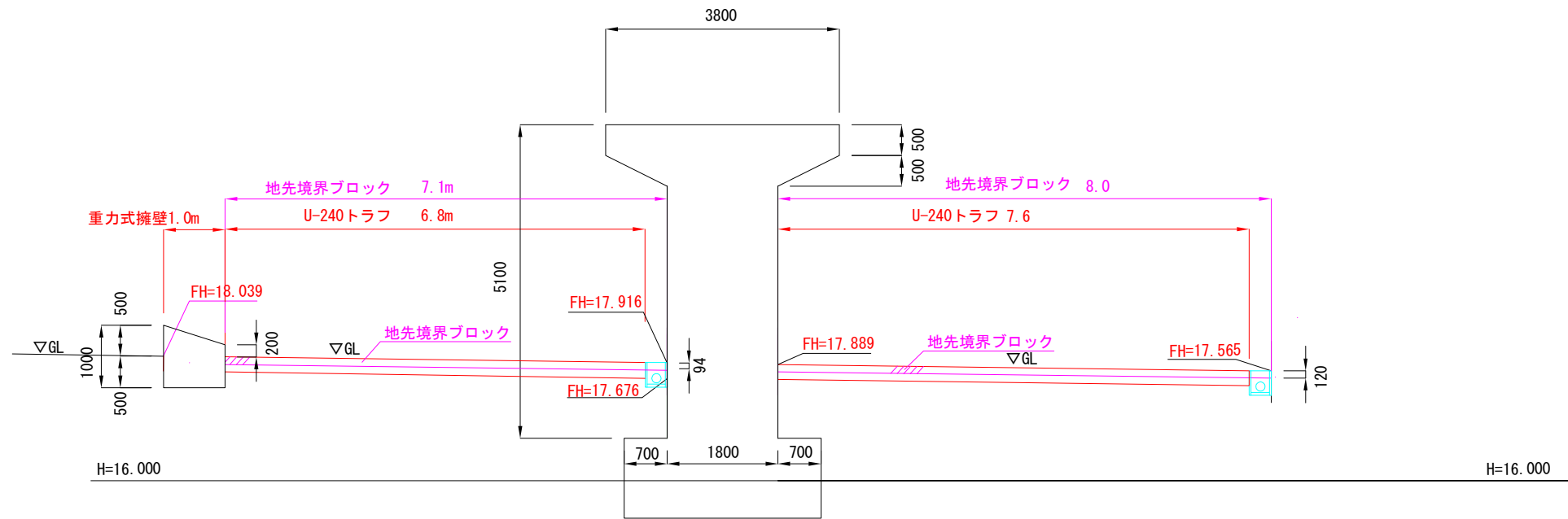
市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	詳細図-11
縮尺	1 : 400 (A1) 1 : 800 (A3)
番号	26
作成年月日	平成31年 3月10日

進入路排水展開図

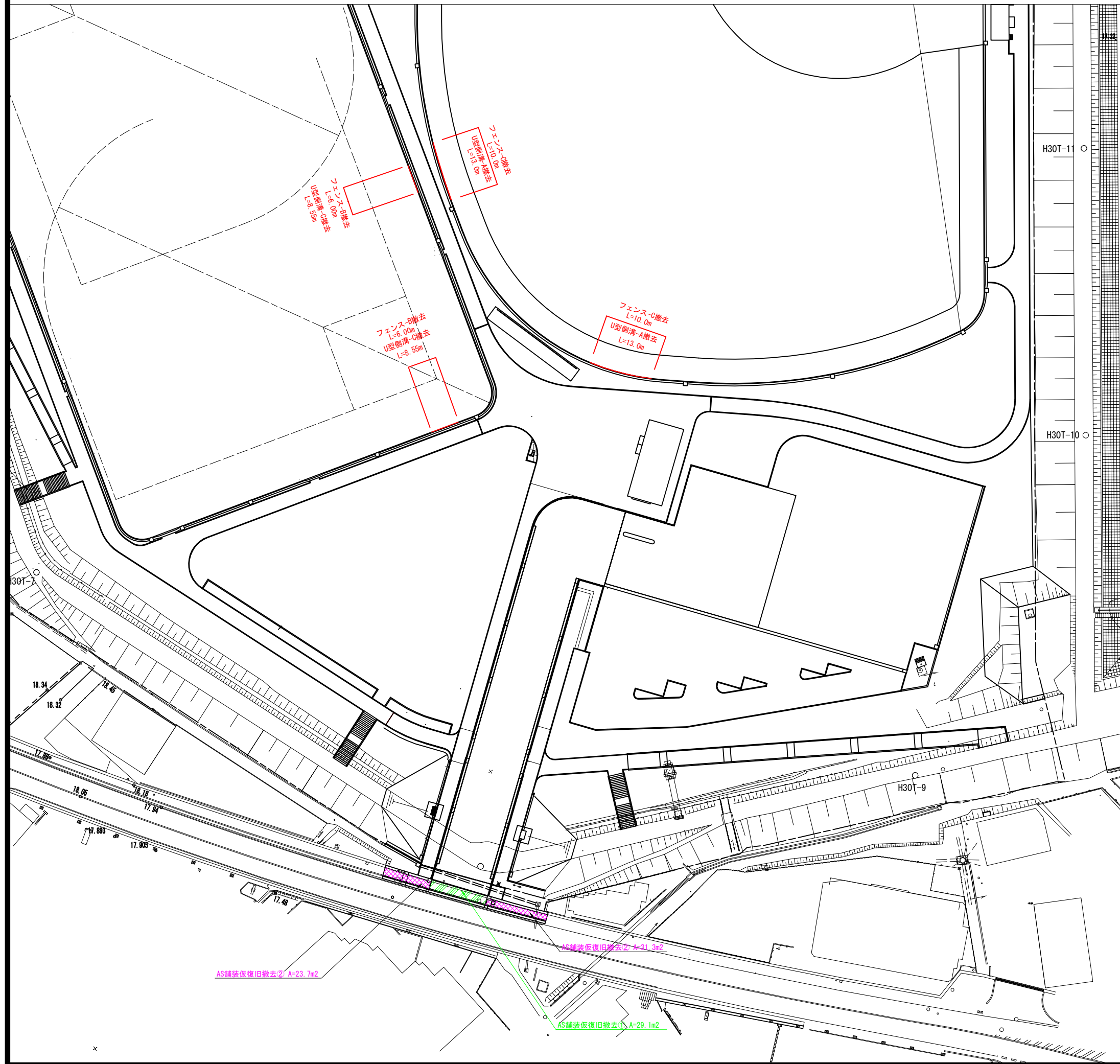
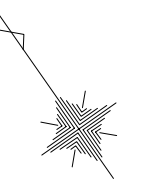
(西側)



(東側)



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	進入路排水展開図
図面名称	S=1:100
縮尺	27
番号	平成31年 3月10日
作成年月日	



記号	名称	形状・寸法	数量	単位	備考
	AS舗装仮復旧撤去①	50-50-100-200	29.1	m2	100-200:再生切込砕石
	AS舗装仮復旧撤去②	50-200	55.0	m2	200:再生切込砕石
	フェンス-B撤去	H=3.0	12.0	m	
	フェンス-C撤去	H=2.0	20.0	m	
	U型側溝-A撤去	U300	26.0	m	
	U型側溝-C撤去	U240	17.1	m	

市町村名	明石市
事項	(仮称)17号地公園(その14)整備工事
図面名称	撤去平面図
縮尺	1:400(A1) 1:800(A3)
番号	28
作成年月日	平成31年 3月10日

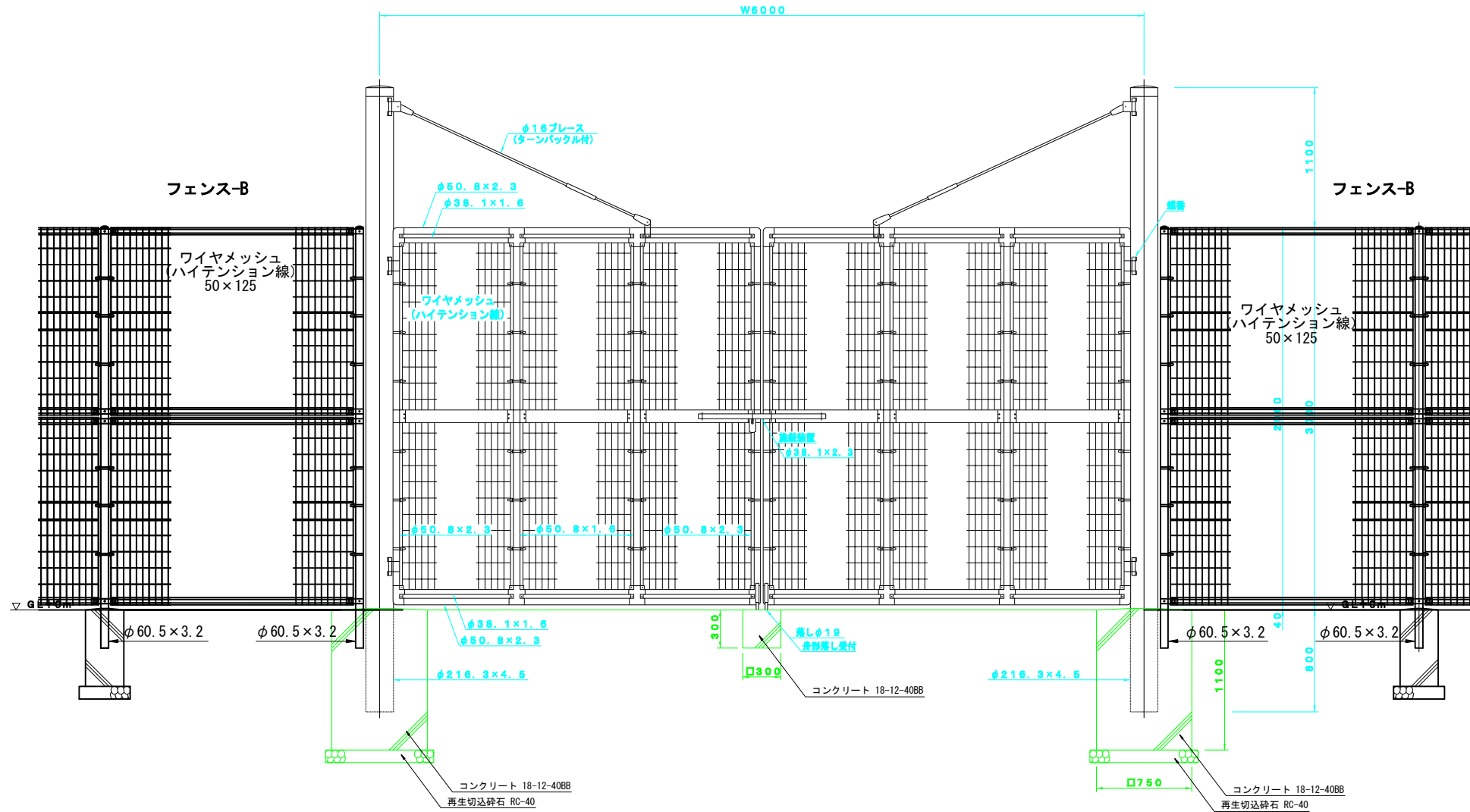
AS舗装仮復旧撤去② A=23.7m2

AS舗装仮復旧撤去① A=29.1m2

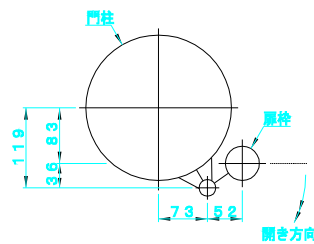
AS舗装仮復旧撤去② A=31.3m2

UN両開き門扉 H3000-50×W6000
 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力GL+0mに依る。)

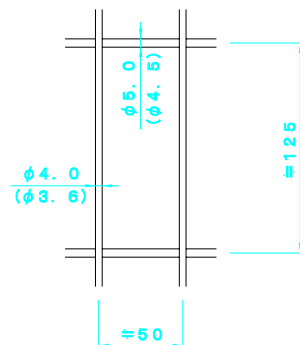
S=1/30



門柱・扉枠位置関係図



ワイヤメッシュ図
 () 内は芯径を示す。



特記事項 (設置フロー)

既設フェンス撤去→新設門扉基礎に既設フェンス柱を設置→既設フェンス切断→新設門扉設置→既設フェンス取付

設計条件

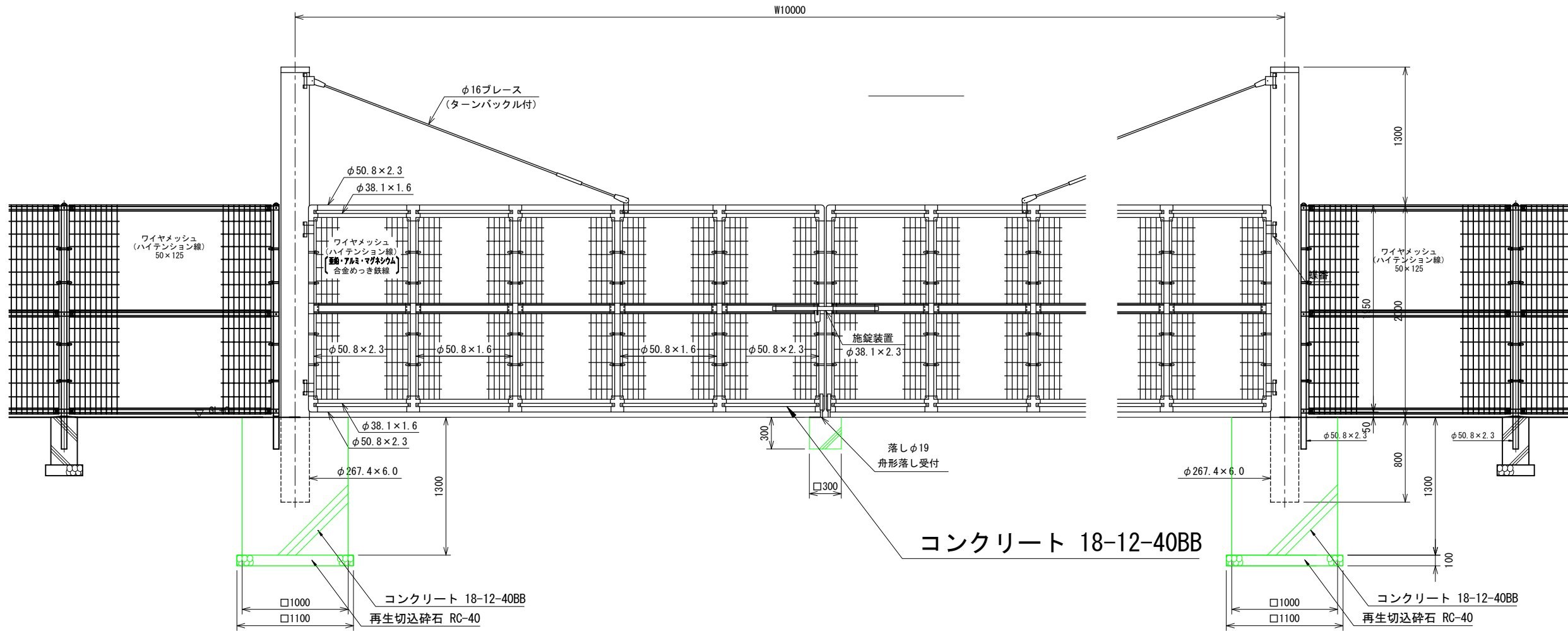
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m (10t/m)

備考

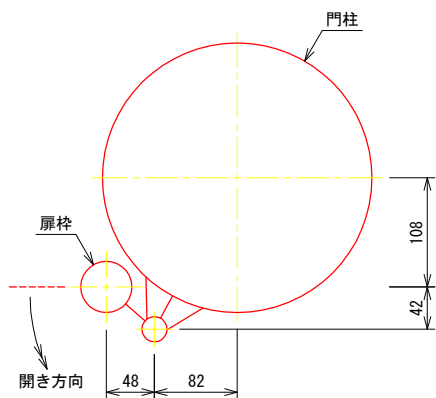
1. 外装はめっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、U型金具はめっきの上防錆着色処理、ブレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、施錠装置、落とし及び一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 本図門扉は片側180°開き、施錠側落としとする。

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	門扉断面図h3-6m
縮尺	図示
番号	29
作成年月日	平成31年 3月10日

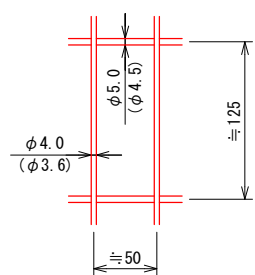
UN両開き門扉 H2000-50×W10000 S=1:30
 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



門柱・扉枠位置関係図



ワイヤメッシュ図
 () 内は芯径を示す。



設計条件
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

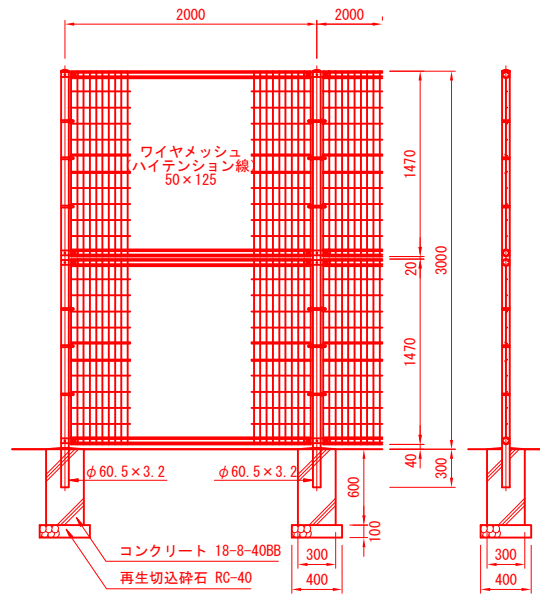
- 備考
1. 外装はめっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とし、U型金具は防錆着色処理とする。但し、門柱は溶融亜鉛めっきの上液体塗装、プレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、施錠装置、落とし及び一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
 2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落としとする。

特記事項 (設置フロー)
 既設フェンス撤去→新設門扉基礎に既設フェンス柱を設置→既設フェンス切断→新設門扉設置→既設フェンス取付

市町村名	明石市
事項	明石市
件名	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	門扉断面図h2-10m
縮尺	図示
番号	30
作成年月日	平成31年 3月10日

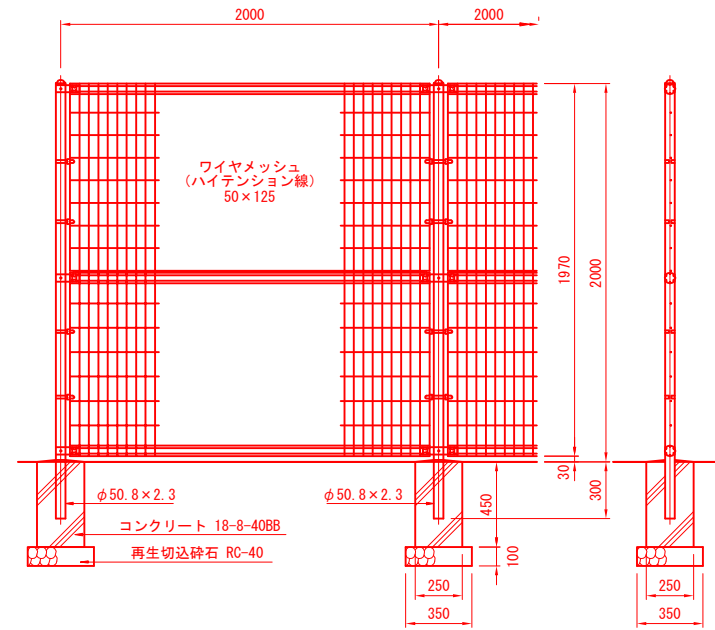
フェンス-B

S=1/30 (A1)、S=1/60 (A3)



フェンス-C

S=1/20 (A1)、S=1/40 (A3)



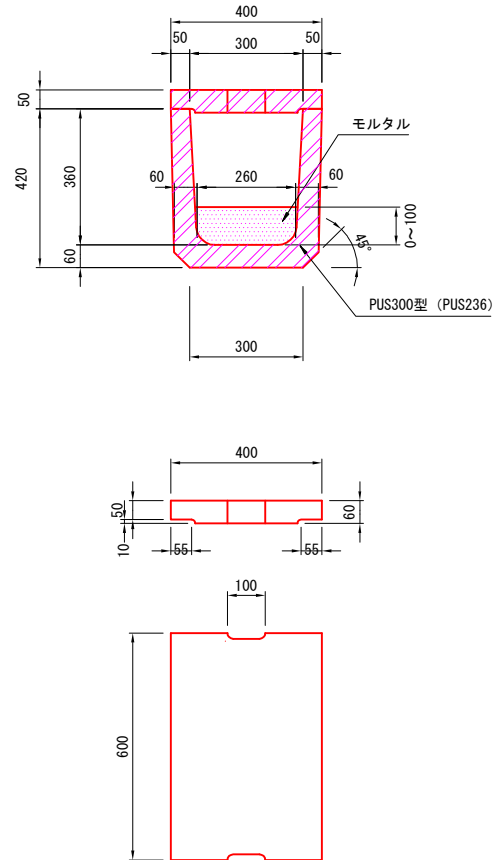
フェンス-B、C設計条件

設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

備考
1. 外装について
・主柱、ジョイント・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・押え金具・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
・ワイヤメッシュ・・・亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装
・U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット類・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理としワッシャは溶融亜鉛めっきのみ

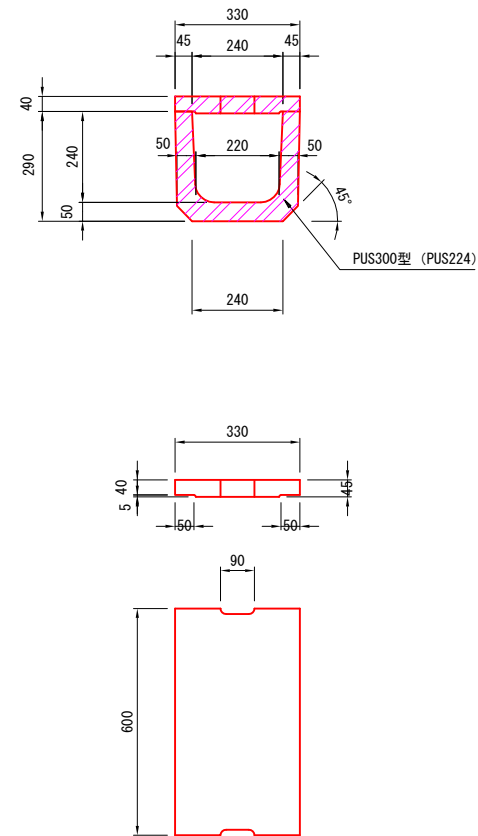
U型側溝-A (撤去、流用)

S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)

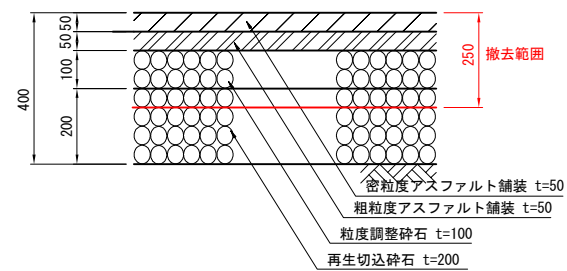


U型側溝-C (撤去、流用)

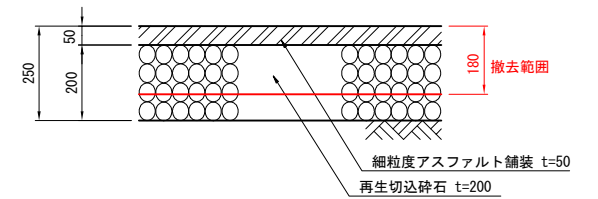
S=1/10 (A1)、S=1/20 (A3)



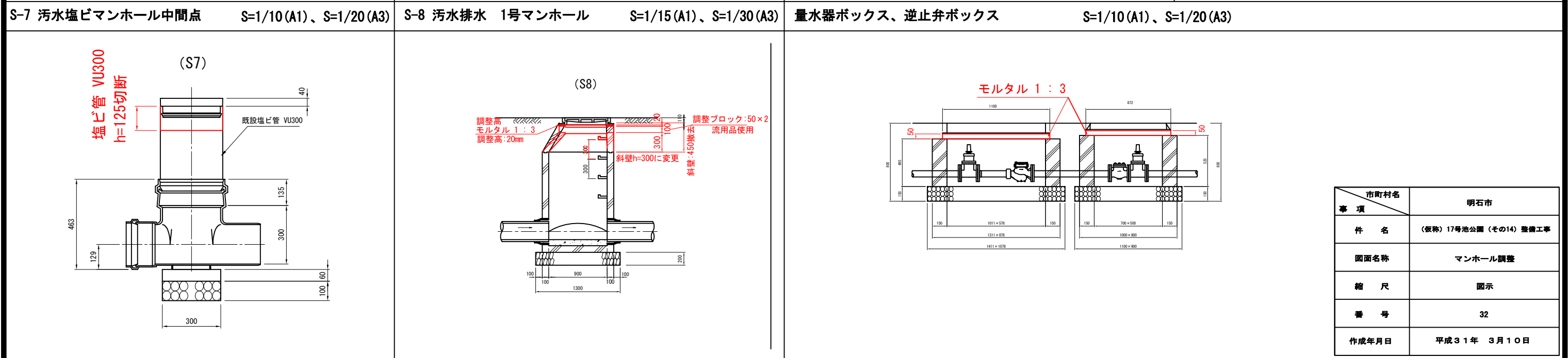
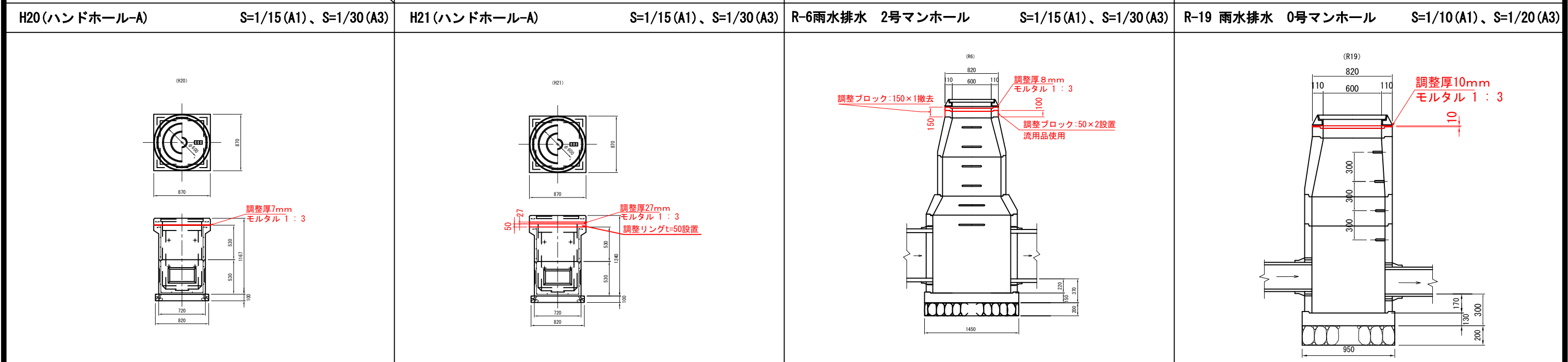
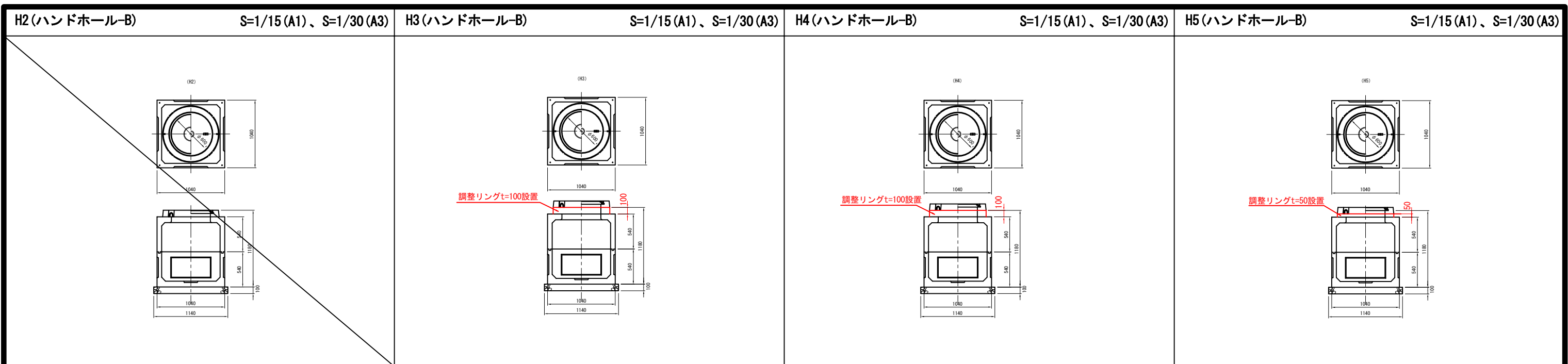
仮舗装撤去①



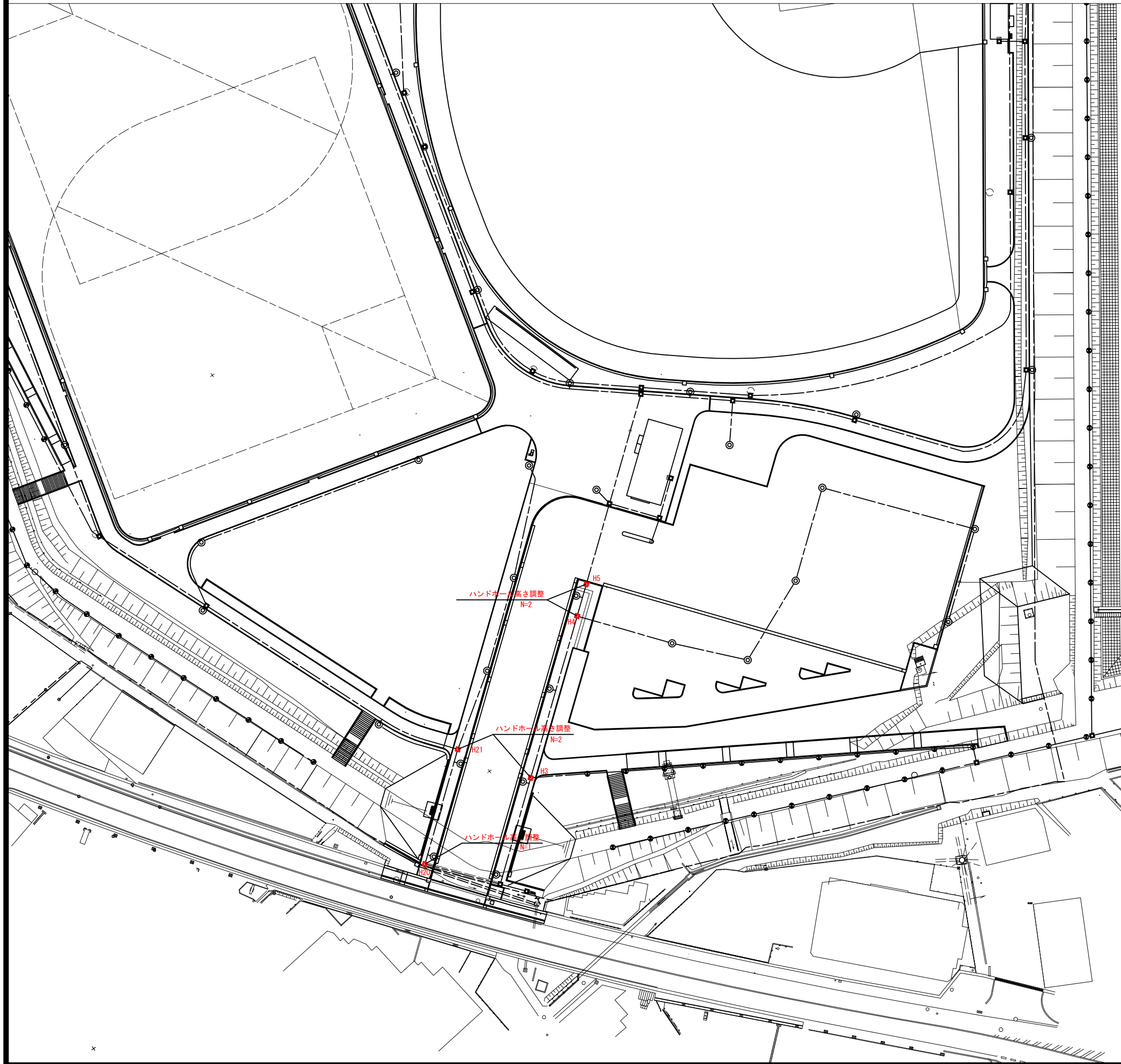
仮舗装撤去②



市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
件名	撤去詳細図
図面名称	図示
縮尺	31
番号	平成31年 3月10日
作成年月日	



市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	マンホール調整
図面名称	図示
縮尺	32
番号	平成31年 3月10日
作成年月日	



照明設備一覧表

記号	摘要	数量
□	ハンドホール高さ調整	5ヶ所

注記

1. 照明柱、引込柱、分電盤は、各々その付近にてD種接地工事を施すものとする。
2. L1-1回路は、ハンドホールH4・H9・H19内にて分岐接続するものとする。
3. L1-2回路は、ハンドホールH21・H22内にて分岐接続するものとする。
4. L2-1回路は、ハンドホールH40・H41内にて分岐接続するものとする。
5. L2-2回路は、ハンドホールH39内にて分岐接続するものとする。
6. L2-3回路は、ハンドホールH38内にて分岐接続するものとする。
7. ハンドホール-Bは、H1、H2、H3、H4、H5、H6、H9する。
8. ②、④、⑥、⑩以外のFEP管は施工済み。なお②BのFEP管は施工済み。
9. B1~B11、B59~B84、B85~B92、B128~B135は「透光板なし」とする。

① 引込 分電盤

電話	NTTにて配線
----	---------

※電線管理設-C

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP50
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP50
L1-2	A26 ~ A39	EM-CE3. 5sq-2C	FEP50
L2-2	B85 ~ B127	EM-CE3. 5sq-2C	FEP50
L3	管理棟用盤	-C-	FEP50
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
L6	駐車場用盤	-C-	FEP50
電話	NTTにて配線	FEP30	

※②+③:電線管理設-I

②

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-1	B 1 ~ B84	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L3	管理棟用盤	-C-	FEP50
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
L6	駐車場用盤	-C-	FEP50
電話	NTTにて配線	FEP30	

※③+④:電線管理設-I

③

L2-1	B 1 ~ B84	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

④

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L3	管理棟用盤	-C-	FEP50
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
L6	駐車場用盤	-C-	FEP50
電話	NTTにて配線	FEP30	

※⑤+⑥:電線管理設-I

⑤

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

⑥

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

⑦

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP50
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

⑧

L3	管理棟用盤	-C-	FEP50
L6	駐車場用盤	-C-	FEP50
電話	NTTにて配線	FEP30	

※電線管理設-E

⑨

L3	管理棟用盤	-C-	FEP50
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
電話	NTTにて配線	FEP30	

※電線管理設-C

⑩

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
※⑩+⑪:電線管理設-G			

⑪

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L4	更衣室用盤	-C-	FEP50

※電線管理設-C

⑫

L4	更衣室用盤	-C-	FEP50
----	-------	-----	-------

※電線管理設-A

⑬

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
※電線管理設-E			

⑭

L5	トイレ用盤	-C-	FEP50
----	-------	-----	-------

※電線管理設-A

⑮

L1-1	A 1 ~ A25	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30

※電線管理設-C

⑯

L2-3	B128~B177	EM-CE5. 5sq-2C	FEP30
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

⑰

L1-2	A26 ~ A39	EM-CE3. 5sq-2C	FEP30
L2-2	B85 ~ B127	EM-CE3. 5sq-2C	FEP30
※⑰+⑱:電線管理設-F			

⑱

L1-2	A26 ~ A39	EM-CE3. 5sq-2C	FEP30
------	-----------	----------------	-------

※電線管理設-A

※⑱+⑲:電線管理設-D

⑲

L2-2	B85 ~ B127	EM-CE3. 5sq-2C	FEP30
------	------------	----------------	-------

※電線管理設-A

⑳

L6	駐車場用盤	EM-CE38sq-2C	FEP50
----	-------	--------------	-------

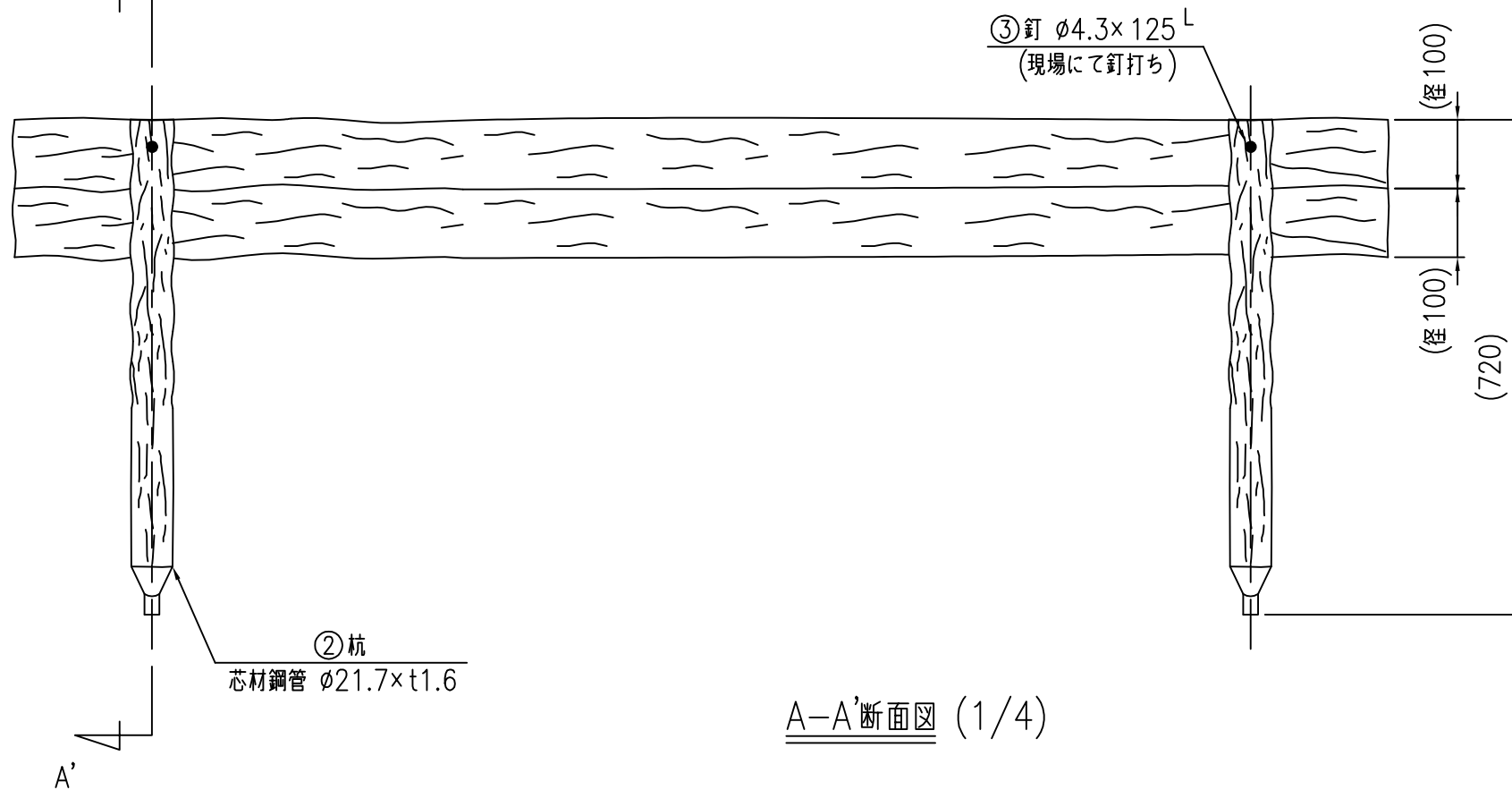
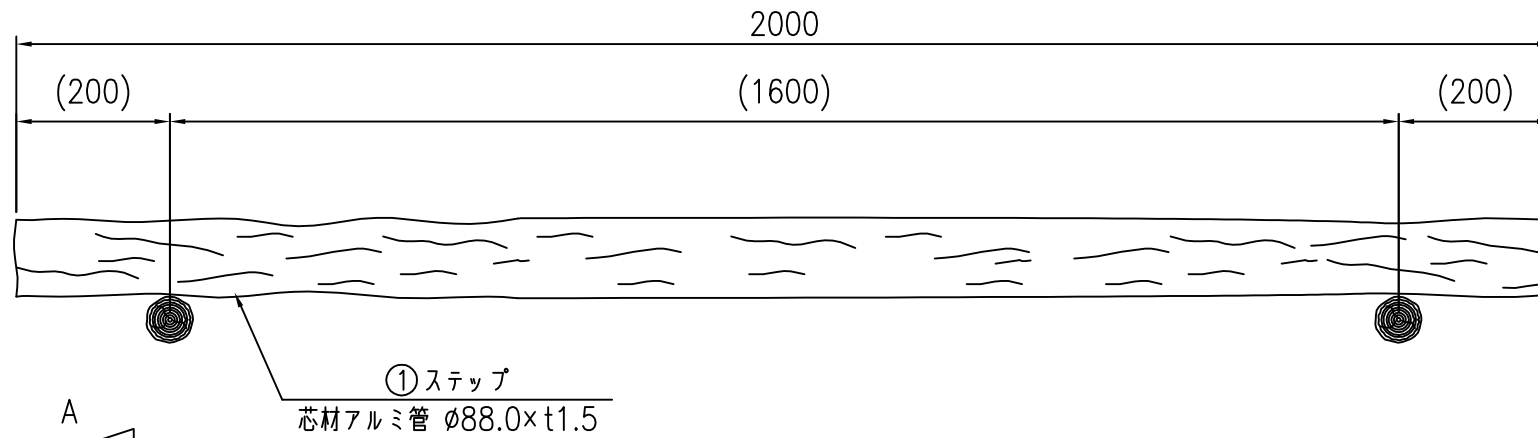
※電線管理設-A

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	電気設備平面図
縮尺	1:400(A1) 1:800(A3)
番号	33
作成年月日	平成31年 3月10日

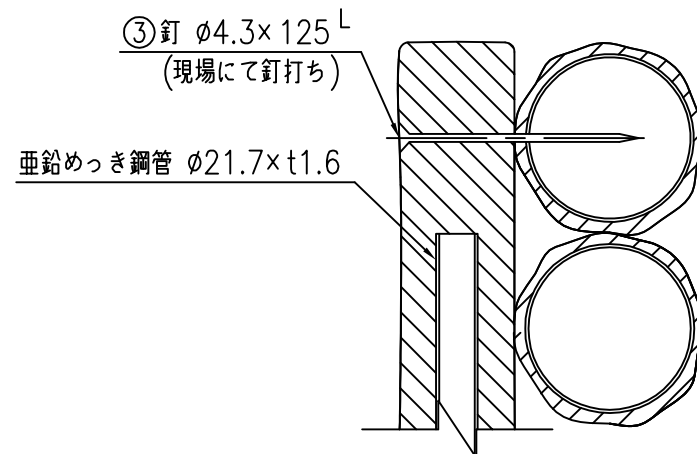
設置図 (1/10)

タイプ	テンダーウッド PGタイプ2段ステップ
品番	PG-2SP-20PW
図面番号	KREH00091*7

注) ステップの面サイドにPWタイプ擬板(t30)を側板として設置する場合、側板のみ露出した状態で直射日光に長時間さらされると、温度による伸縮及び反りにより施工外観に影響が出る場合があります。側板を設置後、速やかに土(盛土)を施工して下さい。同時施工ができない場合は、シート等をかぶせ、直射日光を避けて保管下さい。(但し、夏場などの気温が高いケースでは効果が限定的となります。)
・注意事項の詳細は、別途”プラ擬木PGステップ取扱説明書”をご確認ください。



A-A'断面図 (1/4)

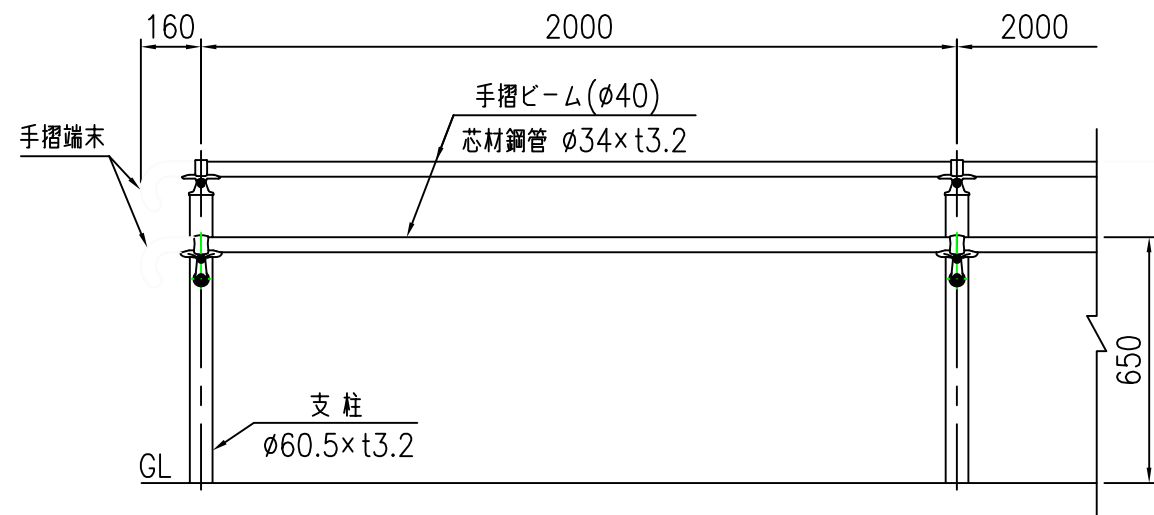


※注記・外径は凸部の平均値です。
・仕様は予告なく変更する事があります。

部番	部材名	材質	摘要	数量
①	ステップ	アルミ+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆	20
②	杭	STK400+再生ポリエチレン	亜鉛めっき+樹脂被覆	20
③	釘	ステンレス	テンパー処理	20

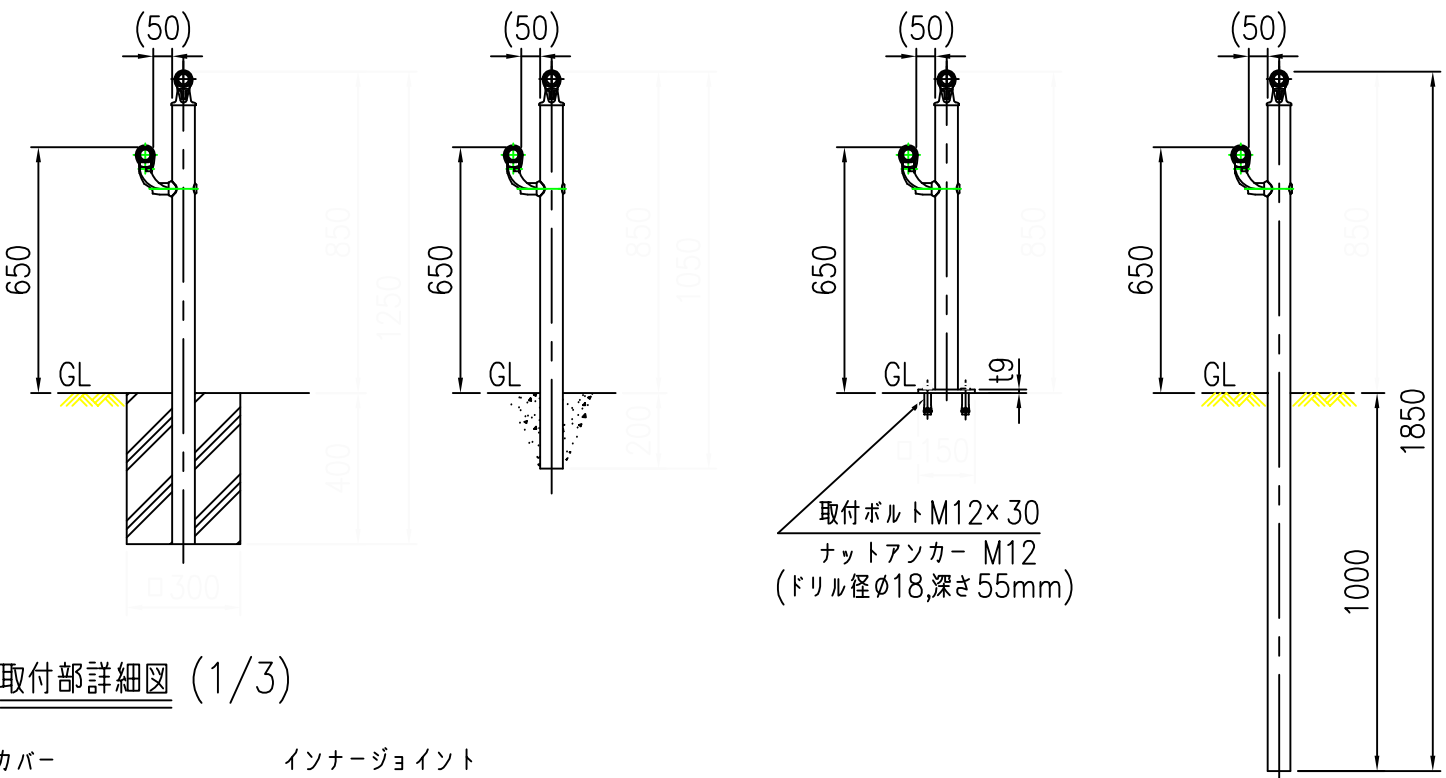
市町村名	明石市
事項	(仮称)17号池公園(その14)整備工事
件名	参考図②
図面名称	
縮尺	
番号	35
作成年月日	平成31年 3月10日

設置図 (1/20)



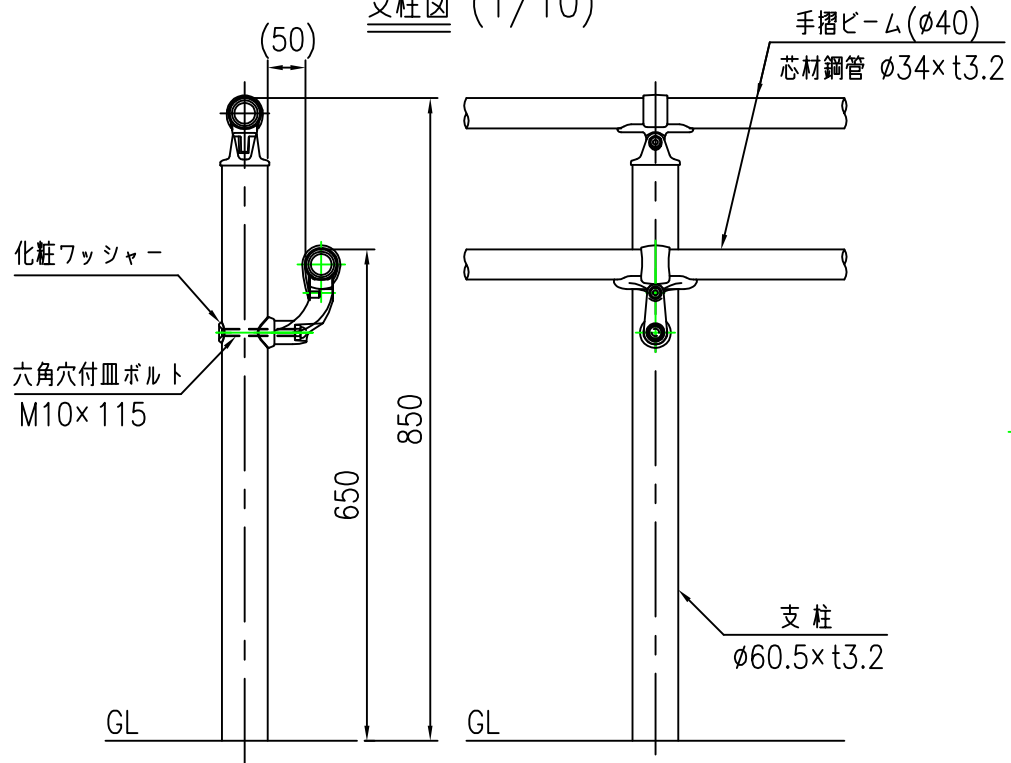
TRKC-MBS285-C20 TRKC-MBS285-W20 TRKC-MBS285-PL20 TRKC-MBS285-E20

*機械打ち込みは出来ません

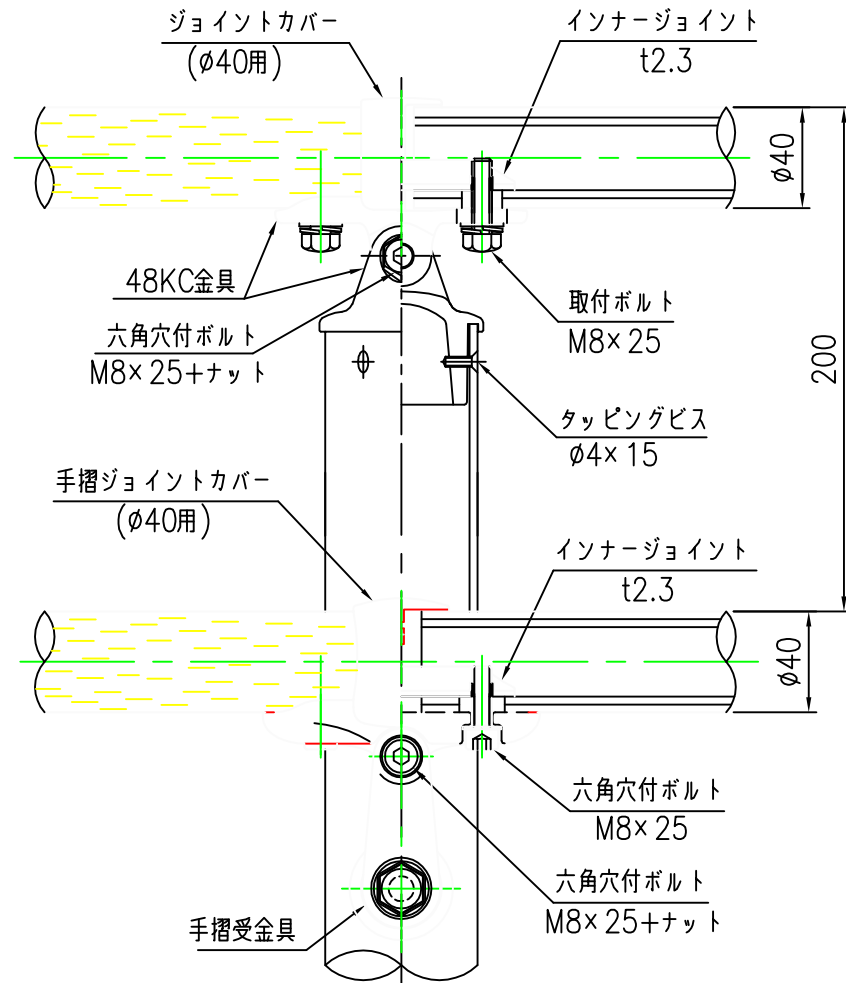


取付ボルト M12×30
ナットアンカー M12
(ドリル径φ18,深さ55mm)

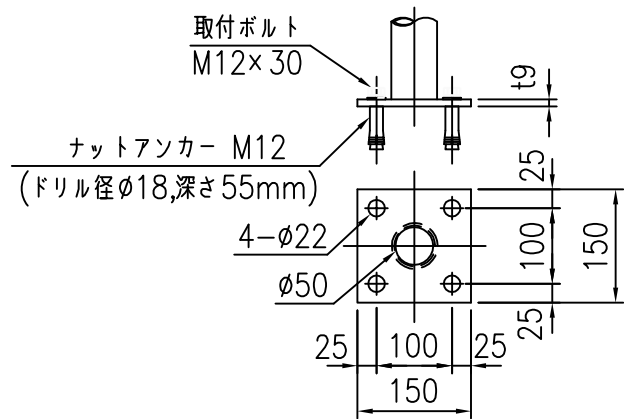
支柱図 (1/10)



取付部詳細図 (1/3)



ベースプレート詳細図 (1/10)



品名	材質	摘要
支柱	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
手摺ビーム	STK490+PE	亜鉛めっき+樹脂被覆
48KC(上・下)金具	アルミ合金	焼付塗装
インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
ジョイントカバー	PC	ポリカーボネート
手摺端末	アルミ合金	焼付塗装
六角穴付ボルト	SUS	M8×25+ナット
取付ボルト	SUS	M8×25
タッピングビス	SUS	φ4×15
手摺受金具	アルミ合金	焼付塗装
手摺ジョイントカバー	PC	ポリカーボネート
六角穴付ボルト	SUS	M8×25
化粧ワッシャー	SUS	
六角穴付皿ボルト	SUS	M10×115 + 袋ナット
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×30

市町村名	明石市
事項	(仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事
図面名称	参考図①
縮尺	
番号	34
作成年月日	平成31年 3月10日

令和 4年度 (仮称) 17号池公園 (その14) 整備工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 兵庫県明石市魚住町清水1番ほか地内

工 種 土木一式

総括情報表

単価適用年月日	0-04.11.01(0)		
工種区分(公共) 施工地域区分	今 回 09 公園 36 市街地(DID補正)(1)-3	前 回	

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬						
土砂等運搬 ; (小規模) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ; DID区間->有り L=6.5km以下	30		m3			施工 第0-0041号内訳表
処分費 土 砂 ; 投棄量 3 0 m3	1		式			施工 第0-0042号内訳表
擁壁工						
場所打擁壁工(構造物単位)						
重力式擁壁						
重力式擁壁 (H1000~H800) 目地含む	1		式			代価 第0007号内訳表
重力式擁壁 (H800~H700) 目地含む	1		式			代価 第0008号内訳表
植栽						

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
植栽工											
高木植栽工											
高木植栽											
	植栽工 (シダレザクラH3.5 C0.18) 植栽割増を含む 支柱別途計上	1		本						施工	第0-0043号内訳表
	単穴改良	1		本						施工	第0-0045号内訳表
	支柱工 二脚鳥居支柱(添木なし)	1		本						施工	第0-0046号内訳表
中低木植栽工											
中低木植栽											
	公園植栽(植樹) [低木] ヒラドツツジH0.3 W0.3	65		本						施工	第0-0047号内訳表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水設備工						
水栓類取付工						
ボックス類高さ調整						
量水器、逆止弁高さ調整						
	1		式			代価 第0012号内訳表
雨水排水設備工						
側溝工						
現場打側溝						
L型街渠-A						
	42		m			代価 第0001号内訳表
L型街渠-B						
	8		m			代価 第0002号内訳表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工						
溶解式区画線						
区画線実線 W150						
	160		m			施工 第0-0112号内訳表
区画線ゼブラ W450						
	220		m			施工 第0-0116号内訳表
区画線横断歩道横線 W150						
	52		m			施工 第0-0120号内訳表
停止線 W=150						
	17		m			施工 第0-0121号内訳表
ストップ W=100						
	18		m			施工 第0-0122号内訳表
横断歩道 W=100						
	64		m			施工 第0-0126号内訳表
階段工						

工事費内訳書

頁0-0016/0189

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬 舗装版破碎 ; D I D区間有り L=9.0km以下	5.6		m	3					施工	第0-0148号内訳表
殻処分										
処分費 コンクリート2次製品 ; 投棄量0.7m3	1			式					施工	第0-0149号内訳表
処分費 アスファルト殻 ; 投棄量5.6m3	1			式					施工	第0-0150号内訳表
公園施設等撤去・移設工										
公園施設撤去工										
公園施設撤去										
フェンスB 撤去	12		m						施工	第0-0151号内訳表
フェンスC 撤去	20		m						施工	第0-0152号内訳表

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工											
交通管理工											
交通誘導警備員											
交通誘導警備員 A		4		人	日					施工	第0-0153号内訳表
交通誘導警備員 B		37		人	日					施工	第0-0154号内訳表
直接工事費計											
共通仮設費計											
共通仮設費率分											
純工事費計					式						

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費						
			式			
工事原価計						
			式			
一般管理費等						
			式			
スクラップ控除						
			式			
	鉄屑 ペーパー H3					
		0.5	t			
工事価格計						
			式			
消費税相当額						
			式			
総 計						
			式			
			式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打街渠柵 NGMF 60A	100	箇所			施工 第0-0013号内訳表
鋼製グレーチング 柵蓋 (T - 25) 300×600×65mm 110° 開閉式		組			
合 計	100	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

ハンドホール高さ調整

代 価 表

頁0-0028/0189

代価 第0010号内訳表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
H3ハンドホール高さ調整					
	1	式			施工 第0-0027号内訳表
H4ハンドホール高さ調整					
	1	式			施工 第0-0029号内訳表
H5ハンドホール高さ調整					
	1	式			施工 第0-0030号内訳表
H20ハンドホール高さ調整					
	1	式			施工 第0-0031号内訳表
H21ハンドホール高さ調整					
	1	式			施工 第0-0032号内訳表
単 位 当 り					
	1	式			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0031/0189

現場打街渠

[規格1]NGF515A

[規格2]

[摘要]

10

m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
駒止ブロック設置 一般部 A型 基礎砕石:無し 基礎コン:無し	10.00	m			施工 第0-0002号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.90	m3			施工 第0-0003号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	3.20	m2			施工 第0-0004号内訳表
基礎砕石 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	8.20	m2			施工 第0-0005号内訳表
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 街渠の形状		=1			セミフラット型(NGF500型) A型 T=150mm
B ブロック種別		=1			
C エポキシ厚(T)		=1			
D 基礎材区分		=3			再生切込砕石基礎 前面型枠あり
E 前面型枠の有無		=2			

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600)			駒止ブロック FA [下水汚泥スラグ入り]			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	作業区分	=1		設置				
B	ブロック種別	=2		駒止ブロック				
C	ブロック規格	=13		一般部 A型				
D	基礎砕石規格	=1		無し				
E	均し基礎コンクリート規格	=1		無し				

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0004号内訳表

1
頁0-0034/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0035/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600)			歩車道境界ブロック K [下水汚泥スラグ入り] 歩道巻込部			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	設置					
B	ブロック種別	=1	歩車道境界ブロック					
C	ブロック規格	=5	切下部 K型					
D	基礎砕石規格	=1	無し					
E	均し基礎コンクリート規格	=1	無し					

駒止ブロック設置
[規格1] 一般部 C型

[規格2] 基礎碎石:無し 基礎コン:無し

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0039/0189
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ 山積0.09m3(平積0.07)0.9t吊 [クローラ型クレーン付後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回クレーン0.9t山積0.09m3			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600)			駒止ブロック FC [下水汚泥スラグ入り]			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1		設置				
B	ブロック種別	=2		駒止ブロック				
C	ブロック規格	=15		一般部 C型				
D	基礎碎石規格	=1		無し				
E	均し基礎コンクリート規格	=1		無し				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600)			歩車道境界ブロック N [下水汚泥スラグ入り] 歩道乗入部			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	設置					
B	ブロック種別	=1	歩車道境界ブロック					
C	ブロック規格	=6	乗入部 N型					
D	基礎砕石規格	=1	無し					
E	均し基礎コンクリート規格	=1	無し					

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0043/0189

現場打街渠柵

[規格1] NGMF 60A

[規格2]

[摘要]

10

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
駒止ブロック設置 一般部 A型 基礎砕石:無し 基礎コン:無し	10.00	m			(街渠部) 施工 第0-0002号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.40	m3			(街渠部) 台座部コンクリート 施工 第0-0003号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.40	m3			(街渠部) エフ [°] コン部コンクリート 施工 第0-0014号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	4.70	m2			(街渠部) 施工 第0-0004号内訳表
埋設鋼板型枠	0.80	m2			(街渠部) 施工 第0-0015号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.025	t			(街渠部) 施工 第0-0016号内訳表
グレーチング布設 40kg以下	10.00	枚			(街渠部) 施工 第0-0017号内訳表
現場打ち集水柵・街渠柵(本体) 18-12-20BB[水セメント比 60%以下] 1箇所当りCo使用量->0.30m3を超え0.32m3以	10.00	箇所			(柵部) 施工 第0-0019号内訳表
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			
A 街渠の形状		=1			
B ブロック種別		=1			
C 柵規格		=2			
D 基礎材区分		=3			
E 1工事の施工規模		=2			
F 施工条件		=1			
					セミフラット型 (NGMF型) A型 NGM60 [H=600mm] 再生切込砕石基礎 鉄筋数量区分->10 t 未満 標準

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	構造物種別	=2		小型構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=18		24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.30m3を超え0.32m3以下 [摘要]

積算単価算出表

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0050/0189
 箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=6	0.30m3を超え0.32m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

小型擁壁
[規格1] 0.8m以上1.0m以下

[規格2] 基礎碎石->有り 均しコン->無し

積算単価算出表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0051/0189
1 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型クレーン付) 山積0.45(平積0.35) [後方超小旋回型・超低騒音・排出ガス(2011年)]			バックホ(クローラ型) [後方超小旋回・超低騒音・クレーン付・(2011年)] 0.45/0.35m3			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	擁壁平均高さ =3		0.8m以上1.0m以下				
B	コンクリート規格 =1		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
C	基礎碎石の有無 =2		有り				
D	均しコンクリートの有無 =1		無し				
E	養生工の種類 =1		一般養生・特殊養生(練炭)				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								

小型擁壁
[規格1] 0.6m以上0.8m未満

[規格2] 基礎碎石->有り 均しコン->無し

積算単価算出表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0053/0189
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型クレーン付) 山積0.45(平積0.35) [後方超小旋回型・超低騒音・排出ガス(2011年)]			バックホ(クローラ型) [後方超小旋回・超低騒音・クレーン付・(2011年)] 0.45/0.35m3			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	擁壁平均高さ =2		0.6m以上0.8m未満				
B	コンクリート規格 =1		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
C	基礎碎石の有無 =2		有り				
D	均しコンクリートの有無 =1		無し				
E	養生工の種類 =1		一般養生・特殊養生(練炭)				

モルタル練
[規格1] 普通 混合比→1:3

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0056/0189
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			普通ポルトランドセメント (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=1	普通					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0070/0189
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0071/0189
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ及びランマ [ランマ] 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	カーソリン レキユール スタント			レキユールカーソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=5		上記以外(小規模)				
B 土質	=1		土砂				

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0072/0189

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=6	バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=15	6.5km以下					

施工単価表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0074/0189

植栽工 (シダレザクラH3.5 C0.18)

[規格1] 植栽割増を含む

[規格2] 支柱別途計上

[摘要]

100

本 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
造園工		人			
普通作業員		人			
樹木	100.00	本			
バックホ運転 (賃料)		日			
植栽割増		%			
合 計	100	本			
単 位 当 り	1	本			
A 樹木の幹周 (cm)		=18	樹木の幹周 (cm)		
B バックホの有無		=1	使用する		
C ★★1本当り樹木単価 (円/本)		=	★★1本当り樹木単価 (円/本)		
D 支柱形式		=8	支柱別途計上		
G ★★土壌改良材単価 (円/kg)		=	★★土壌改良材単価 (円/kg)		

施工単価表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0075/0189

単穴改良

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
真珠岩系パーライト (ネニサンソ2号)	4,180	L			
家畜糞尿堆肥	1,045	kg			
固形肥料 (ウッドエース4号)	27	kg			
真砂土 (植栽用)		m3			
合 計	100	本			
単 位 当 り	1	本			

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0076/0189

支柱工

[規格1] 二脚鳥居支柱(添木なし)

[規格2]

[摘要]

100

本 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
造園工		人			
普通作業員		人			
杉支柱丸太(防腐加工) 長さ0.6m×末口6cm	100.00	本			
杉支柱丸太(防腐加工) 長さ1.8m×末口6cm	200.00	本			
諸雑費		%			
合 計	100	本			
単 位 当 り	1	本			
A 支柱形式		=2	二脚鳥居支柱(添木なし)		

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0079/0189

樹名板 (スプリング式)

[規格1]	[規格2]	[摘要]				100 枚 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
樹名板 168×118 (解説QRラベル)	100	枚				
樹名板用スプリング 10cm	100	基				
樹名板設置手間	100	基				
合 計	100	枚				
単 位 当 り	1	枚				

施工単価表

施工 第0-0057号内訳表

頁0-0086/0189

U型側溝-C

[規格1] 名称・規格	[規格2]	[摘要]	100	m	当り
名称・規格	数	量	単	価	備
金額	単	位	単	価	考
U型側溝 機械・労務	100	m			施工 第0-0058号内訳表
蓋版 機械・労務	165	枚			施工 第0-0018号内訳表
基礎碎石 碎石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	44	m2			施工 第0-0005号内訳表
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0106/0189
 箇所 当り

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.36m3を超え0.38m3以下 [摘要]

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=9	0.36m3を超え0.38m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0080号内訳表

頁0-0109/0189

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.40m3を超え0.43m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=11	0.40m3を超え0.43m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

フィルター材
[規格1] 単粒度砕石(4号)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0082号内訳表

1
頁0-0111/0189
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]				バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m3			
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R4		特殊作業員				特殊作業員			
R									
Z1		再生クラッシャー RC-40				単粒度砕石(4号) (20~30mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油				軽油			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	フィルター材の種類	=4		単粒度砕石(4号)					

浸透ます
[規格1] 据付

[規格2] 波状管及び網状管(450~600mm)

積算単価算出表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0112/0189
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 波状管 呼び径500mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)			浸透ます EM-400×500			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=2	波状管及び網状管					
C	呼び径	=3	450~600mm					
D	継手材料費	=2	不要					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=12	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

フィルター層
[規格1] t=100mm以上120mm未満

[規格2] 洗砂

積算単価算出表

施工 第0-0084号内訳表

頁0-0113/0189
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均厚さ	=4		100mm以上120mm未満				
B	フィルター材種別	=1		洗砂				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータレータ プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータレータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無 =1		無し				

下層路盤(車道・路肩部)流用
 [規格1] 全仕上り厚→200mm 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0087号内訳表

頁0-0116/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2		ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3		タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		クラッシュヤーン C-40 全厚t=150mm			路盤材流用			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚(mm)	=200		全仕上り厚(mm)				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=4		路盤材(各種)				

掘削
[規格1] 土砂 オープンカット

[規格2] 5,000m3未満

積算単価算出表

施工 第0-0088号内訳表

頁0-0118/0189
m3 当り

[摘要]

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・超低騒音型・排ガス対策型(3次)]				バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排ガス対策型(3次)] 0.8/0.6m3			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R								
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=1	オープンカット					
D	押土の有無	=2	無し					
E	障害の有無	=1	無し					
F	施工数量	=3	5,000m3未満					

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0089号内訳表

頁0-0119/0189

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=1	標準				
B	積込機種・規格	=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=1	無し				
E	運搬距離	=3	0.5km以下				

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0090号内訳表

頁0-0120/0189
 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		モータレータ プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータレータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2		ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3		タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1		1層施工				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t=40mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0091号内訳表

頁0-0121/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロッドローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロッドローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 40mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0091号内訳表

頁0-0122/0189
m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
A	平均幅員 =4	3.0m超					
B	1層当り平均仕上り厚(mm) =40	1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	材料 =8	密粒度アスコン[再](13)					
D	夜間割増の有無 =1	無し					
E	瀝青材料種類 =2	プライムコート PK-3					

施工単価表

施工 第0-0092号内訳表

頁0-0123/0189

アスファルト舗装C (流用材)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
不陸整正 補足材料->無し	100	m2			100 m2 当り 施工 第0-0086号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	100	m2			施工 第0-0093号内訳表
上層路盤(歩道部)流用 全仕上り厚 t = 150 1層施工 路盤材(各種)	100	m2			施工 第0-0094号内訳表
掘削 土砂 オフカット 5,000m3未満	15	m3			施工 第0-0088号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	15	m3			施工 第0-0089号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 50mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)	100	m2			施工 第0-0095号内訳表
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

フィルター層
[規格1] t=40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

積算単価算出表

施工 第0-0093号内訳表

頁0-0124/0189
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均厚さ	=1		40mm以上60mm未満				
B	フィルター材種別	=1		洗砂				

上層路盤(歩道部)流用

[規格1] 全仕上り厚 t = 150 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0094号内訳表

頁0-0125/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3 (平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			路盤材流用			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=150		全仕上り厚				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=4		路盤材(各種)				
D	路盤材(各種) (円/m3)の単価コード	=11		路盤材(各種) (円/m3)の単価コード				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャー 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)]			アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 2.3~6.0m			
K2	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K3	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=3	2.4m以上				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=1	一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)				

施工単価表

施工 第0-0096号内訳表

頁0-0128/0189

アスファルト舗装D (流用材)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
不陸整正 補足材料->無し	100	m2			100 m2 当り 施工 第0-0086号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	100	m2			施工 第0-0093号内訳表
上層路盤(歩道部)流用 全仕上り厚 t = 100 1層施工 路盤材(各種)	100	m2			施工 第0-0097号内訳表
掘削 土砂 オフカット 5,000m3未満	10	m3			施工 第0-0088号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	10	m3			施工 第0-0089号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 30mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)	100	m2			施工 第0-0098号内訳表
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

上層路盤(歩道部)流用

積算単価算出表

施工 第0-0097号内訳表

頁0-0129/0189

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3 (平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			路盤材流用			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=100		全仕上り厚				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=4		路盤材(各種)				
D	路盤材(各種)	(円/m3)の単価コード =11		路盤材(各種)	(円/m3)の単価コード			

透水性アスファルト舗装

[規格1] t = 30mm

[規格2] 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)

積算単価算出表

施工 第0-0098号内訳表

頁0-0130/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャー 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)]			アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 2.3～6.0m			
K2	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.28m3			
K3	振動ローラ(舗装用) 質量3～4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3～4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員 =3		2.4m以上				
B	1層当り平均仕上り厚(mm) =30		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料 =1		一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)				

施工単価表

施工 第0-0099号内訳表

頁0-0132/0189

アスファルト舗装E (流用材)

[規格1]	[規格2]	[摘要]				100 m2 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
不陸整正 補足材料->無し	100	m2			施工 第0-0086号内訳表	
上層路盤(歩道部)流用 全仕上り厚 t = 150 1層施工 路盤材(各種)	100	m2			施工 第0-0094号内訳表	
掘削 土砂 オフカット 5,000m3未満	15	m3			施工 第0-0088号内訳表	
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	15	m3			施工 第0-0089号内訳表	
表層(歩道部) t = 70mm 粗粒度アスコン[再](20)	100	m2			施工 第0-0100号内訳表	
表層(歩道部) t = 30mm 細粒度アスコン[再](13)	100	m2			施工 第0-0101号内訳表	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				

表層(歩道部)
[規格1] t=70mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0100号内訳表

1
頁0-0133/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅1.4~3.0m [クローラ型]			アスファルトフィニッシュ [クローラ型] 1.4~3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=3	1.4m以上				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=70	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=2	粗粒度アスコン[再](20)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

表層(歩道部)
[規格1] t=30mm

[規格2] 細粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0101号内訳表

1
頁0-0134/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅1.4~3.0m [クローラ型]			アスファルトフィニッシュ [クローラ型] 1.4~3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	細粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生細粒度アスコン TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=3	1.4m以上				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=30	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=10	細粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

施工単価表

施工 第0-0102号内訳表

頁0-0135/0189

ブロック舗装A (流用材)

[規格1]	[規格2]	[摘要]			100 m2 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正 補足材料→無し	100	m2			施工 第0-0086号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	100	m2			施工 第0-0093号内訳表
下層路盤(車道・路肩部)流用 全仕上り厚→150mm 1層施工 路盤材(各種)	100	m2			施工 第0-0103号内訳表
掘削 土砂 オフカット 5,000m3未満	15	m3			施工 第0-0088号内訳表
土砂等運搬 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)	15	m3			施工 第0-0089号内訳表
透水シート 125N/5cm 長繊維系ポリエステル系不織布	100	m2			
インターロッキングブロック設置工 直線 ブロック厚8cm	100	m2			施工 第0-0104号内訳表
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

下層路盤(車道・路肩部)流用
 [規格1] 全仕上り厚→150mm 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0103号内訳表

頁0-0136/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]				モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロートローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]				ロートローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	特殊作業員				特殊作業員			
R3	普通作業員				普通作業員			
R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
R								
Z1	クラッシュヤーン C-40 全厚t=150mm				路盤材流用			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚(mm)	=150		全仕上り厚(mm)				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=4		路盤材(各種)				

下層路盤(車道・路肩部)流用
[規格1] 全仕上り厚->150mm 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0103号内訳表

頁0-0137/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	D	路盤材(各種) (円/m ³)の単価コード	=11		路盤材(各種) (円/m ³)の単価コード				

下層路盤(車道・路肩部)流用
 [規格1] 全仕上り厚->100mm 1層施工

[規格2] 路盤材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0106号内訳表

頁0-0140/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]				モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]				ロッドローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	特殊作業員				特殊作業員			
R3	普通作業員				普通作業員			
R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
R								
Z1	クラッシュヤーン C-40 全厚t=150mm				路盤材流用			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚(mm)	=100		全仕上り厚(mm)				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=4		路盤材(各種)				

施工単価表

施工 第0-0108号内訳表

頁0-0143/0189

張りコンクリート打設

[規格1]防草コンクリート

[規格2]

[摘要]

100

m2 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
生コンクリート 18-8-20BB 水セメント比60%以下		m3			
諸雑費（目地材あり）		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 構造物の種類		=3	防草コンクリート		
B 施工区分		=3	人力打設		
C 目地材の有無		=1	目地材あり		
D 生コンクリート規格		=3	生コンクリート(各種)		
E 生コン単価コード		=1162	生コン単価コード		
F 生コンクリート設計数量(m3/100m ²)		=10	生コンクリート設計数量(m3/100m ²)		

地先境界ブロック設置
[規格1] A型 12cm×12cm

積算単価算出表

施工 第0-0111号内訳表

頁0-0146/0189

[規格2] 基礎砕石:有り(再生砕石 RC-40) 基礎コン:無 [摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		地先境界ブロック A種(120×120×600)			地先境界ブロック [下水汚泥スラグ入り] A型 12cm×12cm×60cm			
Z2		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z3		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1		設置				
B	ブロック規格	=1		A型 12cm×12cm				
C	基礎砕石規格	=2		有り(再生砕石 RC-40)				
D	均し基礎コンクリート規格	=1		無し				

施工単価表

施工 第0-0115号内訳表

頁0-0150/0189

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=2	未供用区間		
D 塗布厚		=2	t=1.0mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0119号内訳表

頁0-0154/0189

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=12	ゼブラ45cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=2	未供用区間		
D 塗布厚		=2	t=1.0mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0125号内訳表

頁0-0160/0189

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=2	未供用区間		
D 塗布厚		=2	t=1.0mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->12.5cmを超え17.5cm以下

[規格2] 再生クワッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0129号内訳表

頁0-0164/0189

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クワッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=3	12.5cmを超え17.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クワッシャー RC-30, RC-40					

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→設置

[規格2] 誘導ブロック 線状(30cm×30cm×6cm)

積算単価算出表

施工 第0-0130号内訳表

頁0-0165/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm			誘導ブロック 30×30×6cm			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	作業区分	=1	設置					
B	ブロック規格	=1	誘導ブロック 線状(30cm×30cm×6cm)					

特殊ブロック舗装
[規格1] 作業区分→設置

[規格2] 誘導ブロック 点状(30cm×30cm×6cm)

積算単価算出表

施工 第0-0132号内訳表

頁0-0167/0189
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		ブロック工			ブロック工			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		特殊ブロック 研磨平板 30cm×30cm×6cm			誘導ブロック 30×30×6cm			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	作業区分	=1	設置					
B	ブロック規格	=2	誘導ブロック 点状(30cm×30cm×6cm)					

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=1	有り					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=11	18-12-40BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0143号内訳表

頁0-0178/0189
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版					
B	障害等の有無	=1	無し					
C	騒音振動対策	=2	必要					
D	舗装版厚	=1	15cm以下					
F	積込作業の有無	=1	有り					

殻運搬

[規格1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0147号内訳表

頁0-0182/0189

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=40	23.2km以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	殻発生作業 =3		舗装版破碎				
B	積込工法区分 =2		機械(騒音対策不要、15cm超or騒音対策必要)				
C	DID区間の有無 =2		有り				
D	運搬距離 =22		9.0km以下				

施工単価表

施工 第0-0151号内訳表

頁0-0186/0189

フェンスB 撤去

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
特殊作業員		人			
合計	100	m			
単位当り	1	m			

積算参考資料（試行）

本工事の積算で設定した見積単価を以下に示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

<材料のみ>

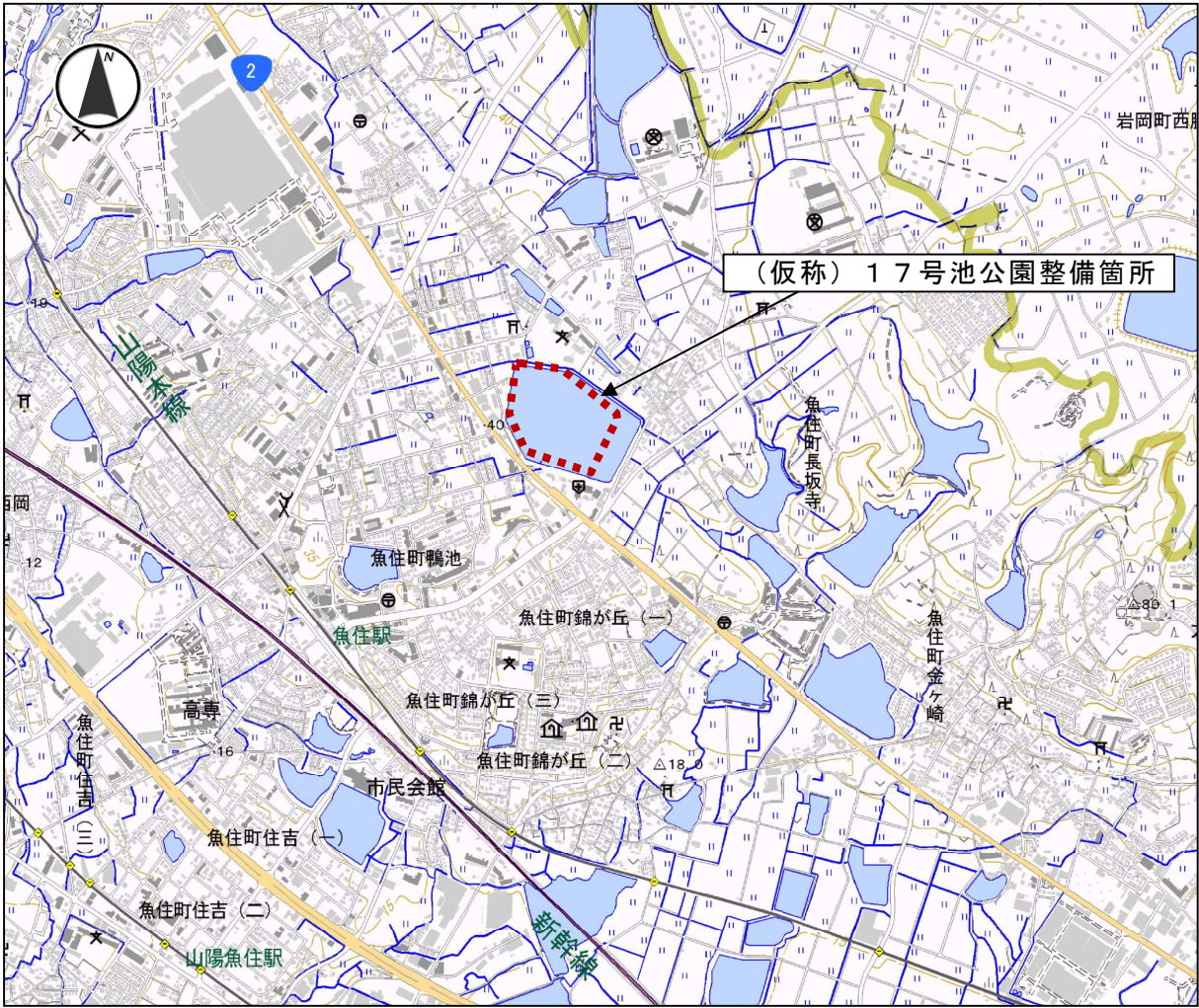
名称	規格	単位	採用単価（円）
グレーチング蓋	細目 240 ノンスリップ T-2	枚	6,000
ハンドホール調整リング	φ 600 t=50	個	4,410
ハンドホール調整リング	φ 600 t=100	個	6,310
樹名板	168×118（解説 QR ラベル）	枚	2,250
樹名板用スプリング	100mm	本	200

<材工共>

名称	規格	単位	採用単価（円）
階段工	擬木階段	式	431,800
階段工	2 段手摺	式	625,000
門扉	H3000-50×W6000	箇所	1,504,700
門扉	H2000-50×W10000	箇所	1,484,700

<手間のみ>

名称	規格	単位	採用単価（円）
樹名板設置手間	168×118（解説 QR ラベル）	枚	596
建柱		式	6,080



位置図